

令和 4 年（2022 年）3 月

令和 2 年度 学生生活調査結果

まえがき

日本学生支援機構では、全国の学生を対象として、学生生活状況を把握することにより、学生生活支援事業の充実のための基礎資料を得ることを目的として、平成 16 年度から隔年で「学生生活調査」を実施しています。本調査は、平成 14 年度までは文部科学省において実施していましたが、平成 16 年 4 月の日本学生支援機構（JASSO）の設立に伴い、文部科学省から業務が移管されました。

このたび、令和 2 年度の調査結果を取りまとめましたので、主に大学昼間部、短期大学昼間部及び大学院を中心に前回調査（平成 30 年度）との比較を行いながら、調査結果の概要を説明します。

今回の調査は、前回調査と同様に大学学部、短期大学本科及び大学院の学生（通信課程、休学者及び外国人留学生を除く。）を調査対象とし、全国 2,982,972 人から 90,654 人を抽出し、令和 2 年 11 月現在で実施したものです。

調査の方法は、大学・短期大学の別、昼間部・夜間部の別、大学院修士課程・博士課程・専門職学位課程の別、設置者（国公私）の別に抽出率を定め、サンプル数を算出し、各大学、短期大学にサンプル数を割り当てて（一部区分については全数調査により）調査を依頼しました。回収率は 41.5%、有効回答数は 37,591 人で、本文に紹介する資料に掲げる数値は、この標本調査の結果を基礎として、全国の調査対象学生総数についての数値を推定した結果となっています。

学生生活に伴う問題は広範かつ複雑で、この調査で取り上げたことに尽きるものではありませんが、この調査結果が学生生活に関心を寄せられる方々の参考になれば幸いです。

末筆ながら、本調査に回答いただいた学生の皆様、本調査の実施に際して多大なご協力をいただいた全国の各大学及び各短期大学の関係者の皆様をはじめ、ご助言ご協力をいただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

令和 4 年 3 月

独立行政法人 日本学生支援機構

目 次

まえがき

I. 調査実施方法等について	1
II. 調査結果の概要	2
1. 学生生活費（学費と生活費の合計）	4
2. 設置者別の学生生活費	5
3. 居住形態別の学生生活費	7
4. 学生の収入状況	8
5. 家庭の年間平均収入額	10
6. アルバイト従事状況	11
7. 奨学金の受給状況	12
8. 片道通学時間	13
9. 週間平均生活時間	15
10. 大学の学生支援体制への満足度	18
11. 学生の不安や悩み	19
III. 識者所見（*）	
○ 修学支援新制度の導入による学生への経済的支援の変化 濱中 義隆（国立教育政策研究所 副部長・総括研究官）	23
○ コロナ禍のなかでのアルバイト状況 岩田 弘三（武蔵野大学 教授）	31
○ 「大学生の不安や悩み」について 望月 由起（日本大学 教授）	39
IV. 集計表	
1-1表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学昼間部）	49
1-2表 〃（大学夜間部）	50
1-3表 〃（短期大学昼間部）	51
1-4表 〃（短期大学夜間部）	52
1-5表 〃（大学院修士課程）	53
1-6表 〃（大学院博士課程）	54
1-7表 〃（大学院専門職学位課程）	55
2表 居住形態別・地域別学生生活費の内訳（大学・短期大学・大学院）	56
3-1表 家庭の年間収入別学生数の割合（大学昼間部）	57
3-2表 〃（短期大学昼間部）	58
3-3表 〃（大学院修士課程）	59
3-4表 〃（大学院博士課程）	60
3-5表 〃（大学院専門職学位課程）	61
4-1表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（大学昼間部）	62
4-2表 〃（短期大学昼間部）	62

* 所見には、所見執筆者による独自集計が含まれます。著作権は各所見執筆者に帰属します。

4-3表	〃	(大学院修士課程)	63
4-4表	〃	(大学院博士課程)	63
4-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	64
5-1表	アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合	(大学昼間部)	65
5-2表	〃	(短期大学昼間部)	66
5-3表	〃	(大学院修士課程)	67
5-4表	〃	(大学院博士課程)	68
5-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	69
6-1表	設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況	(大学昼間部)	70
6-2表	〃	(短期大学昼間部)	71
6-3表	〃	(大学院修士課程)	72
6-4表	〃	(大学院博士課程)	73
6-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	74
7表	設置者別・奨学金の種類別学生数の割合	(大学・短期大学・大学院)	75
8-1表	居住形態別・地域別片道通学時間	(大学昼間部)	76
8-2表	〃	(短期大学昼間部)	77
8-3表	〃	(大学院修士課程)	78
8-4表	〃	(大学院博士課程)	79
8-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	80
9-1表	設置者別・週間平均生活時間	(大学昼間部)	81
9-2表	〃	(短期大学昼間部)	82
9-3表	〃	(大学院修士課程)	83
9-4表	〃	(大学院博士課程)	84
9-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	85
10-1表	設置者別・大学の学生支援体制への満足度	(大学昼間部)	86
10-2表	〃	(短期大学昼間部)	86
10-3表	〃	(大学院修士課程)	87
10-4表	〃	(大学院博士課程)	87
10-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	88
11-1表	設置者別・学生の不安や悩み	(大学昼間部)	89
11-2表	〃	(短期大学昼間部)	89
11-3表	〃	(大学院修士課程)	90
11-4表	〃	(大学院博士課程)	90
11-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	91

V. 参考資料

令和2年度学生生活調査	実施要領	95
令和2年度学生生活調査	調査票(大学)	100
令和2年度学生生活調査	調査票(短期大学)	106
令和2年度学生生活調査	調査票(大学院)	112
令和2年度学生生活調査	調査票記入要領	116

I. 調査実施方法等について

1. 調査の目的 この調査は、全国の学生を対象として、学生生活状況を把握することにより、学生生活支援事業の充実のための基礎資料を得ることを目的とする。
2. 調査の対象 大学学部、短期大学本科及び大学院の学生
(社会人学生を含む。通信課程、休学者及び外国人留学生は除く。)
3. 調査の時期 令和2年(2020年) 11月(隔年調査)
4. 調査数 全国の学生2,982,972人(文部科学省の令和2年度「学校基本調査」調査票情報を利用)から、大学、短期大学及び大学院の別、さらに大学、短期大学については、昼間部、夜間部別、大学院については修士課程、博士課程及び専門職学位課程別に、下記の抽出率によって算出した、90,654人を対象に調査を実施した。

区分		設置者別		
		国 立	公 立	私 立
大学	昼 間 部	$\frac{1}{38}$	$\frac{2}{31}$	$\frac{1}{92}$
	夜 間 部	$\frac{6}{13}$	(全数調査)	$\frac{9}{43}$
短期大学	昼 間 部		$\frac{38}{77}$	$\frac{4}{91}$
	夜 間 部		(全数調査)	$\frac{77}{87}$
大学院	修 士 課 程	$\frac{3}{62}$	$\frac{7}{23}$	$\frac{1}{12}$
	博 士 課 程	$\frac{4}{31}$	$\frac{25}{47}$	$\frac{11}{40}$
	専門職学位課程	$\frac{38}{99}$	(全数調査)	$\frac{32}{87}$

※上記の数値は、在籍学生数に対する調査数の割合を示したものである(調査数/在籍学生数)。
 ※大学(昼間部)については、層化多段抽出を行っているため、在籍学生数と調査数が完全には比例しない。また、在籍学生数の少ない一部の大学は、一定の確率で調査対象から外れている。
 ※公立の、大学(夜間部)、短期大学(夜間部)、大学院専門職学位課程については、母集団である全国の学生数が少数であるため、全数調査とした。

5. 調査方法 日本学生支援機構が、学校別の調査数と共に所定の調査票での調査の実施を各学校に依頼し、各学校が、依頼された調査数で無作為抽出した学生(全数調査の区分は全学生)に調査票を配付、学生が、回答した調査票を学校に提出する方法により、調査を行った。

Ⅱ. 調査結果の概要

令和2年度学生生活調査結果として、学生生活費、学生の収入状況、家庭の年間平均収入額、アルバイト従事状況、奨学金の受給状況、通学時間、週間平均生活時間、大学の学生支援体制への満足度、学生の不安や悩みの項目について取りまとめた。

<令和2年度調査回収率>

回収率 : 41.5% (有効回答数 37,591 人 / 調査数 90,654 人)

<令和2年度調査結果の一例(大学(昼間部))>

- 学生生活費（学費と生活費の合計（支出額））は、平成30年度調査（以下「前回調査」という。）より5.3ポイント減少している。

	平成30年度		令和2年度
学生生活費	1,913,500 円	→	1,813,000 円 (▲5.3%) (100,500 円減)

- 収入額についても、前回調査より3.7ポイント減少している。

	平成30年度		令和2年度
収入額	2,001,300 円	→	1,927,600 円 (▲3.7%) (73,700 円減)

- 収入額に占める内訳の割合では、前回調査より奨学金が1.4ポイント増加しており、アルバイトが1.1ポイント減少している。

	平成30年度		令和2年度
家庭からの給付	59.8%	→	59.4% (▲0.4%)
奨学金	18.0%	→	19.4% (+1.4%)
アルバイト	20.1%	→	19.0% (▲1.1%)

〔調査結果における留意事項〕

1. 本調査における学生生活費は学費と生活費を合わせたものである。
学 費：授業料、その他の学校納付金、修学費、課外活動費、通学費の合計
生 活費：食費、住居・光熱費、保健衛生費、娯楽・嗜好費、その他の日常費(通信費を含む)の合計
2. 本調査結果の集計各表は端数処理(四捨五入)後の数値を使用しており、内訳の合計値と合計欄の値が一致しないことがある。
3. 本調査結果の「大学」は、大学学部のことを言う。
また「修士課程」「博士課程」「専門職学位課程」は、大学院の下記の各課程のことを言う。なお、専門職学位課程については、平成 18 年度より調査対象とした。

修士課程	修士課程、博士前期課程、一貫制博士課程の前期 2 年(医・歯・薬・獣医を除く)
博士課程	博士後期課程、一貫制博士課程の後期 3 年、一貫制博士課程(医・歯・薬・獣医)
専門職学位課程	法科、教職、会計、技術経営大学院などの専門職学位の取れる大学院課程

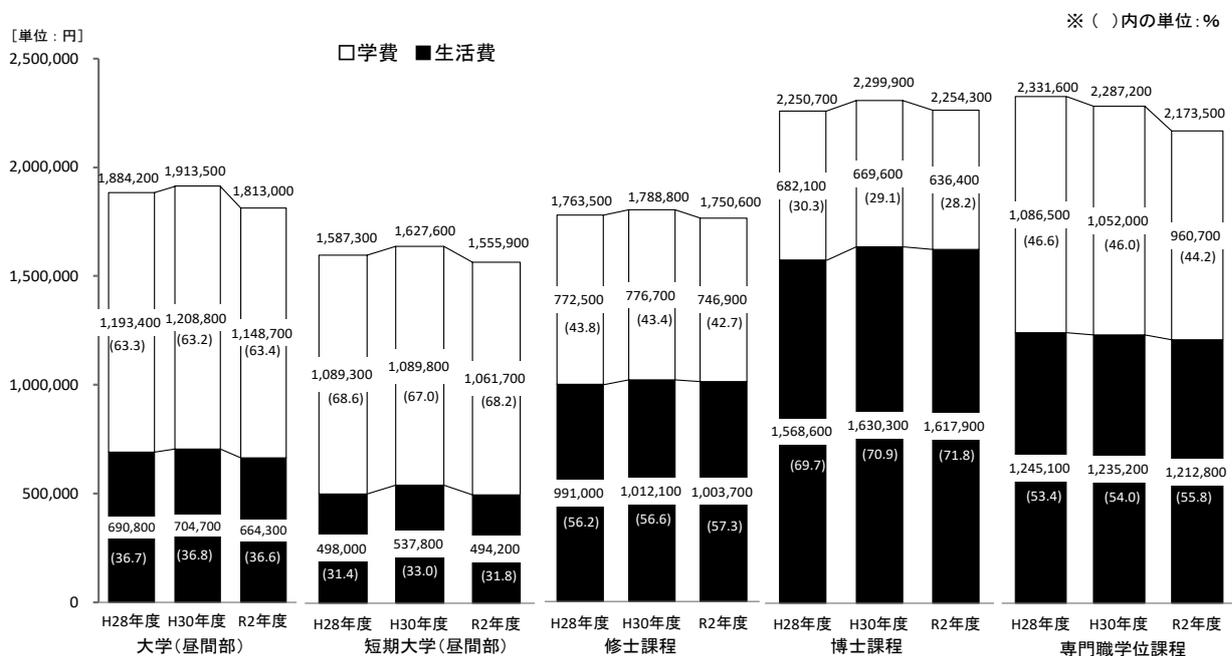
4. 大学院については、配偶者を有すると回答した者は、学生生活費が大きく異なるケースが想定されるため、従前の例にならない学生生活費等の集計に含まない。
5. 大学及び短期大学については、平成 26 年度から文部科学省国立教育政策研究所との共同により大学生等の学習状況に関する調査項目を追加した。調査結果等については、文部科学省国立教育政策研究所ホームページに掲載されている。
6. 質問の一部に回答がない調査票は、一部の集計表では集計対象としていない。
7. 各集計表の脚注に、有効回答数(n)を参考値として表示している。なお、設問によって有効回答数が異なることから、各集計表における n は必ずしも一致しない。
8. 集計各表の数値は、この標本調査の有効回答を基礎として、調査対象学生総数についての推計値を算出した結果である。
9. 表中の記号は次のように使う。
「－」： 計数が無い場合
「0.0」： 計数が単位未満の場合
「・・・」： 計数の出現が有り得ない場合または調査対象とならなかった場合

1. 学生生活費(学費と生活費の合計)

学生生活費は、すべての「学校区分(※)」において前回調査より減少している。内訳を見るといずれの学校区分でも学費、生活費ともに減少しており、学生生活費に占める割合は、大学(昼間部)、短期大学(昼間部)で学費の割合が微増、生活費の割合が微減し、その他の学校区分では学費の割合が微減、生活費の割合が微増している。

※大学(昼間部)・短期大学(昼間部)・修士課程・博士課程・専門職学位課程を指す。以下、本文中において同じ。

- 【大学(昼間部)】 前回調査より、10.1万円減の181万円となっている。
- 【短期大学(昼間部)】 前回調査より、7.2万円減の156万円となっている。
- 【修士課程】 前回調査より、3.8万円減の175万円となっている。
- 【博士課程】 前回調査より、4.6万円減の225万円となっている。
- 【専門職学位課程】 前回調査より、11.4万円減の217万円となっている。



学生生活費の増減額の推移

区分		平成26年度→平成28年度		平成28年度→平成30年度		平成30年度→令和2年度	
		円	%	円	%	円	%
大学(昼間部)	学費	▲1,900	(▲0.2)	15,400	(1.3)	▲60,100	(▲5.0)
	生活費	24,000	(3.6)	13,900	(2.0)	▲40,400	(▲5.7)
	学生生活費	22,100	(1.2)	29,300	(1.6)	▲100,500	(▲5.3)
短期大学(昼間部)	学費	▲14,700	(▲1.3)	500	(0.0)	▲28,100	(▲2.6)
	生活費	21,500	(4.5)	39,800	(8.0)	▲43,600	(▲8.1)
	学生生活費	6,800	(0.4)	40,300	(2.5)	▲71,700	(▲4.4)
修士課程	学費	▲7,900	(▲1.0)	4,200	(0.5)	▲29,800	(▲3.8)
	生活費	21,200	(2.2)	21,100	(2.1)	▲8,400	(▲0.8)
	学生生活費	13,300	(0.8)	25,300	(1.4)	▲38,200	(▲2.1)
博士課程	学費	▲24,800	(▲3.5)	▲12,500	(▲1.8)	▲33,200	(▲5.0)
	生活費	113,500	(7.8)	61,700	(3.9)	▲12,400	(▲0.8)
	学生生活費	88,700	(4.1)	49,200	(2.2)	▲45,600	(▲2.0)
専門職学位課程	学費	▲80,900	(▲6.9)	▲34,500	(▲3.2)	▲91,300	(▲8.7)
	生活費	123,400	(11.0)	▲9,900	(▲0.8)	▲22,400	(▲1.8)
	学生生活費	42,500	(1.9)	▲44,400	(▲1.9)	▲113,700	(▲5.0)

※()内の数値は、直前の調査の金額(学費・生活費・学生生活費)を基準とした増減率である。

2. 設置者別の学生生活費

学生生活費を設置者別に比較した場合、博士課程を除き、いずれも私立が国立・公立より高くなっている。内訳を見ると、学費はすべての学校区分において私立が最も高く、一方、生活費は専門職学位課程を除いて私立が最も低くなっている。

生活費について、大学（昼間部）の場合、「住居・光熱費」の差などにより国立が私立より22万円高くなっているが、これは自宅以外の学生の割合が高いためと考えられる。

- 【大学（昼間部）】 学生生活費の合計では、私立が公立より56万円高くなっている。
- 【短期大学（昼間部）】 学生生活費の合計では、私立が公立より49万円高くなっている。
- 【修士課程】 学生生活費の合計では、私立が公立より38万円高くなっている。
- 【博士課程】 学生生活費の合計では、公立が国立より44万円高くなっている。
- 【専門職学位課程】 学生生活費の合計では、私立が国立より86万円高くなっている。

[単位：円]

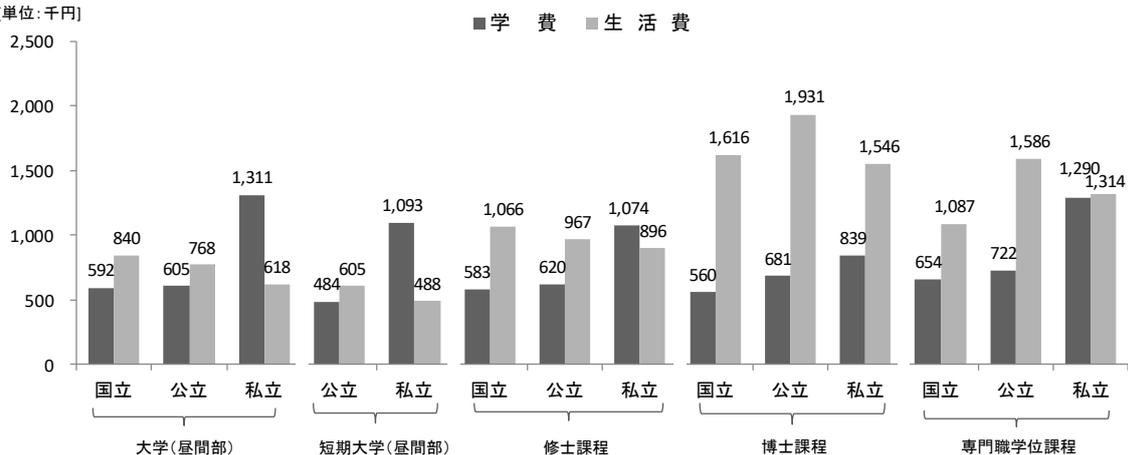
区分	学 費			生 活 費			合 計	
	授業料、 その他の 学校納付金	修学費、 課外活動費、 通学費	小 計	食費、 住居・光熱費	保健衛生費、 娯楽・嗜好費、 その他の日常費	小 計		
大学 （昼間部）	国立	490,900	101,100	592,000	534,800	305,000	839,800	1,431,800
	公立	506,000	99,000	605,000	449,400	318,500	767,900	1,372,900
	私立	1,195,700	115,000	1,310,700	303,100	314,800	617,900	1,928,600
	平均	1,036,900	111,800	1,148,700	350,900	313,400	664,300	1,813,000
短期大学 （昼間部）	国立
	公立	394,600	89,700	484,300	330,600	274,800	605,400	1,089,700
	私立	966,500	126,100	1,092,600	190,000	298,300	488,300	1,580,900
	平均	937,400	124,300	1,061,700	197,100	297,100	494,200	1,555,900
修士課程	国立	495,600	87,600	583,200	685,500	380,400	1,065,900	1,649,100
	公立	504,500	115,800	620,300	560,400	406,200	966,600	1,586,900
	私立	949,900	123,700	1,073,600	476,300	420,000	896,300	1,969,900
	平均	645,600	101,300	746,900	608,700	395,000	1,003,700	1,750,600
博士課程	国立	395,200	164,900	560,100	896,600	719,500	1,616,100	2,176,200
	公立	481,800	199,600	681,400	825,200	1,105,400	1,930,600	2,612,000
	私立	653,900	185,000	838,900	751,500	794,200	1,545,700	2,384,600
	平均	464,500	171,900	636,400	856,300	761,600	1,617,900	2,254,300
専門職 学位課程	国立	533,800	120,200	654,000	574,900	512,100	1,087,000	1,741,000
	公立	580,700	140,900	721,600	521,800	1,064,400	1,586,200	2,307,800
	私立	1,143,100	147,200	1,290,300	569,300	744,600	1,313,900	2,604,200
	平均	826,800	133,900	960,700	570,300	642,500	1,212,800	2,173,500

(参考) 居住形態別学生数の割合（大学（昼間部））

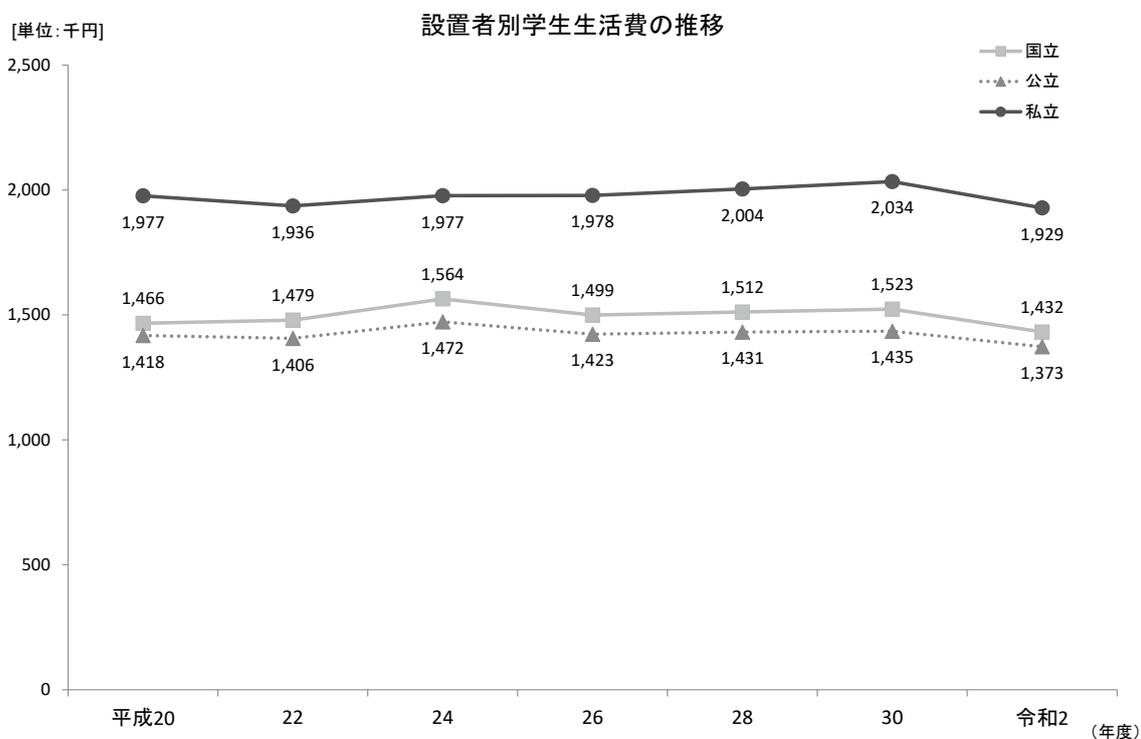
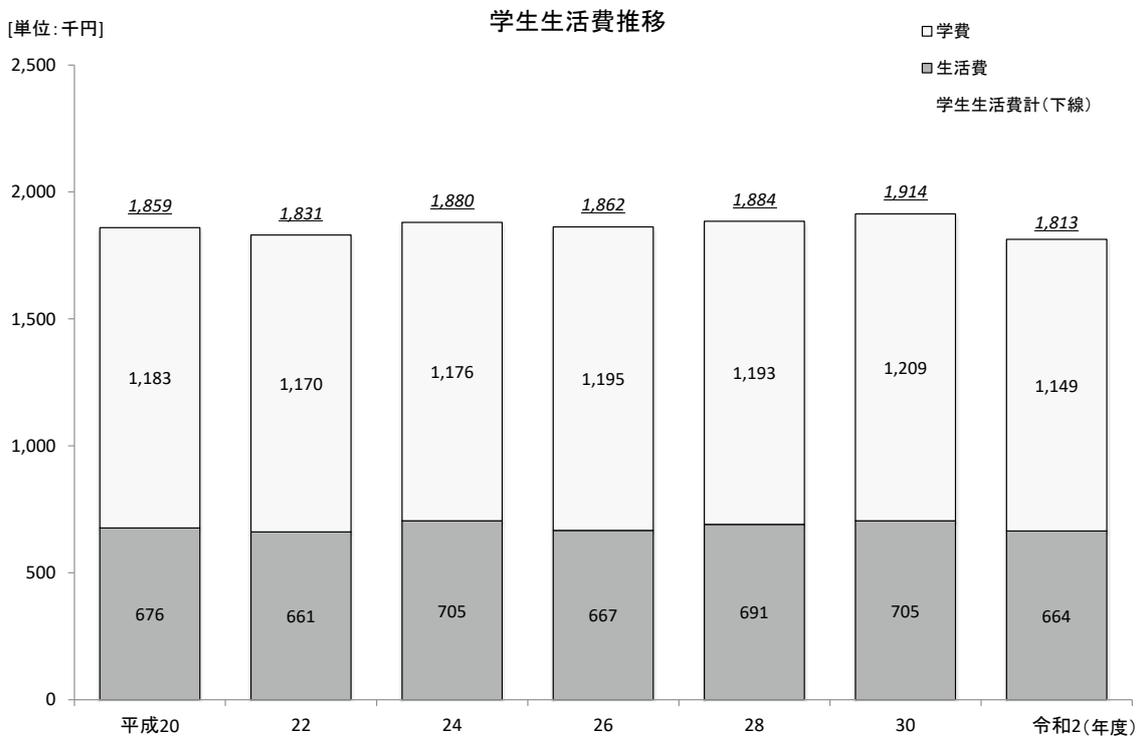
[単位：%]

区分	自 宅	学 寮	下宿、アパート、その他
国立	35.7	6.2	58.1
公立	43.7	3.3	53.0
私立	65.2	7.2	27.6

[単位：千円]



参考 学生生活費及び設置者別学生生活費の推移(大学(昼間部))

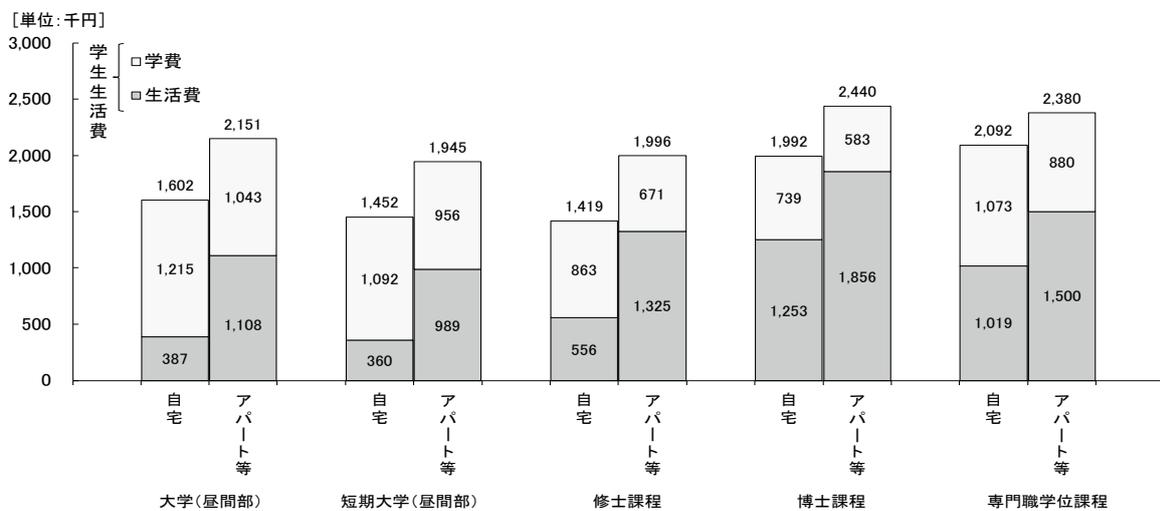


3. 居住形態別の学生生活費

学生生活費を居住形態別に比較した場合、すべての学校区分において、家族と同居する者（以下「自宅」という。）より、下宿・アパート・その他に居住する者（以下「アパート等」という。）の学生生活費が高くなっているが、これは生活費の差によるところが大きい。

設置者別の学生生活費では、博士課程を除き、私立の「アパート等」が最も高くなっている。

- 【大学（昼間部）】 アパート等の学生生活費は、自宅に比べ55万円高くなっている。
- 【短期大学（昼間部）】 アパート等の学生生活費は、自宅に比べ49万円高くなっている。
- 【修士課程】 アパート等の学生生活費は、自宅に比べ58万円高くなっている。
- 【博士課程】 アパート等の学生生活費は、自宅に比べ45万円高くなっている。
- 【専門職学位課程】 アパート等の学生生活費は、自宅に比べ29万円高くなっている。



[単位:円]

区 分		自 宅		アパ ー ト 等	
大学 (昼間部)	国立	987,100	(1.00)	1,721,800	(1.74)
	公立	993,000	(1.01)	1,689,000	(1.71)
	私立	1,704,800	(1.73)	2,414,300	(2.45)
	平均	1,601,500		2,151,000	
短期大学 (昼間部)	国立
	公立	847,900	(1.00)	1,382,100	(1.63)
	私立	1,472,400	(1.74)	2,022,300	(2.39)
	平均	1,451,600		1,945,000	
修士課程	国立	1,165,400	(1.00)	1,888,600	(1.62)
	公立	1,266,200	(1.09)	1,837,700	(1.58)
	私立	1,690,000	(1.45)	2,366,300	(2.03)
	平均	1,418,800		1,996,200	
博士課程	国立	1,863,000	(1.00)	2,353,700	(1.26)
	公立	2,336,100	(1.25)	2,819,100	(1.51)
	私立	2,146,900	(1.15)	2,648,400	(1.42)
	平均	1,991,600		2,439,600	
専門職 学位課程	国立	1,450,800	(1.00)	2,036,700	(1.40)
	公立	2,554,200	(1.76)	2,811,300	(1.94)
	私立	2,507,500	(1.73)	2,842,600	(1.96)
	平均	2,091,500		2,379,900	

※ () は、国立(短期大学では公立)の自宅を基準(1.00)とした場合の比率である。

4. 学生の収入状況

学生の収入状況について、収入総額は、大学（昼間部）、短期大学（昼間部）において前回調査より減少し、その他の学校区分では前回調査より増加している。

内訳を見たところ、すべての学校区分において「家庭からの給付」の金額が減少している。また、大学（昼間部）、短期大学（昼間部）及び修士課程では、「奨学金」の金額が増加する一方で「アルバイト」の金額が減少しており、博士課程、専門職学位課程では、「奨学金」の金額が減少する一方で「アルバイト」の金額が増加している。

〔収入総額〕

- 【大学（昼間部）】 前回調査より、7.4万円減の193万円となっている。
- 【短期大学（昼間部）】 前回調査より、6.3万円減の166万円となっている。
- 【修士課程】 前回調査より、0.4万円増の195万円となっている。
- 【博士課程】 前回調査より、6.0万円増の319万円となっている。
- 【専門職学位課程】 前回調査より、3.8万円増の277万円となっている。

[単位：円]

区 分		家庭からの給付	奨学金	アルバイト	定職・その他	合計
大学 (昼間部)	平成30年度	(59.8) 1,196,600	(18.0) 359,600	(20.1) 401,500	(2.2) 43,600	(100.0) 2,001,300
	令和2年度	(59.4) 1,144,700	(19.4) 373,200	(19.0) 366,500	(2.2) 43,200	(100.0) 1,927,600
短期大学 (昼間部)	平成30年度	(52.0) 893,100	(25.2) 433,200	(19.7) 338,800	(3.1) 52,700	(100.0) 1,717,800
	令和2年度	(51.1) 846,000	(26.3) 435,000	(18.1) 300,100	(4.5) 74,200	(100.0) 1,655,300
修士課程	平成30年度	(48.7) 946,200	(21.3) 414,800	(17.5) 340,200	(12.5) 243,000	(100.0) 1,944,200
	令和2年度	(47.5) 925,300	(21.3) 415,100	(17.4) 339,300	(13.8) 268,600	(100.0) 1,948,300
博士課程	平成30年度	(12.6) 395,400	(25.9) 810,200	(24.9) 780,600	(36.6) 1,146,100	(100.0) 3,132,300
	令和2年度	(12.0) 382,100	(23.8) 759,700	(25.6) 816,700	(38.7) 1,234,000	(100.0) 3,192,500
専門職 学位課程	平成30年度	(32.9) 899,100	(16.4) 450,000	(6.0) 163,300	(44.7) 1,223,600	(100.0) 2,736,000
	令和2年度	(27.5) 764,100	(14.2) 394,600	(6.9) 190,400	(51.4) 1,424,900	(100.0) 2,774,000

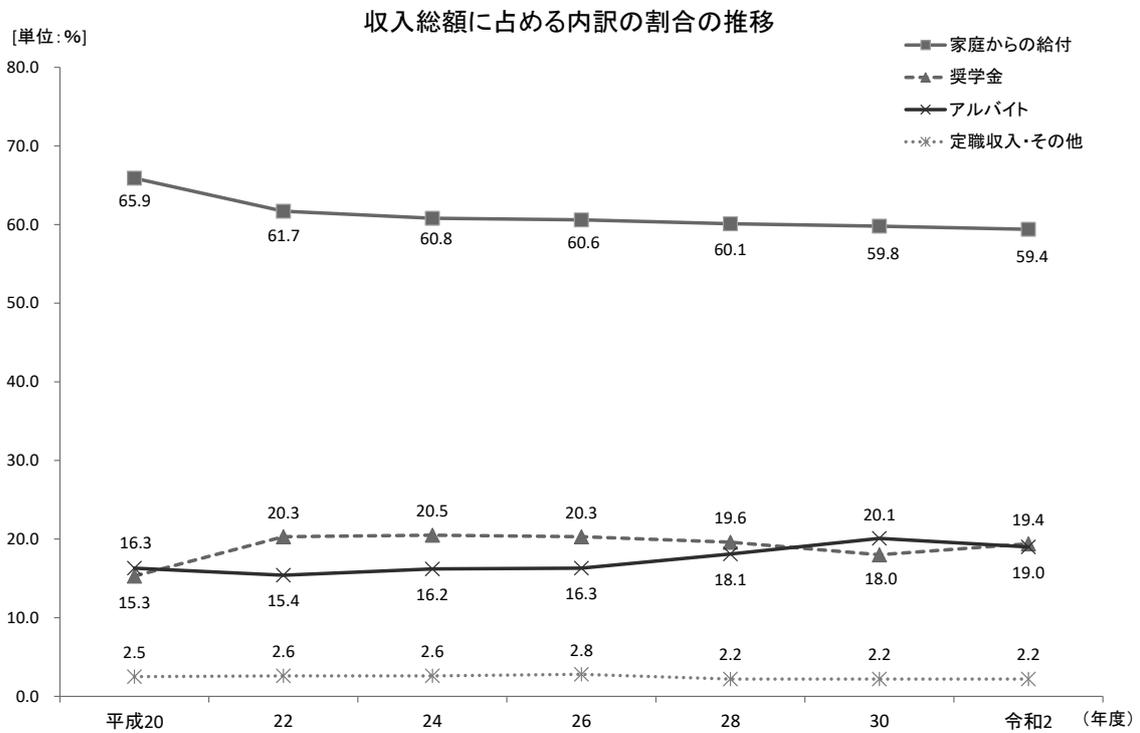
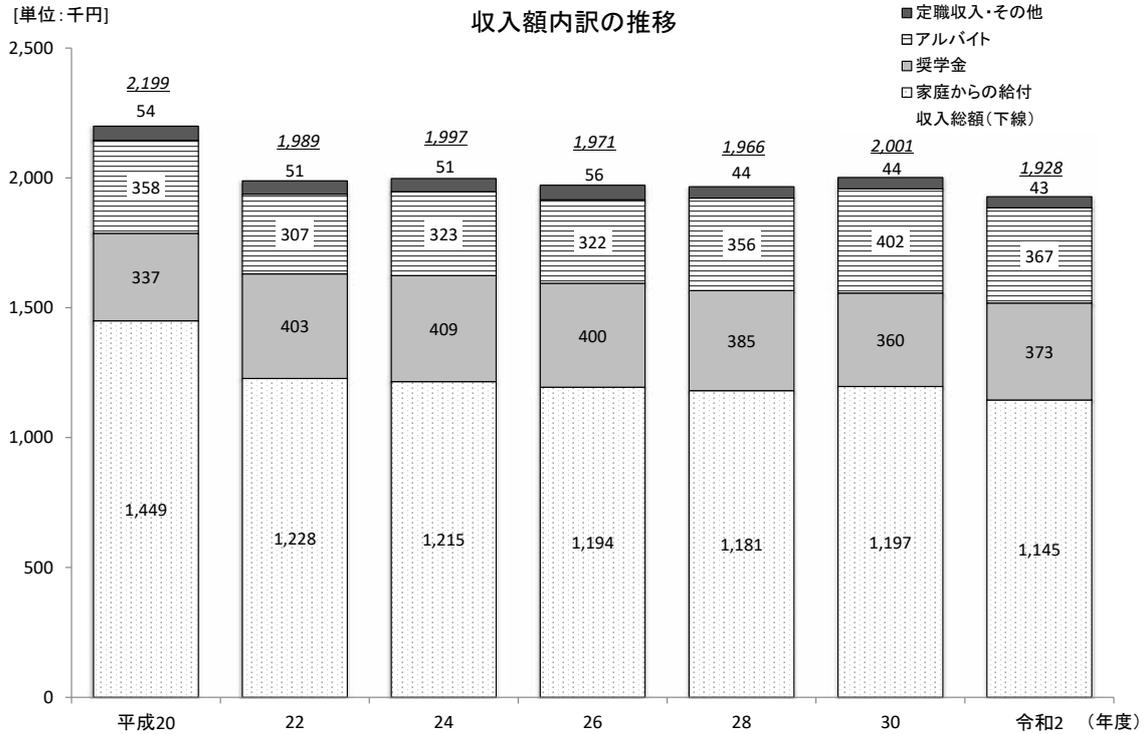
※ () は、合計に占める割合(単位：%)である。

※ 大学院の「アルバイト」にはTA（ティーチング・アシスタント）、RA（リサーチ・アシスタント）を含む。

収入に関する直前調査からの増減率

区 分	平成26年度 →平成28年度	平成28年度 →平成30年度	平成30年度 →令和2年度
大学（昼間部）	▲0.3%	1.8%	▲3.7%
短期大学（昼間部）	▲0.7%	3.0%	▲3.6%
修士課程	▲1.0%	2.6%	0.2%
博士課程	4.0%	6.6%	1.9%
専門職学位課程	4.8%	▲1.4%	1.4%

参考 収入額内訳及び収入総額に占める内訳の割合の推移(大学(屋間部))



5. 家庭の年間平均収入額

学生の家庭の年間平均収入額は、短期大学（昼間部）を除くすべての学校区分において、前回調査より減少している。各学校区分の金額を比較すると、前回調査と同様に、修士課程における家庭の年間平均収入額が最も高く、836万円となっている。

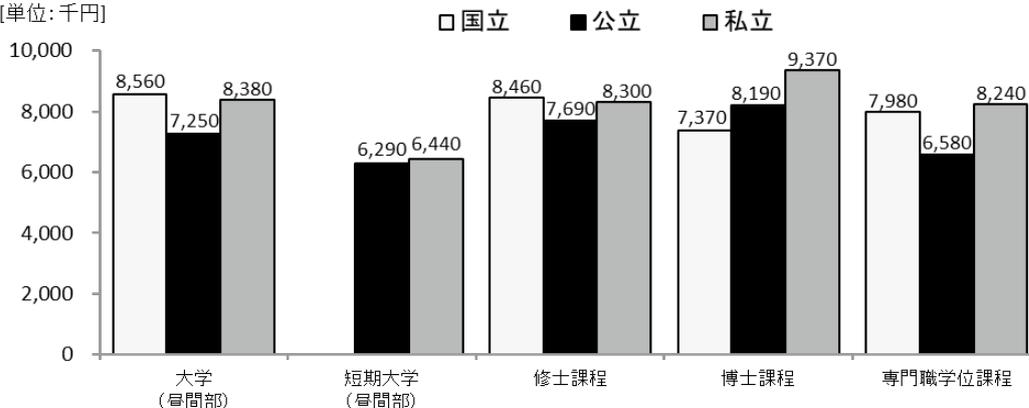
- 【大学（昼間部）】 前回調査より、3.1%減の835万円となっている。
設置者別では、国立が856万円と最も高くなっている。
- 【短期大学（昼間部）】 前回調査より、0.6%増の644万円となっている。
設置者別では、私立が644万円と最も高くなっている。
- 【修士課程】 前回調査より、3.8%減の836万円となっている。
設置者別では、国立が846万円と最も高くなっている。
- 【博士課程】 前回調査より、0.4%減の791万円となっている。
設置者別では、私立が937万円と最も高くなっている。
- 【専門職学位課程】 前回調査より、4.4%減の805万円となっている。
設置者別では、私立が824万円と最も高くなっている。

[単位：千円]

区 分		大学 (昼間部)	短期大学 (昼間部)	修士課程	博士課程	専門職 学位課程
令和2年度	国立	(0.2) 8,560	...	(▲ 2.8) 8,460	(0.5) 7,370	(▲ 7.3) 7,980
	公立	(▲ 3.3) 7,250	(4.7) 6,290	(1.9) 7,690	(8.3) 8,190	(▲ 5.9) 6,580
	私立	(▲ 3.8) 8,380	(0.3) 6,440	(▲ 6.6) 8,300	(▲ 3.4) 9,370	(▲ 1.2) 8,240
	平均	(▲ 3.1) 8,350	(0.6) 6,440	(▲ 3.8) 8,360	(▲ 0.4) 7,910	(▲ 4.4) 8,050
	平成30年度平均	(3.9) 8,620	(3.4) 6,400	(4.1) 8,690	(7.7) 7,940	(6.0) 8,420
平成28年度平均	(0.7) 8,300	(▲ 5.9) 6,190	(5.6) 8,350	(0.4) 7,370	(▲ 0.6) 7,940	

※（ ）は、直前の調査との比較である（単位：%）。

[単位：千円]



6. アルバイト従事状況

アルバイト従事者（調査時前1年間においてアルバイトに従事した経験を有する者）の割合は、専門職学位課程を除くすべての学校区分において、前回調査より減少している。内訳を見ると、「家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し」と回答した者の割合は、すべての学校区分で減少しており、「家庭からの給付のみで修学可能」と回答した者の割合は、大学（昼間部）、短期大学（昼間部）で減少する一方で、修士課程、博士課程及び専門職学位課程では増加している。

[アルバイト従事者の割合]

- 【大学（昼間部）】 前回調査より、5.4ポイント減の80.7%となっている。
- 【短期大学（昼間部）】 前回調査より、7.0ポイント減の77.7%となっている。
- 【修士課程】 前回調査より、2.3ポイント減の82.5%となっている。
- 【博士課程】 前回調査より、0.5ポイント減の71.1%となっている。
- 【専門職学位課程】 前回調査より、0.4ポイント増の48.2%となっている。

区 分		[単位: %]		
		平成 28年度	平成 30年度	令和 2年度
大学 (昼間部)	アルバイト従事者	83.6	86.1 (2.5)	80.7 (▲5.4)
	家庭からの給付のみで修学可能	47.5	52.0 (4.5)	49.1 (▲2.9)
	家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	36.0	34.1 (▲1.9)	31.5 (▲2.6)
	アルバイト非従事者	16.4	13.9 (▲2.5)	19.3 (5.4)
短期大学 (昼間部)	アルバイト従事者	82.9	84.7 (1.8)	77.7 (▲7.0)
	家庭からの給付のみで修学可能	45.8	47.0 (1.2)	42.8 (▲4.2)
	家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	37.0	37.7 (0.7)	35.0 (▲2.7)
	アルバイト非従事者	17.1	15.3 (▲1.8)	22.3 (7.0)
修士課程	アルバイト従事者	82.3	84.8 (2.5)	82.5 (▲2.3)
	家庭からの給付のみで修学可能	39.8	43.8 (4.0)	44.5 (0.7)
	家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	42.5	41.0 (▲1.5)	38.0 (▲3.0)
	アルバイト非従事者	17.7	15.2 (▲2.5)	17.5 (2.3)
博士課程	アルバイト従事者	71.0	71.6 (0.6)	71.1 (▲0.5)
	家庭からの給付のみで修学可能	17.8	19.9 (2.1)	20.9 (1.0)
	家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	53.1	51.7 (▲1.4)	50.2 (▲1.5)
	アルバイト非従事者	29.0	28.4 (▲0.6)	28.9 (0.5)
専門職 学位課程	アルバイト従事者	43.9	47.8 (3.9)	48.2 (0.4)
	家庭からの給付のみで修学可能	19.5	23.0 (3.5)	26.7 (3.7)
	家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	24.4	24.7 (0.3)	21.4 (▲3.3)
	アルバイト非従事者	56.1	52.2 (▲3.9)	51.8 (▲0.4)

※ ()は、直前の調査との増減である。

※ 大学院の「アルバイト従事者」には、TA(ティーチング・アシスタント)、RA(リサーチ・アシスタント)を含む。

7. 奨学金の受給状況

日本学生支援機構の奨学金など何らかの奨学金を受給している者の割合は、短期大学（昼間部）では増加が続いており、博士課程、専門職学位課程では減少が続いている。大学（昼間部）、修士課程においては、前回調査では減少したが今回調査では増加に転じている。

[奨学金受給状況]

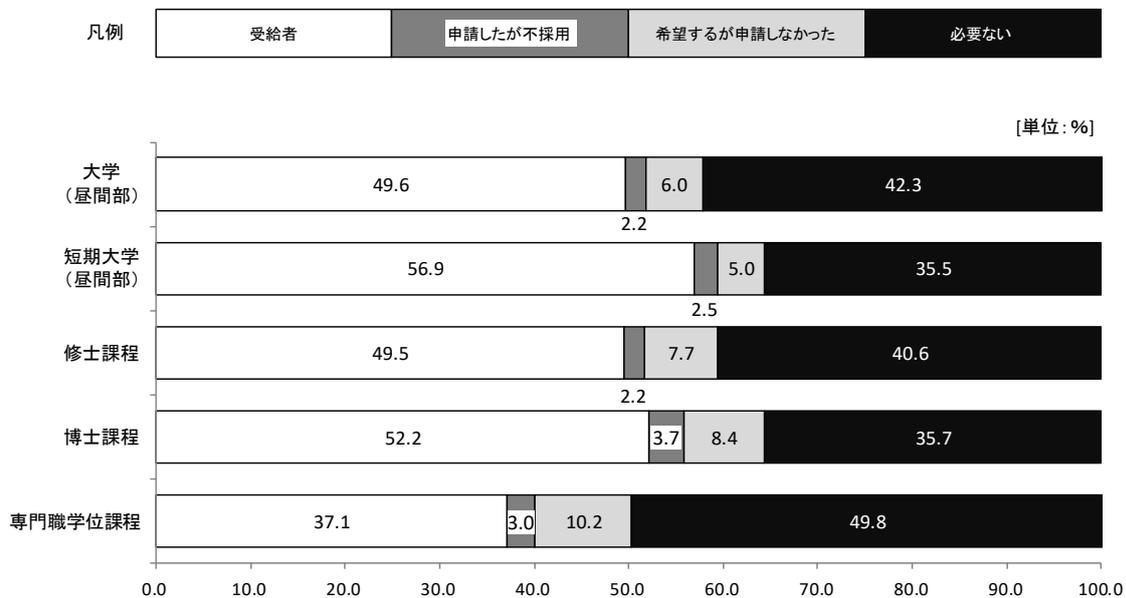
- 【大学（昼間部）】 前回調査より、2.1ポイント増の49.6%となっている。
- 【短期大学（昼間部）】 前回調査より、1.7ポイント増の56.9%となっている。
- 【修士課程】 前回調査より、1.5ポイント増の49.5%となっている。
- 【博士課程】 前回調査より、1.3ポイント減の52.2%となっている。
- 【専門職学位課程】 前回調査より、4.0ポイント減の37.1%となっている。

[単位: %]

区 分	平成28年度	平成30年度	令和2年度
大学(昼間部)	48.9	47.5	49.6
短期大学(昼間部)	52.2	55.2	56.9
修士課程	51.8	48.0	49.5
博士課程	56.9	53.5	52.2
専門職学位課程	44.4	41.1	37.1

※ 調査時点(令和2年11月)における最近1年間に「日本学生支援機構の奨学金」と「日本学生支援機構以外の奨学金(給付・貸与等)」のいずれか、または両方を受給した学生の割合。

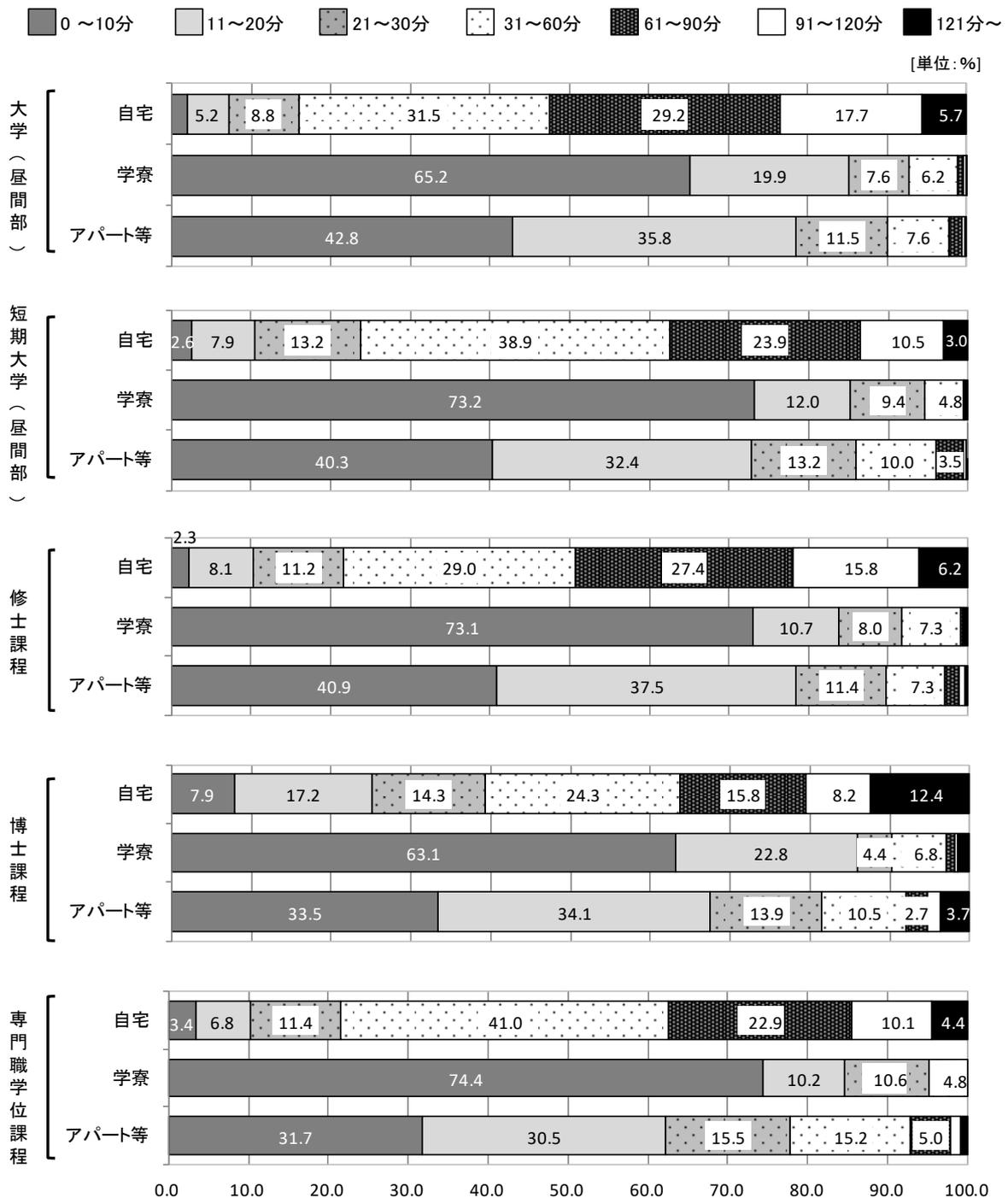
(参考) 学校区分別の奨学金受給希望・受給状況



8. 片道通学時間

片道通学時間について居住形態別に見ると、自宅からの通学者では、すべての学校区分において「31～60分」と回答した者の割合が最も高くなっている。学寮からの通学者では、すべての学校区分において「0～10分」と回答した者の割合が6割を超えている。アパート等からの通学者についても、すべての学校区分において「0～10分」又は「11～20分」と回答した者の割合が6割を超えている。

前回調査との比較について、大学（昼間部）で見たところ（下表「(参考)平成30年度調査」参照）、どの区分にも大きな変化は見られなかった。



[単位: %]

区分		0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上
大学 (昼間部)	自宅	1.9	5.2	8.8	31.5	29.2	17.7	5.7
	学寮	65.2	19.9	7.6	6.2	0.7	0.3	0.1
	アパート等	42.8	35.8	11.5	7.6	1.7	0.4	0.2
短期大学 (昼間部)	自宅	2.6	7.9	13.2	38.9	23.9	10.5	3.0
	学寮	73.2	12.0	9.4	4.8	0.1	-	0.6
	アパート等	40.3	32.4	13.2	10.0	3.5	0.4	0.2
修士課程	自宅	2.3	8.1	11.2	29.0	27.4	15.8	6.2
	学寮	73.1	10.7	8.0	7.3	0.5	-	0.5
	アパート等	40.9	37.5	11.4	7.3	1.7	0.7	0.4
博士課程	自宅	7.9	17.2	14.3	24.3	15.8	8.2	12.4
	学寮	63.1	22.8	4.4	6.8	1.0	0.5	1.5
	アパート等	33.5	34.1	13.9	10.5	2.7	1.6	3.7
専門職 学位課程	自宅	3.4	6.8	11.4	41.0	22.9	10.1	4.4
	学寮	74.4	10.2	10.6	4.8	-	-	-
	アパート等	31.7	30.5	15.5	15.2	5.0	1.2	0.9

(参考)平成30年度調査

[単位: %]

区分		0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上
大学 (昼間部)	自宅	1.6	5.0	8.5	31.2	29.4	18.7	5.7
	学寮	58.5	20.4	9.0	9.5	1.8	0.8	-
	アパート等	44.2	33.1	12.1	8.4	1.6	0.6	0.1

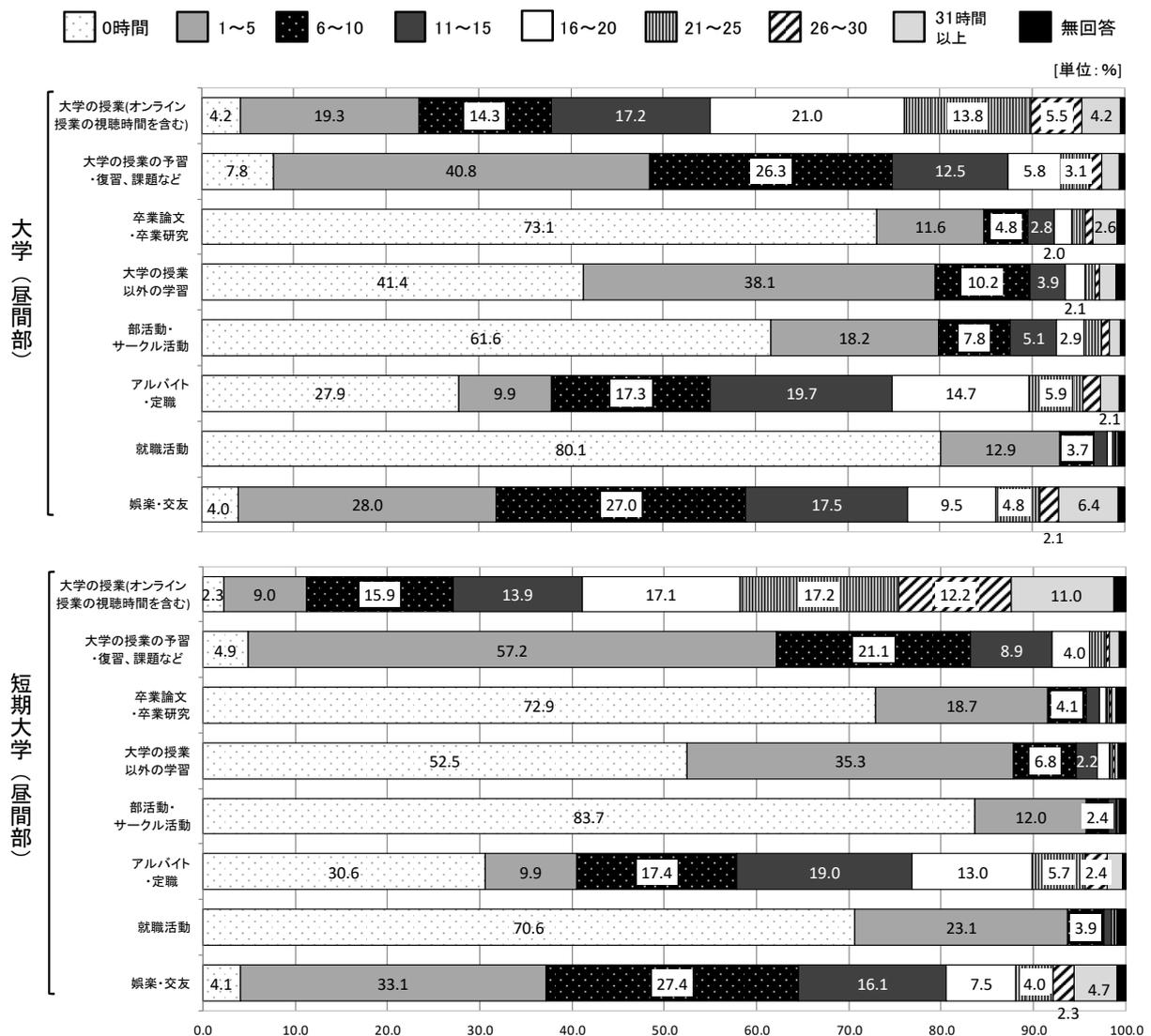
9. 週間平均生活時間

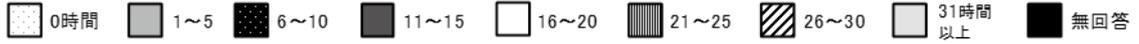
週間平均生活時間は、授業期間中の典型的な1週間（7日間）の生活時間について回答したものである。1時間以上と回答（「0時間」「無回答」以外と回答）した者の割合は、大学（昼間部）、短期大学（昼間部）で見たところ、「大学の授業（オンライン授業の視聴時間を含む）」、「大学の授業の予習・復習、課題など」及び「娯楽・交友」で9割を超えている。

前回調査との比較について、大学（昼間部）で見たところ（「(参考)平成30年度調査」参照）、「大学の授業の予習・復習、課題など」を週6時間以上と回答した者の割合が23.0ポイント増加した一方で、「部活動・サークル活動」は5.6ポイント減少、「アルバイト・定職」も5.6ポイント減少している。なお、前回調査から一部の選択肢の表記を変更している。（※）

※大学（昼間部）、短期大学（昼間部）では、前回調査の「1.大学の授業」「2.大学の授業の予習・復習など」を、それぞれ「1.大学の授業（オンライン授業の視聴時間を含む）」「2.大学の授業の予習・復習、課題など」に変更した。

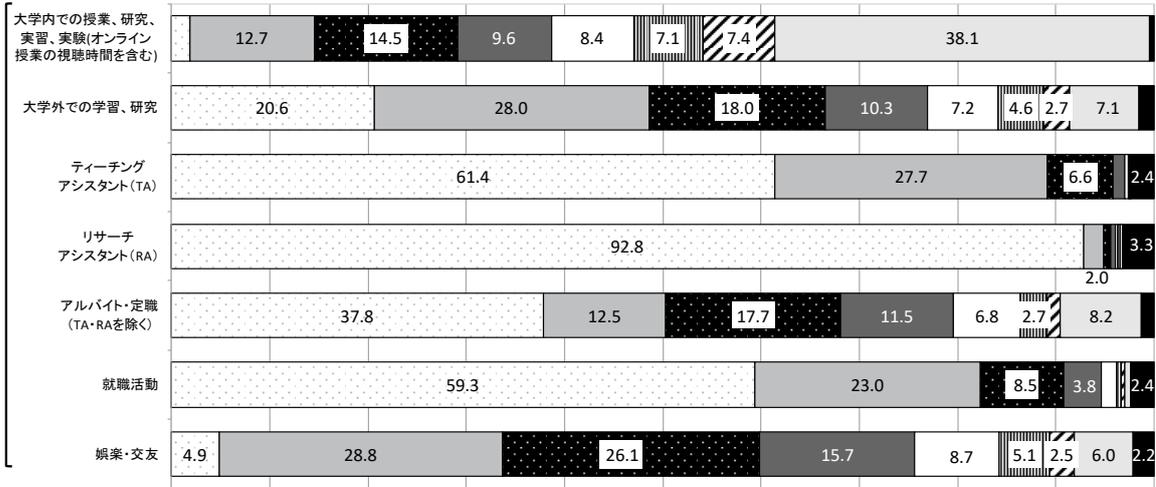
※修士課程、博士課程、専門職学位課程では、「1.大学内での授業、研究、実習、実験」を、「1.大学内での授業、研究、実習、実験（オンライン授業の視聴時間を含む）」に変更した。



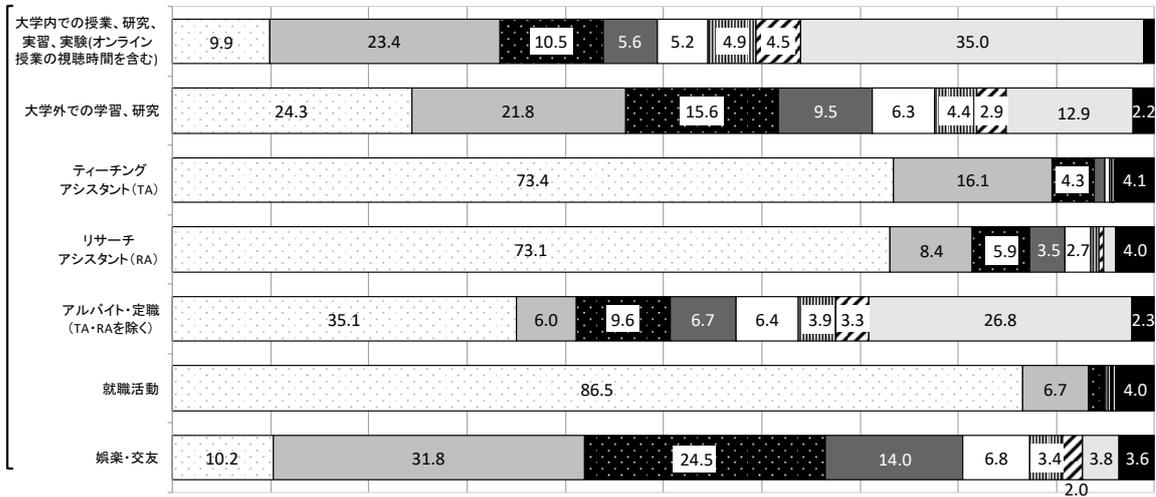


[単位:%]

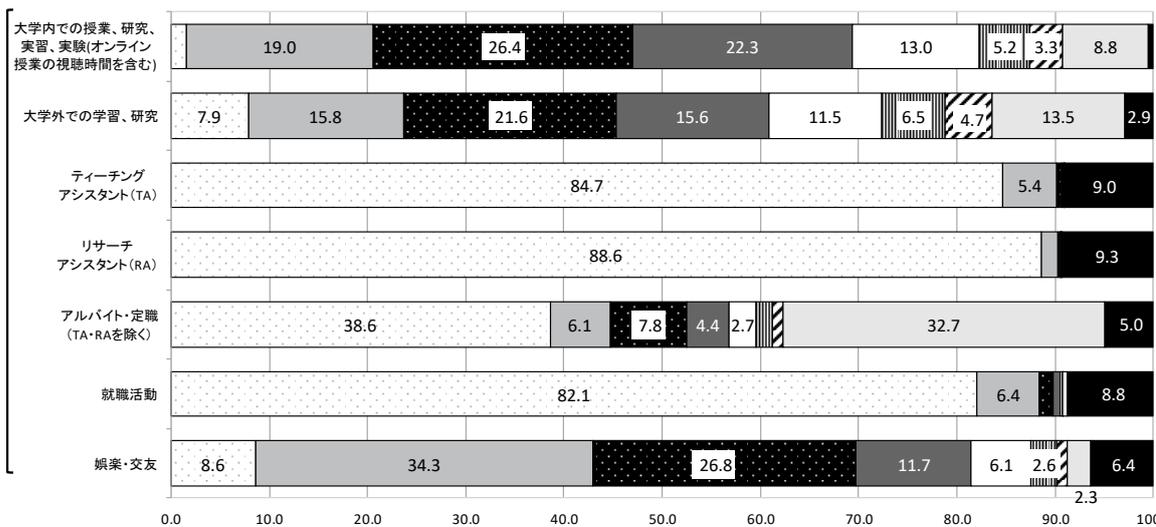
修士課程



博士課程



専門職学位課程



[単位: %]

区分		0時間	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	31時間以上	無回答	計
大学 (昼間部)	大学の授業(含オンライン授業)	4.2	19.3	14.3	17.2	21.0	13.8	5.5	4.2	0.4	100.0
	大学の授業の予習・復習、課題など	7.8	40.8	26.3	12.5	5.8	3.1	1.3	1.9	0.6	100.0
	卒業論文・卒業研究	73.1	11.6	4.8	2.8	2.0	1.4	0.9	2.6	0.8	100.0
	大学の授業以外の学習	41.4	38.1	10.2	3.9	2.1	1.1	0.5	1.8	0.9	100.0
	部活動・サークル活動	61.6	18.2	7.8	5.1	2.9	1.9	0.9	1.1	0.5	100.0
	アルバイト・定職	27.9	9.9	17.3	19.7	14.7	5.9	1.9	2.1	0.5	100.0
	就職活動	80.1	12.9	3.7	1.3	0.6	0.2	0.1	0.3	0.6	100.0
	娯楽・交友	4.0	28.0	27.0	17.5	9.5	4.8	2.1	6.4	0.7	100.0
短期大学 (昼間部)	大学の授業(含オンライン授業)	2.3	9.0	15.9	13.9	17.1	17.2	12.2	11.0	1.3	100.0
	大学の授業の予習・復習、課題など	4.9	57.2	21.1	8.9	4.0	1.8	0.4	1.0	0.7	100.0
	卒業論文・卒業研究	72.9	18.7	4.1	1.5	0.7	0.3	0.2	0.5	1.1	100.0
	大学の授業以外の学習	52.5	35.3	6.8	2.2	1.3	0.4	0.3	0.4	0.8	100.0
	部活動・サークル活動	83.7	12.0	2.4	0.8	0.2	0.2	0.1	0.0	0.5	100.0
	アルバイト・定職	30.6	9.9	17.4	19.0	13.0	5.7	2.4	1.8	0.3	100.0
	就職活動	70.6	23.1	3.9	0.9	0.2	0.1	-	0.3	0.9	100.0
	娯楽・交友	4.1	33.1	27.4	16.1	7.5	4.0	2.3	4.7	1.0	100.0
修士課程	大学内での授業、研究、実習、実験 (含オンライン授業)	1.8	12.7	14.5	9.6	8.4	7.1	7.4	38.1	0.5	100.0
	大学外での学習、研究	20.6	28.0	18.0	10.3	7.2	4.6	2.7	7.1	1.5	100.0
	ティーチングアシスタント(TA)	61.4	27.7	6.6	1.2	0.4	0.1	0.0	0.0	2.4	100.0
	リサーチアシスタント(RA)	92.8	2.0	0.8	0.5	0.3	0.2	0.1	0.2	3.3	100.0
	アルバイト・定職(TA・RAを除く)	37.8	12.5	17.7	11.5	6.8	2.7	1.4	8.2	1.3	100.0
	就職活動	59.3	23.0	8.5	3.8	1.5	0.5	0.3	0.6	2.4	100.0
	娯楽・交友	4.9	28.8	26.1	15.7	8.7	5.1	2.5	6.0	2.2	100.0
博士課程	大学内での授業、研究、実習、実験 (含オンライン授業)	9.9	23.4	10.5	5.6	5.2	4.9	4.5	35.0	1.1	100.0
	大学外での学習、研究	24.3	21.8	15.6	9.5	6.3	4.4	2.9	12.9	2.2	100.0
	ティーチングアシスタント(TA)	73.4	16.1	4.3	1.1	0.6	0.2	0.1	0.2	4.1	100.0
	リサーチアシスタント(RA)	73.1	8.4	5.9	3.5	2.7	0.8	0.5	1.2	4.0	100.0
	アルバイト・定職(TA・RAを除く)	35.1	6.0	9.6	6.7	6.4	3.9	3.3	26.8	2.3	100.0
	就職活動	86.5	6.7	1.7	0.5	0.2	0.1	0.0	0.3	4.0	100.0
	娯楽・交友	10.2	31.8	24.5	14.0	6.8	3.4	2.0	3.8	3.6	100.0
専門職学位課程	大学内での授業、研究、実習、実験 (含オンライン授業)	1.6	19.0	26.4	22.3	13.0	5.2	3.3	8.8	0.5	100.0
	大学外での学習、研究	7.9	15.8	21.6	15.6	11.5	6.5	4.7	13.5	2.9	100.0
	ティーチングアシスタント(TA)	84.7	5.4	0.5	0.0	0.2	0.0	-	0.0	9.0	100.0
	リサーチアシスタント(RA)	88.6	1.7	0.3	0.1	0.1	0.0	-	-	9.3	100.0
	アルバイト・定職(TA・RAを除く)	38.6	6.1	7.8	4.4	2.7	1.6	1.1	32.7	5.0	100.0
	就職活動	82.1	6.4	1.4	0.7	0.2	0.1	-	0.4	8.8	100.0
	娯楽・交友	8.6	34.3	26.8	11.7	6.1	2.6	1.1	2.3	6.4	100.0

(参考)平成30年度調査

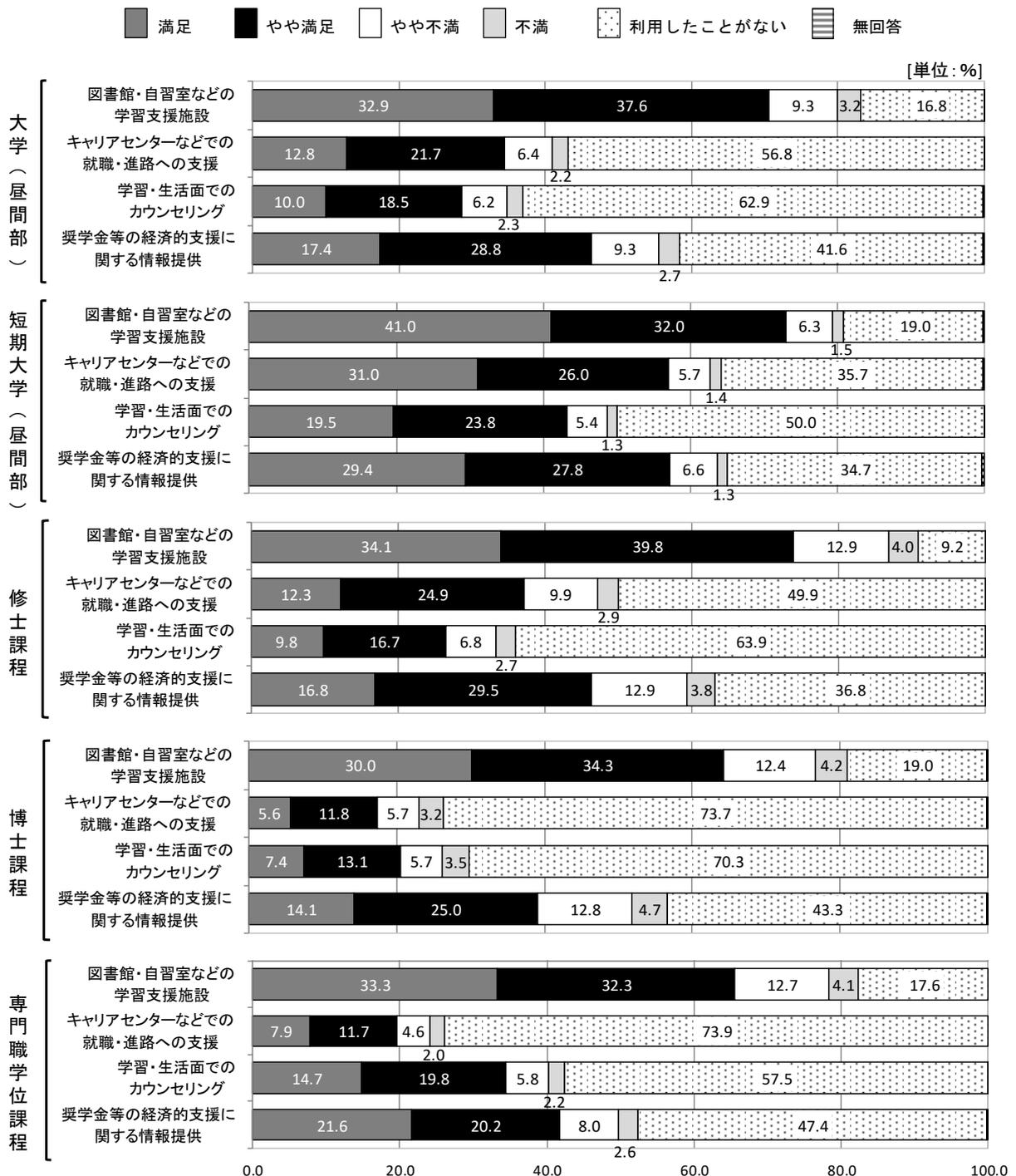
[単位: %]

区分		0時間	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	31時間以上	無回答	計
大学 (昼間部)	大学の授業	3.9	14.1	11.6	15.7	22.5	17.9	7.7	6.0	0.6	100.0
	大学の授業の予習・復習など	17.5	54.0	16.6	6.4	2.3	1.1	0.6	0.9	0.6	100.0
	卒業論文・卒業研究	70.8	11.8	5.1	3.2	2.2	1.6	1.0	3.7	0.6	100.0
	大学の授業以外の学習	43.2	37.7	9.8	3.8	1.7	0.9	0.6	1.5	0.8	100.0
	部活動・サークル活動	48.0	26.3	12.1	5.8	3.3	1.8	0.9	1.4	0.5	100.0
	アルバイト・定職	21.7	10.6	17.0	20.6	16.8	7.5	2.6	2.7	0.4	100.0
	就職活動	82.3	11.9	2.9	1.2	0.5	0.2	0.2	0.2	0.6	100.0
	娯楽・交友	2.3	27.9	28.8	17.7	9.4	4.8	2.0	6.4	0.7	100.0

10. 大学の学生支援体制への満足度

大学の学生支援体制への満足度について、「図書館・自習室などの学習支援施設」では、「満足」又は「やや満足」と回答した者の割合は、すべての学校区分において6割を超えており、短期大学（昼間部）では、「キャリアセンターなどでの就職・進路への支援」、「奨学金等の経済的支援に関する情報提供」についても5割を超えている。

前回調査との比較について、大学（昼間部）で見たところ（下表「(参考)平成30年度調査」参照）、「奨学金等の経済的支援に関する情報提供」については、「満足」と回答した者の割合が最も増加しており、その他の項目については、「利用したことがない」と回答した者の割合が最も増加している。



(参考)平成30年度調査

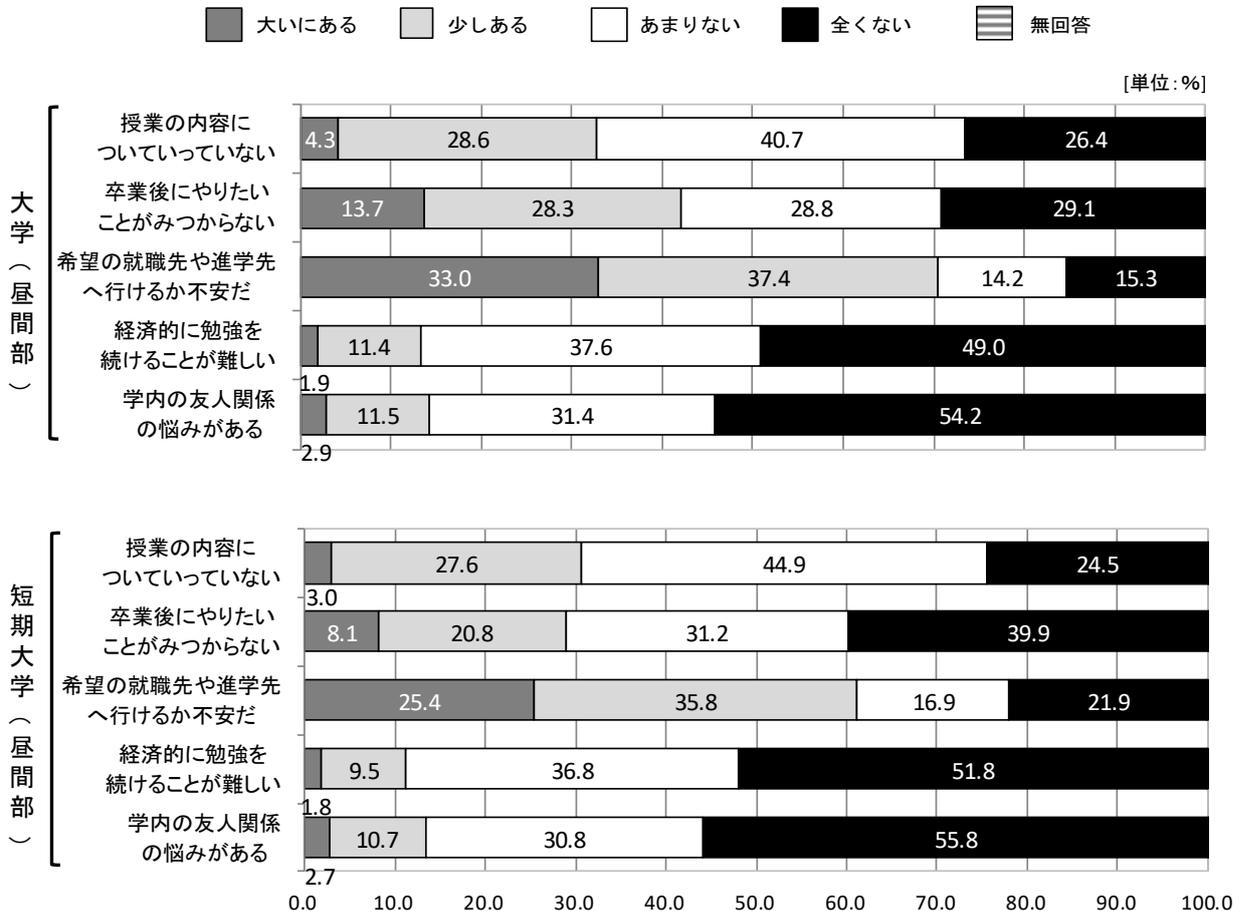
[単位: %]

区 分		満足	やや満足	やや不満	不満	利用したことがない	無回答	計
大学 (昼間部)	図書館・自習室などの学習支援施設	39.6	42.0	11.2	2.8	4.4	0.1	100.0
	キャリアセンターなどでの就職・進路への支援	15.1	25.6	7.6	2.5	49.1	0.1	100.0
	学習・生活面でのカウンセリング	10.3	20.6	7.0	2.2	59.8	0.1	100.0
	奨学金等の経済的支援に関する情報提供	16.4	28.1	10.1	2.8	42.5	0.1	100.0

11. 学生の不安や悩み

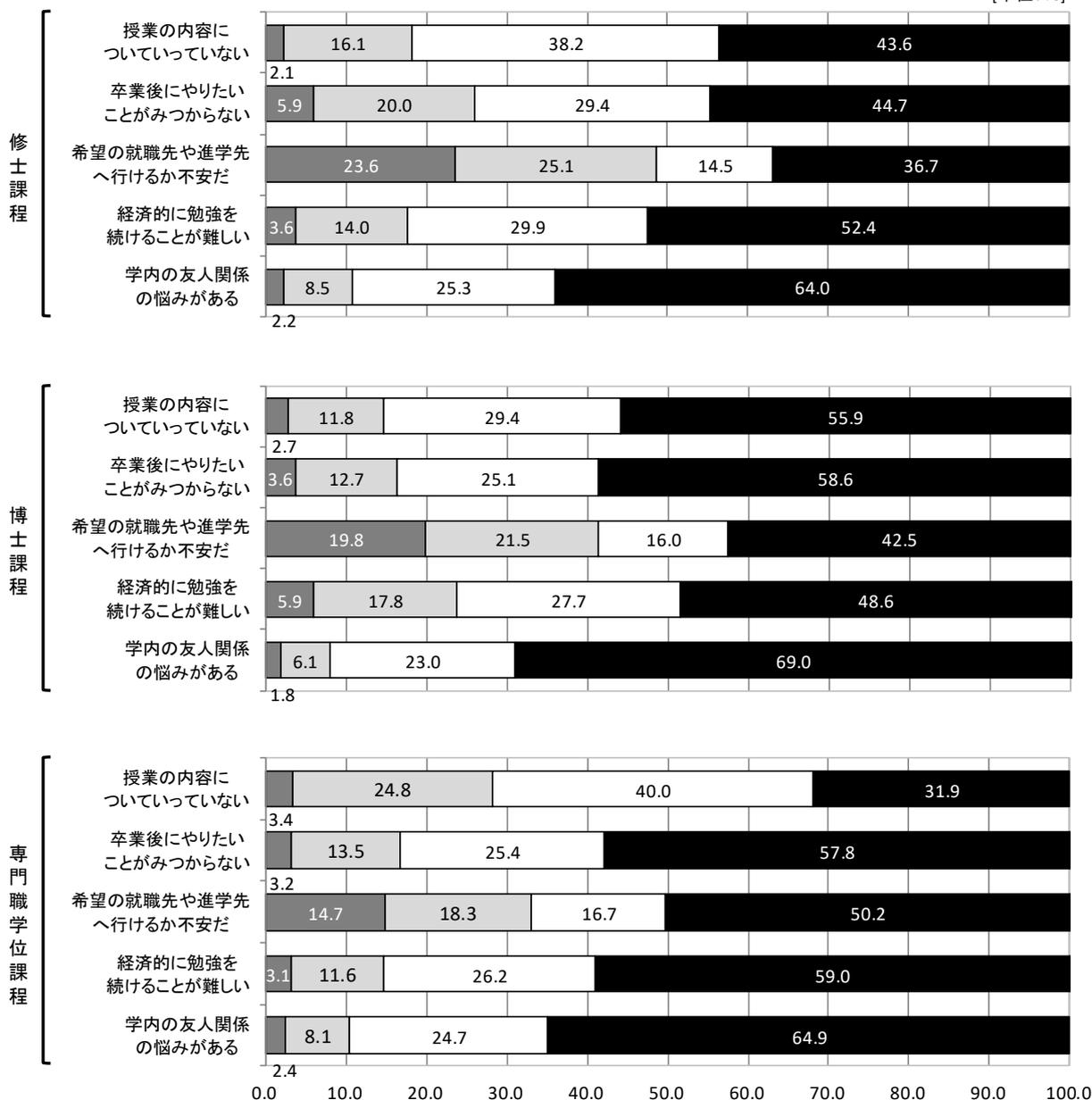
学生の不安や悩みについて、「大いにある」又は「少しある」と回答した者の割合は、前回調査と同様に、すべての学校区分において「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」が最も高くなっている。一方、「あまりない」又は「全くない」と回答した者の割合は、大学(昼間部)、短期大学(昼間部)では「経済的に勉強を続けることが難しい」が概ね9割、修士課程、博士課程及び専門職学位課程では「学内の友人関係の悩みがある」が概ね9割で、それぞれ最も高くなっている。

前回調査との比較について、大学(昼間部)で見たところ(下表「(参考)平成30年度調査」参照)、「大いにある」と回答した者の割合が最も増加した項目は「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」であり、「全くない」と回答した者の割合が最も増加した項目は「学内の友人関係の悩みがある」となっている。



大いにある
 少しある
 あまりない
 全くない
 無回答

[単位: %]



(参考) 平成30年度調査

[単位: %]

区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
大学 (昼間部)	授業の内容についていけない	3.9	27.7	41.3	27.1	0.1	100.0
	卒業後にやりたいことがみつからない	12.7	28.1	28.9	30.3	0.1	100.0
	希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	29.4	38.3	15.3	16.9	0.1	100.0
	経済的に勉強を続けることが難しい	2.3	11.5	37.4	48.7	0.1	100.0
	学内の友人関係の悩みがある	3.0	12.8	34.7	49.5	0.0	100.0

Ⅲ. 識者所見

- ※ 所見には、所見執筆者による独自集計が含まれます。
著作権は各所見執筆者に帰属します。

修学支援新制度の導入による学生への経済的支援の変化

濱中 義隆（国立教育政策研究所）

はじめに

2020年度（令和2年度）の学生生活調査は、「高等教育の修学支援新制度」（以下、新制度と表記する）の導入初年度の調査に該当する。受給基準、支援額など新制度の詳細に関する説明はここでは割愛するが¹、授業料減免の適用と返還不要の奨学金の給付を柱とする支援策により、経済的に修学が困難な学生に対する支援が大幅に拡張された。同制度の導入により、現に学生である者への修学継続を可能とすることのみならず、出身家庭の経済的状況による大学等への進学機会の格差を縮小することが期待されている。

同時に、2020年度調査は新型コロナウイルス感染症の拡大（以下、コロナ禍とする）の渦中に実施されたものである。2020年4月には全国的に緊急事態宣言が発出され、授業のオンライン化、課外活動の制限などほぼ全ての大学において学生生活がそれまでとは一変しただけでなく、社会・経済活動全般が著しく制約されたことにより、学生ならびにその出身家庭の経済状況に甚大な影響が及んでいることが度々指摘されてきたところである。当然、学生に対する経済的支援策の必要度にも影響したと考えられる。

このように2020年度は、学生に対する経済的支援の状況は、2つの大きな社会的事象が重なったことにより、前回調査から大きく変化していることが想定される。この2つの要因の影響を切り分けることは実のところ容易ではないのだが、本稿では、新制度導入の前後において、奨学金等の経済的支援策の実態がどのように変化したのかについて、新制度ならびにコロナ禍の影響の両者を踏まえながら検討する。

1. 学生への経済的支援に対する「新制度」の影響

(1) 『学生生活調査結果』における奨学金受給率の変化

学生生活調査の公式の集計結果である『学生生活調査結果』の6-1表および7表によれば、2020年度調査における日本学生支援機構奨学金の受給率（大学昼間部）は46.0%となり、2018年度調査の43.4%から2.6ポイントの増加となった²。反対に、日本学生支援機構以外の奨学金も含めて「そもそも奨学金は必要なかった」と回答した学生の比率は、2018年度調査の46.8%から42.3%へと4.5ポイント低下している。

この結果から、「コロナ禍の影響によって、家庭の収入減少や自身のアルバイトの減少で学生の経済的状況が厳しくなり、奨学金を必要とする者が増加した」と解釈するのは、やや短絡的に過ぎるだろう。前述のとおり、2020年度では返還不要の給付型奨学金が大幅に拡充されたため、採用基準を満たすならば奨学金を受給したいと考える者が増加することも想定される。新制度の導入が奨学金を含めた各種の学生への経済的支援策の受給状況にどのような影響を及ぼしたのかについては、奨学金の種類別の受給状況の変化を明らかにする必要があるが、『学生生活調査結果』ではこれらの集計値は公表されていないので、以下で詳しく検討することにした。

(2) 日本学生支援機構奨学金の種類別受給状況

図1には、大学の設置者別に、2014年調査から2020年調査の4時点における日本学生支援機構の

奨学金の受給状況の変化を示した。

奨学金の種類（受給状況）は、新制度導入後の2020年調査のみ「給付型のみ」、「給付+貸与」（給付型と貸与型の両方を受給）、「併用貸与」（第一種貸与奨学金と第二種貸与奨学金の併用）、「第一種のみ」、「第二種のみ」の5カテゴリとなるが、2018年調査までは、給付型に関するものを除いた「併用貸与」以下の3カテゴリのみである³。また、「不採用」（申請したが不採用になった）、「申請せず」（希望したが申請しなかった）は、申請ないし希望した奨学金の種類を尋ねていないため、いずれかの奨学金を希望したが実際には受給していない者である。なお、『学生生活調査結果』の6-1表、7表は、家庭の年間収入額が不明（無回答）である者を除いた集計であるのに対して、図1は調査票の該当項目に回答した者全てを含む集計としたため、先に示した受給率と図1では数値が若干異なることをあらかじめ断っておく。

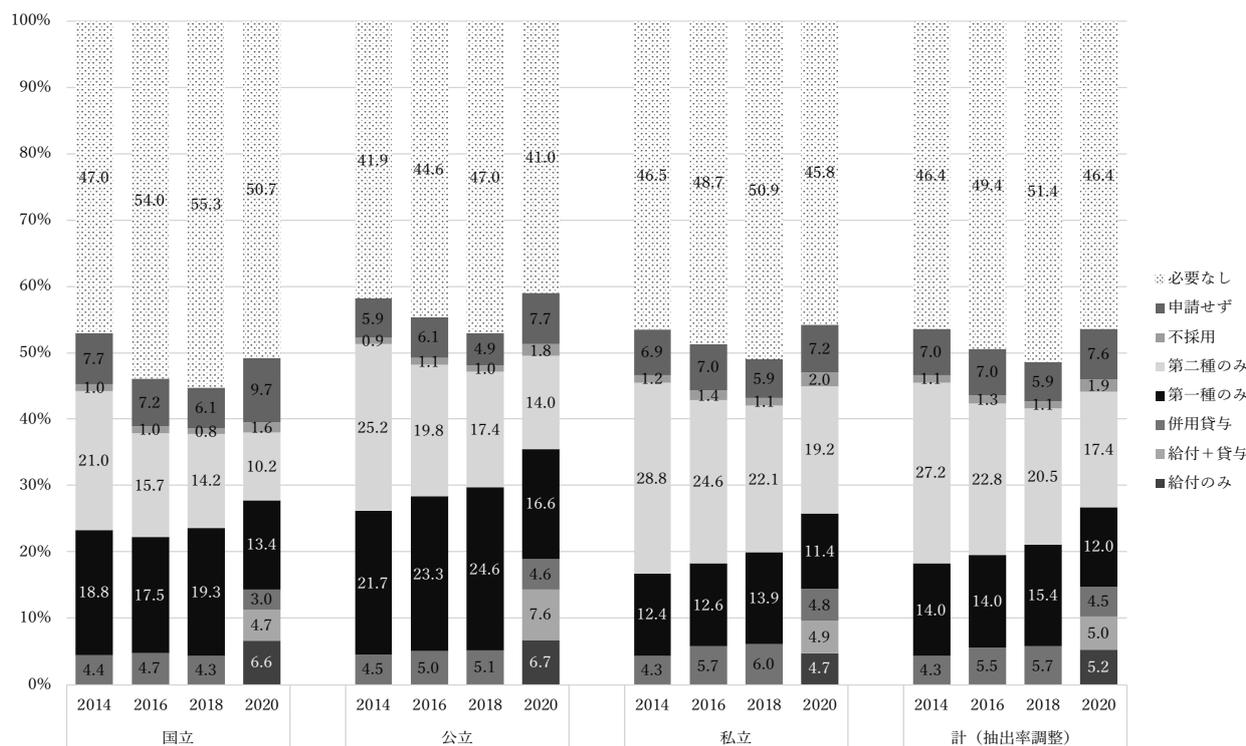


図1 日本学生支援機構の奨学金受給状況の変化（％）

初めに2020年度より大幅に拡充された給付型奨学金の受給者率（設置者計）から確認しておこう。2020年調査における日本学生支援機構給付型奨学金の受給者率は10.2%となった（「給付のみ」と「給付+貸与」との合計）。ここには2017年度に開始された旧制度による給付型奨学金の受給者も含まれるが、その該当者数は極めて少ないため⁴、新制度による給付型奨学金の受給者を学生全体の1割程度とみなしてよいだろう。

ちなみに日本学生支援機構の奨学金事業の実績から算出された2020年度の給付型奨学金受給者率は7.7%であり、学生生活調査における受給者率の方がやや高い。同様に図1における貸与型奨学金の受給者率は38.9%となるが、こちらも事業実績による受給者率33.8%よりも高い⁵。学生の自己申告による学生生活調査では、奨学金受給率が実態よりもやや高めになる（＝調査への回答者が奨学金受給者に偏っている）傾向は以前から確認されているところであり、実際の受給者率は図1に示す値から若干割り引く必要があるもの、受給者率のトレンドはある程度正確に捉えていると考えられる。

さて、2020年調査において、新制度による給付型奨学金を含めいずれかの日本学生支援機構奨学金を受給している者の率は44.1%（設置者計）となった。前回調査（2018年）より2.5ポイント増加しているが、2014年調査の45.5%と比較すればむしろ低い水準にある。2020年には新制度による給付型奨学金が大幅に拡充されたものの、奨学金受給率全体という観点からはそれほど大きな変化は見られなかった。言い換えれば、これまで貸与型を利用していた学生層の一部が、貸与型から給付型の利用に移行したということになる。

その結果、貸与型のみを受給者率は、2018年調査から「第一種のみ」、「第二種のみ」ともに3ポイント程度低下した（第一種と第二種の「併用貸与」も若干低下している）。「第一種のみ」、「併用貸与」の減少については、新制度の受給基準に該当する低所得層の給付型への移行によるものとみてよいだろう。一方、給付型への移行が生じたからといって、もともと中所得層を主たる利用者とする「第二種のみ」の受給者率を大きく下げる理由にはならない。中所得層における「奨学金離れ」も貸与型奨学金の受給者率の低下に影響していると考えられる⁶。

(3) 授業料減免制度の利用状況

新制度による支援対象者に対しては、給付型奨学金の支給に加えて、家庭の年間所得額に応じて、授業料の全額、2/3、1/3相当額のいずれかの授業料減免が適用される（ただし、私立大学においては減免の上限額の設定あり）。そのため、2020年調査ではそれ以前と比べて授業料減免を受ける学生の率が大きく増加することが想定される。

図2には、2014年から2020年までの4時点における、授業料減免の許可状況の変化を示した。ただし、図2における授業料減免には経済的事由によるものだけでなく、成績優秀者などに対するいわゆるメリットベースのものも含まれるため、2018→2020年間の許可状況の変化の全てが新制度による影響ということにはならない。

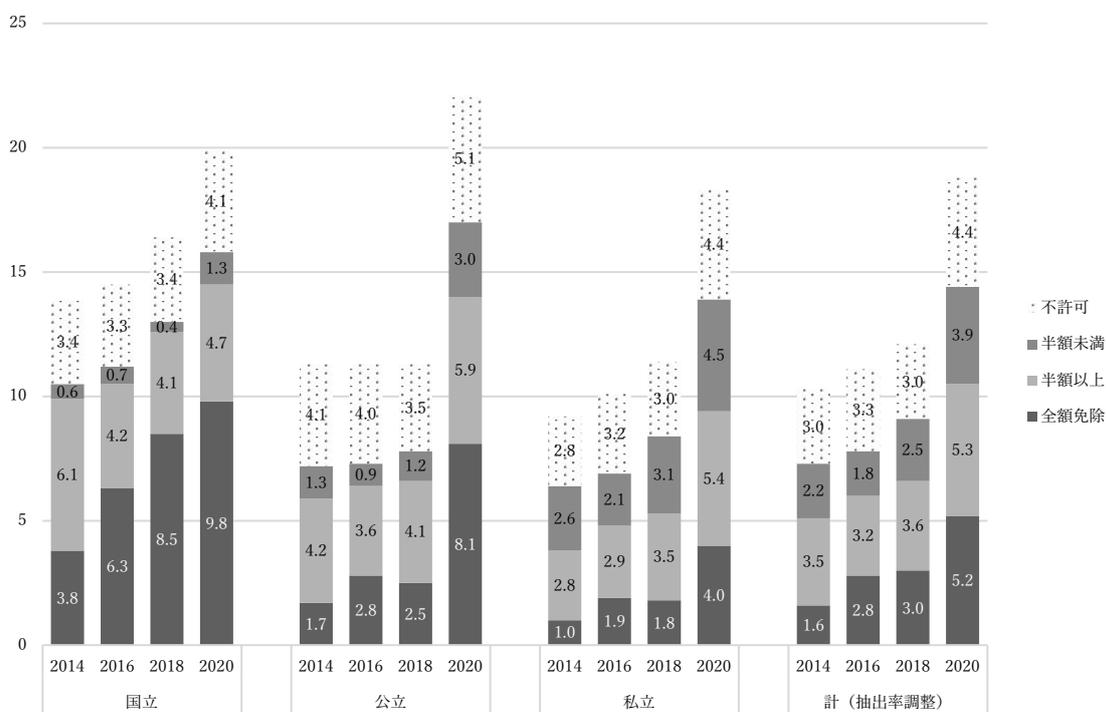


図2 授業料減免の許可状況の変化 (%)

そうした限界はあるものの、新制度導入後の2020年調査では、授業料減免を認められた学生の比率が国公立のいずれにおいても2018年調査より増加していることは明らかである。とりわけ公立、私立における増加が著しい。国立大学においては、新制度導入以前から全額ないし半額の授業料減免が運営費交付金を通じて措置されていたため新制度の影響は軽微であるが、公立、私立では今般の新制度によって授業料減免の対象者が大幅に拡大したことによると考えられる⁷。

また、上述の通り、授業料が国公立に比べて高額な私立大学においては、新制度に基づく授業料減免額の上限が設定されているため、全額免除の対象となる学生の率は国立、公立よりも低い。とはいえ、半額以上の減免を受ける学生の率はわずか数年前と比べて倍増しており、新制度による学費負担軽減の恩恵は大きいといえよう。

(4) 日本学生支援機構以外の奨学金の利用状況

図3には地方公共団体、民間奨学団体、大学などが実施主体となっている奨学金の受給者率の変化を示した。貸与型が多くを占める日本学生支援機構の奨学金とは異なり、これらの奨学金制度は、その規模は小さいものの、給付型が半数以上を占めるなど独自の役割を果たしてきた。

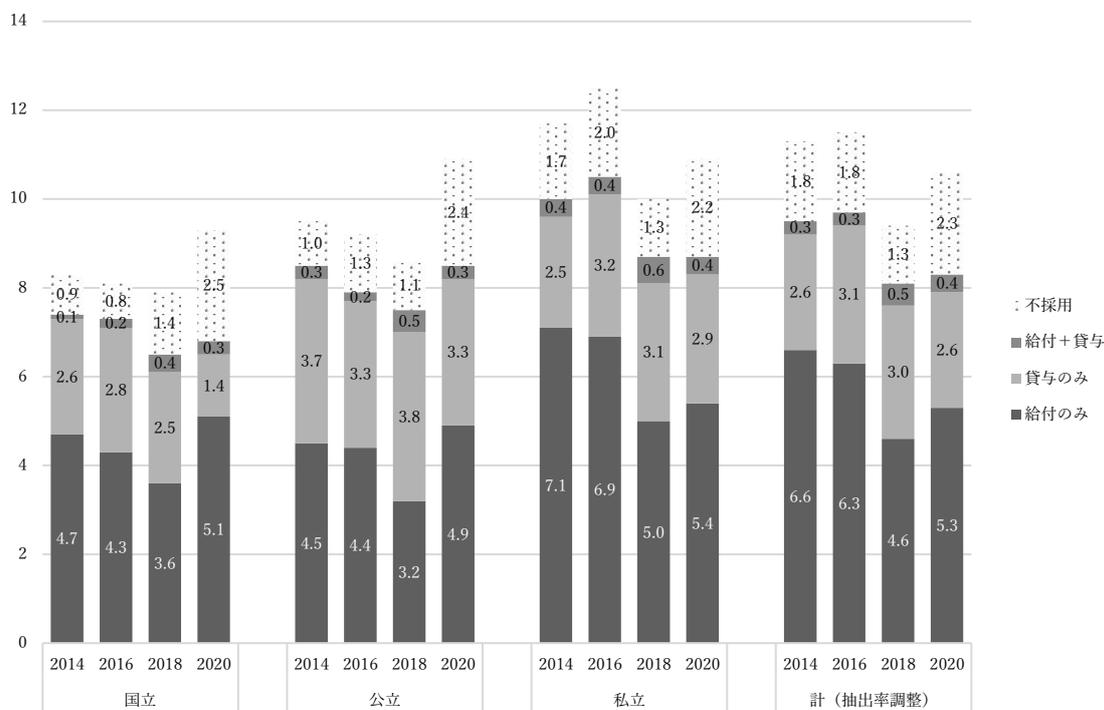


図3 日本学生支援機構以外の奨学金受給状況の変化 (%)

新制度の開始に伴い、経済的事由による奨学金については日本学生支援機構による給付型奨学金が拡充されたため、その他の奨学金の役割は縮小するのではないかと想定されたが、図3を見る限り、2020年度における受給率は以前と比べてさほど大きく低下していない。むしろ旧制度による給付型奨学金制度開始後の2018年において給付型が一旦縮小したものの、2020年度は受給者率が再び増加に転じているように見える。ここでその理由を明らかにすることはできないが、低所得層への公的支援が拡充したことにより大学独自の制度に充当するための財源が確保されたこと、コロナ禍の影響により経済状況が悪化した学生に対する緊急支援的な給付が拡大したことなどが要因として考えられよう。

ただし2020年調査では、日本学生支援機構以外の給付型奨学金を受けたと回答した者のうち、実際

に受給した額を「0円」と回答した学生が2割弱に及んでいることに留意しなくてはならない。新制度の開始によって奨学金の選択肢が増えたことの反面として、奨学金制度の全体像が複雑化した。調査票の構造も複雑にならざるを得ず、誤回答が増えた可能性も否定できない。学生生活調査以外の奨学制度に関する調査結果とも照合して検証するとともに、今後はより正確な回答が得られるよう調査票の設計を工夫していくことも必要である。

2. 経済的支援の必要度の変化

先に図1で示したように、「そもそも奨学金は必要なかった」と回答した者は2018年の51.4%から2020年では46.4%へと5ポイント減少しており（%はともに設置者計の値）、奨学金の必要度が高まったように見える。しかし、実際に奨学金を受給した学生の率は2.5ポイントの増加に留まった。その差分として「希望したが申請しなかった」、「申請したが不採用になった」が増えているのである。

図4は、「希望したが申請しなかった」と回答した者に対して、その理由を尋ねた設問への回答を2018年と2020年で比較したものである。給付型奨学金（旧制度）の対象がきわめて限定的であった2018年では、奨学金イコール貸与型であることを前提としたためか、「貸与のため卒業後の返還が大変」を申請しない理由に挙げた学生が最も多く35.9%を占めていた。それに対して2020年では、「卒業後の返還が大変」は26.4%まで低下し、かわって「収入基準が合わなかった」が17.6%から33.2%へとほぼ倍増している。

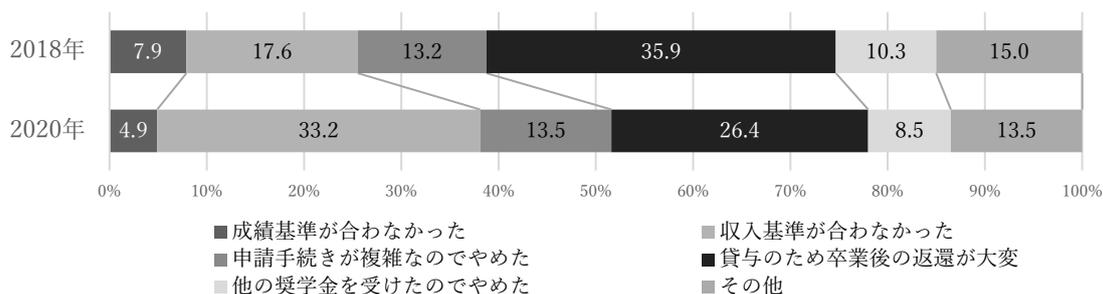


図4 日本学生支援機構の奨学金に申請しなかった理由（%）

この間、貸与型奨学金の受給基準に変更はなかったため、2020年調査の「希望したが申請しなかった」の中には、「給付型奨学金の収入基準にはそもそも該当しないけれども、もし（給付型を）受給できるならば希望した」という趣旨でこの選択肢を選んだ学生が多く含まれているものと見られる。2020年に「不採用になった」者が若干増加したのも、収入基準の境界付近の学生が給付型に申請したものの、結果的に不採用となったケースが少なからず存在するからだと推測される。「奨学金は必要なかった」とする学生の率が減少したからといって、そのことから直ちに、学生の経済的状況が2020年に（コロナ禍の影響で）厳しくなったということにはならないのである。

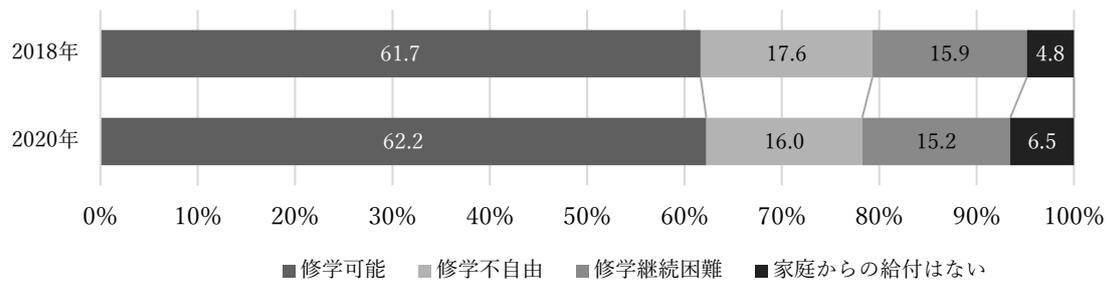


図5 家庭からの給付と修学の関係 (%)

家庭からの給付のみで修学可能か否かを尋ねた設問への回答を見ても（図5）、家庭からの給付のみでは「修学不自由」、「修学継続困難」と回答した者の率は2018年と2020年の間でほとんど変化していないことがわかる。コロナ禍により家庭の経済状況への影響が指摘されるところではあるが、調査結果を見る限り、修学継続が困難というところまでは2020年11月時点では至っていない。

その一方で、「家庭からの給付はない」とした者は2018年の4.8%から2020年では6.5%へとやや増加している。給付型と貸与型の両方を受給している者のうち28%の学生が「家庭からの給付はない」としている。給付型奨学金の拡大により、低所得層において家庭からの給付なしで修学可能になった者が増加したことが示唆され、この点は新制度の効果であるといえるだろう。

3. 新制度の進学機会均等への効果

新制度による給付型奨学金と授業料減免の拡充は、大学（高等教育）進学の世界機会均等を目的とするものであることはいうまでもないだろう。新制度によって低所得層からの進学率が拡大したならば、大学生に占める低所得層の割合が相対的には増加するはずである。『学生生活調査結果』の3-1表によれば、新制度の対象におおよそ該当する家庭の年間収入400万円未満の学生が占める割合は、2018年には15.2%であったのに対して、2020年には17.0%となりわずかに増加している。ただし、この結果は、進学機会の均等化によってもたらされたのか、大学生の保護者世代において年間収入の低い層が増えたことによるのかが峻別できない。

そこで、図6では、2020年調査における1年生と2年生の家庭の年間収入の分布を比較してみた。新制度の導入が低所得層の進学を促したのであれば、2020年入学者である1年生の方が、新制度導入前に進学した2年生よりも低所得層の割合が高いことが期待される。しかし図6のように、1年生において低所得層の割合が高くなる傾向は見られなかった（むしろ2年生よりやや低い）。すなわち新制度は、従来から貸与型奨学金の利用など何らかの手段で学費を調達し進学していた低所得者層の負担を軽減したものの、機会均等に対する貢献はマクロに見れば今のところかなり限定的だということになる。

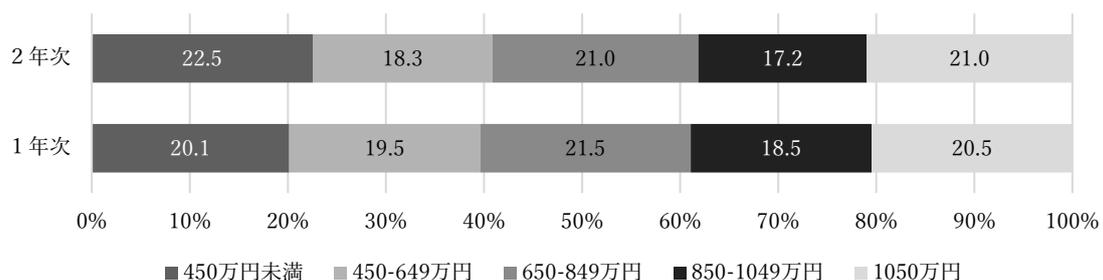


図6 新制度導入前後における進学者の世帯年収分布の比較 (%)

もちろん 2020 年は新制度の初年度であり、制度の詳細が公表された時期が前年の後半以降であったため、その時点で大学進学以外の進路を決定していた者も少なくなかったに違いない。新制度導入から 3 年目となる学年が入学する次回の学生生活調査においても引き続き確認する必要があるし、新制度の効果については様々なデータから検証していかなくてはならない。

4. 学生生活調査にみる新制度の課題

新制度導入後の 2020 年においても日本学生支援機構の奨学金受給者率がそれほど増加したわけではないことは、先に示した通りである。これは、新制度の対象者が、旧制度による給付型奨学金よりは拡大したとはいえ、かなり限定的だからでもある。

新制度の受給要件におおよそ合致する年間収入 400 万円未満の世帯出身の学生に限れば、日本学生支援機構の奨学金受給者率は、2018 年の 66.0%（貸与型のみ）から 2020 年には 76.4%へと増加している（図 7）。このうち、47.3%が給付型奨学金の受給者（「給付のみ」と「給付＋貸与」）である。卒業後の返還が不要な給付型奨学金の拡大により、低所得層においては経済的支援を利用しやすくなったことは間違いない。

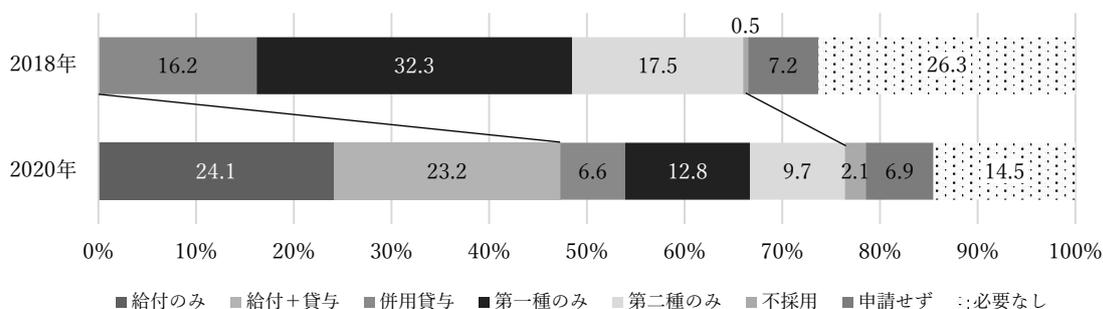


図 7 年収 400 万円未満世帯における日本学生支援機構奨学金利用状況 (%)

同時に、2020 年度においても年収 400 万円未満世帯でも約 3 割の学生は貸与型奨学金のみを利用している点にも着目したい。もちろん年収 400 万円未満というのは、新制度における所得基準のおおまかな目安であり、兄弟姉妹数など家族構成によって、全ての学生が新制度の対象となるわけではない。また、そもそも学生の自己申告による世帯年収の値が不正確だということもあるだろう。とはいえ約 3 割もの学生が貸与型奨学金のみを利用しているという結果は、本来、受給資格があるにもかかわらず申請していない者が少なくないことを示していないだろうか。2020 年は新制度実施の初年度であり、申請資格や支援額などに関する周知が十分であったか検証する必要があるだろう。

一方、新制度の所得基準外となる年収 400～600 万円未満世帯における日本学生支援機構の奨学金利用率も 62.2%と実はかなり高い水準にある（図表は省略）。2020 年調査では、このうちの 10%が給付型奨学金を受給していると回答しているが（世帯年収を考えると誤回答も含まれるだろう）、他の大部分の学生は貸与型奨学金の利用ということになる。2020 年調査では、これまでと比べて「申請したが不採用になった」とする者の比率が増えており、世帯年収のわずかな差によって、給付型奨学金（＋授業料減免）を受けられるか、あるいは返還が必要な貸与型奨学金を利用せざるを得ないかが分かれるケースが少なからず存在することが想定される。それによって、実質的な世帯収入が逆転するようなケースは稀であるにしても、対象外となった学生が不公平感を抱くことは避けられないし、反対に、次年度以降のわずかな世帯年収の変化によって、在学途中で給付型の支援を受けられなくなるケース

も存在するだろう。こうした点をいかに調整していくかが新制度の課題として残されており、学生生活調査はそのための根拠資料としてますます重要な位置づけを与えられることになるだろう。本稿で示した調査実施上の課題の克服を含めてさらに検討していきたい。

¹ 新制度の詳細については、文部科学省「高等教育の修学支援新制度」のウェブサイト (https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm) を参照されたい。

² 6-1表における「受給者」の率（日本学生支援機構以外の奨学金を含めた何らかの奨学金を受給している者の率）に、7表の奨学金の種類のうち「日本学生支援機構」と「両方」の率を合算して掛け合わせて算出した値を、ここでは日本学生支援機構の奨学金受給率としている。

³ 2017年度より日本学生支援機構による給付型奨学金制度（旧制度）が開始されたため、2018年度の学生生活調査では旧制度の利用の有無を尋ねている。ただし、旧制度による給付型奨学金は、対象が住民税非課税世帯に限定されること、成績要件による学校推薦枠が設定されていたことなどにより、利用可能な学生が極めて少なかった。にもかかわらず2018年度調査では給付型奨学金を受給していると回答した者の率が著しく過大となった（事業実績から推計される受給率0.6%の5倍以上）。そのため明らかな誤回答が多くを占めると判断し、図1の2018年度調査の集計値は貸与型の受給率のみの提示としている。

⁴ 『JASSO年報（令和2年度）』p.117、第14表-1（奨学金給付人員）によれば、2020年度の旧制度による給付型奨学金受給者の率は全学生の0.1%である。なお、2019年度に旧制度の給付型奨学金を受給していた者の多くが、2020年度に新制度における給付に移行している。新制度の下では給付型奨学金に加えて授業料減免の対象となることからこうした移行が生じるのは当然である。

⁵ 『JASSO年報（令和2年度）』p.117、第14表-1（奨学金給付人員）および第14表-2（奨学金貸与人員）より。なお、同表における「大学」には、大学夜間部を含むが、夜間部の学生数は少ないためほとんど影響はないだろう。

⁶ 2016年以前については、第一種奨学金については学力基準が厳格であったため、家計基準を満たす低所得層においても第二種奨学金（有利子貸与）利用せざるを得ないケースが少なくなかった。

⁷ 2010年以降、国立大学では授業料免除率（授業料収入予定額に占める免除額の比率）を段階的に引き上げるべく予算措置がなされてきた（2009年度5.8%→2018年度12.0%）。この間、公立大学には地方財政措置を通じて、私立大学には私立大学等経常費補助金を通じて経済的事由による授業料減免を実施した機関に対する補助（半額助成）が行われてきたが、国立大学に比べてその予算規模は小さかった。

コロナ禍のなかでのアルバイト状況

岩田 弘三（武蔵野大学）

2019年12月上旬に発生した新型コロナウイルス（COVID-19）感染症は世界に広がり、多くの国で都市封鎖（ロックダウン）や移動制限が実施された。日本でも、2020年4月7日には、東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・大阪府・兵庫県・福岡県の7都府県に対し緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出、夜間の外出の自粛などが要請された。それにともないこれらの都府県を中心に、生活必需品・サービスを提供する店舗以外の商業施設に対して休業要請がなされた。そして5月25日に政府が緊急事態宣言解除を行うまでは、とくに飲食業では多くの店舗は営業を自粛し、終日休業に踏み切る店舗も少なくなかった。よって多くのアルバイトも休業を余儀なくされた。のみならず不要不急の外出を避ける傾向の増加とともに、とくに飲食業では旅行・宿泊業などと並んで客足が激減した。そして客の減少は「新たな日常（ニューノーマル）」となり、緊急事態宣言解除後も大幅に回復することはなかった。学生アルバイトの4割以上が飲食業従事であることを考えれば、以上の状況なども大きな要因になって、2020年度における学生のアルバイト従事率やアルバイト収入は、大幅に低下したことが予想される¹。

それでは、コロナ禍の影響によって実際には、学生のアルバイト従事率やアルバイト収入はどの程度、低下したのだろうか。ここでは以下、四年制大学（六年制学部を含む）昼間部の学生に限定して、コロナ禍の直撃を受けた2020年度のアルバイト状況についてみていく。

まず図1で、アルバイト従事状況について確認しておこう。①「授業期間中に経常的にアルバイトをしている学生の比率」、②「臨時的なものを含めて授業期間中にアルバイトをしている学生の比率」、③それに長期期間中のみのアルバイトを加えて、「経常的・臨時的なアルバイトを含めて、1年間に何らの形でアルバイトに従事した学生の比率」のいずれの比率も、2016・18年度には急激な上昇をみせていた。しかし、コロナ禍の影響を受け、一転して2020年度には大幅に減少している。

つぎに、図2で、アルバイト収入額の推移についてみてみよう。アルバイトをしている学生だけを取り出した場合のアルバイト収入（アルバイト収入の有額平均）は、2014年度の数値が高ブレしている可能性が高いことを考えれば、2016・18年度には増加傾向にあった²。それが、コロナ禍の影響を受け、2018年度から2020年度にかけて、アルバイト収入の有額平均については、467,255円から454,151円へと13,103円³の減少がみられる。

アルバイトをしている学生だけを取り出した場合の、つまり有額平均でみた場合の、授業期間中の典型的な1週間（7日間）の生活時間は、2018年度から2020年度にかけて、13.9時間から13.0時間へと、約1時間の減少がみられる⁴。政府による店舗への営業時間短縮要請の影響と推測される。そして、それにとまなうアルバイト時間の縮小によって、アルバイト収入が減少したことは明らかである。

アルバイトに従事していない学生も含めたアルバイト収入額（実額平均）についても、2016・18年度には増加傾向にあった。それが、コロナ禍の影響を受け、2018年度から2020年度にかけて、アルバイト収入の実額平均については、402,306円から366,500円へと、35,806円の減少がみられる⁵。

ここで、アルバイト収入について、その有額平均より実額平均の落ち込みの度合いが大きい

は、アルバイト従事率が大幅に低下したことが、その主要な原因となっている。なぜなら、アルバイト収入の実額平均値は、全学生のアルバイト収入の総和を分子とし、学生数を分母とした割り算で算出される。この場合、アルバイト従事率が低下すれば、アルバイト収入額が0円となる、アルバイト非従事者が増加することになり、その分だけ分子が縮小するからである。

こうしてみると、アルバイト収入の実額平均の減少は、コロナ禍のなかでの時短営業要請によるアルバイト時間の縮小の影響も受けたものの、それ以上に、休業要請によるアルバイト従事率の低下の影響をよリモろに受けたものであったといえる。

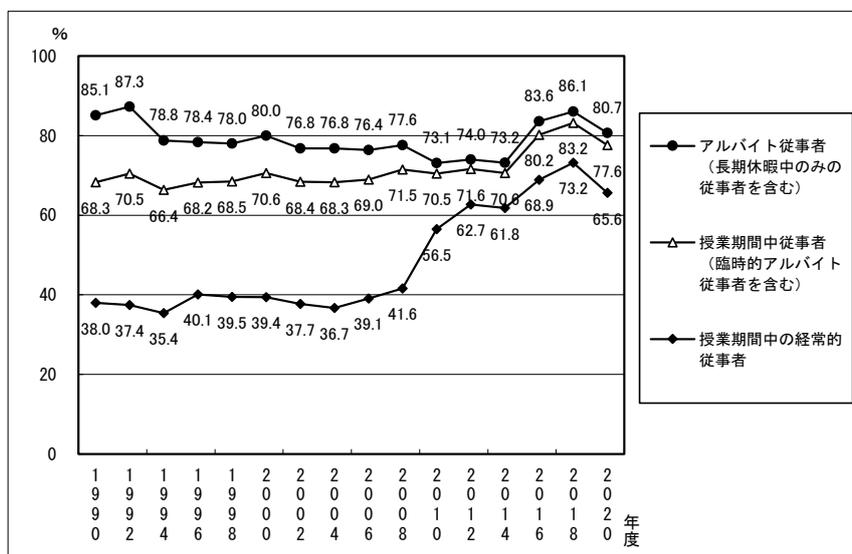


図1. アルバイト従事状況

図注) ①2010年度以降については、アルバイト(最近1年間)を「授業期間中」に、週にどのくらいしたのかを、「1. まったくしなかった」「2. 不定期にした」「3. 週に1~2日した」「4. 週に3日以上した」の4択で質問している。授業期間中の経常的従事者とは、この質問で3もしくは4の選択肢を選んだ人、つまり週に1日以上従事した学生。授業期間従事者は、それに2の選択肢を選んだ学生を足し込んだもの。

②2008年度までについては、「長期休暇中のみ従事」、「授業期間中に臨時的に従事」、「授業期間中に経常的に従事」、「長期休暇中にも授業期間中にも従事」、の4つの選択肢をもとにした質問がなされていた。そこで、これらの年度における「授業期間中の経常的従事者」については、「長期休暇中にも授業期間中にも従事した」学生の授業期間中のアルバイト勤務形態が、「授業期間中に臨時的に従事」した学生と、「授業期間中に経常的に従事」した学生の比率を反映しているものとして推計している。

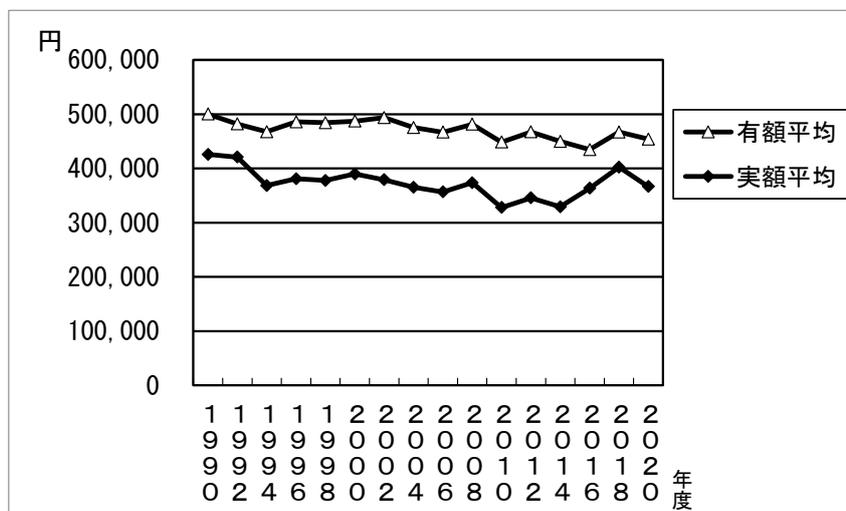


図2. アルバイト収入(年収)

図注) ①有額平均については、全学生の平均アルバイト収入額を、アルバイト従事率で除して計算。

②各年度の数値は、2020年の消費者物価指数をもとに、最近の円価格に換算してある。

ここまでみてきたように、コロナ禍の影響でアルバイト収入は減少した。それでは、その収入減少は、アルバイト以外の何らかの収入源の増加によって、補完されることになったのであろうか。この点を確認するために、学生生活費収入について、2018年度と20年度を比較したものが、表1の上段部分である。

表1をみると、2018年度に比べて、コロナ禍の直撃を受けた2020年度には、アルバイト収入以上の規模で、「家庭からの給付」が減少していることが分かる。

これに対し、奨学金収入は増加している。2020年度の高等教育機関（四年制大学の他、短期大学・専門学校に加え、高等専門学校4～5年生も含まれる）進学予定者・在学者からは、住民税非課税世帯、およびそれに準ずる世帯を対象にして、高等教育の修学支援新制度が導入されることになった（一般的には「高等教育無償化」制度と呼ばれる）。表2に示したように、四年制大学についてみた場合、2018年度から2020年度にかけて、奨学金収入のなかで大幅な増加がみられるのは、「高等教育無償化」制度による日本学生支援機構の給付奨学金である。これに対し、日本学生支援機構およびそれ以外の貸与奨学金は、いずれもむしろ減少している。つまり、家庭からの給付およびアルバイト収入の減少にともなう、学生生活費収入総額の低下を補うために、貸与奨学金が利用されたわけではないことは明らかである。

こうしてみると、「高等教育無償化」制度の対象となった、低所得層の家庭では、日本学生支援機構の給付奨学金によって、奨学金収入が増加したために、家庭からの給付の負担を減少させたものと思われる。

しかし、それ以外の家庭では、貸与奨学金の貸与額を増加させることによって、その分だけ家庭からの給付を縮小させたわけではないことが示唆される。のみならず、アルバイト収入の減少は、学生の努力ではどうしようもない、コロナ禍の影響で生じたものであった。にもかかわらず、低所得層以外の家庭でも、そこで減少した分を、家庭からの給付で補完するどころか、むしろ減額が行われてさえいるのである。

表1. 学生生活費収入・支出の2018年度と2020年度の比較

(単位＝円)

		2018年度	2020年度	2020年度－2018年度
収入	家庭からの給付	1,196,600	1,144,700	-51,900
	奨学金	359,600	373,200	13,600
	アルバイト	401,500	366,500	-35,000
	定職収入・その他	43,600	43,200	-400
	計	2,001,300	1,927,600	-73,700
支出	授業料	931,700	914,900	-16,800
	その他の 学校納付金	129,900	122,000	-7,900
	修学費	46,200	46,800	600
	課外活動費	36,500	20,300	-16,200
	通学費	64,500	44,700	-19,800
	小計(学費)	1,208,800	1,148,700	-60,100
	食費	178,700	160,000	-18,700
	住居・光熱費	188,500	190,900	2,400
	保健衛生費	38,700	41,200	2,500
	娯楽・嗜好費	151,500	130,300	-21,200
	その他の日常費	147,300	141,900	-5,400
	小計(生活費)	704,700	664,300	-40,400
	計	1,913,500	1,813,000	-100,500

表2. 奨学金の種類別にみた奨学金収入額の2018年度と2020年度の平均値の比較

(単位=円)

	2018年度	2020年度	2020年度－2018年度
日本学生支援機構の貸与奨学金	359,950	326,411	-33,539
日本学生支援機構の給付奨学金	10,817	64,204	53,386
日本学生支援機構以外の貸与奨学金	28,696	24,290	-4,406
日本学生支援機構以外の給付奨学金	32,031	32,051	19
奨学金受給総額	431,495	446,956	15,461

表注) 奨学金収入の平均値については、ウエイト付けされていない個票データから算出した。これに対し、公表された集計では、ウエイト付けしたデータが用いられている。それゆえ、公表された集計をもとにしている表1の奨学金収入と、表2の奨学金収入総額の金額とは、一致しない。

これは、コロナ禍の影響によって、学生の保護者も家計が苦しくなったために、家庭からの給付を減額せざるをえなくなったことが、原因であるわけではない。そのことは、表1の下段に示した、学生生活費支出についての2018年度と2020年度との比較をみれば明らかである。

学生生活費支出のなかで、2018年度に比べて2020年度に増加している項目は、「修学費」、「住居・光熱費」、「保健衛生費」の3つにすぎない。しかも、その増加の程度はごくわずかである。

コロナ禍の影響で、大学の授業ではオンラインが主流となった。なかには大学の授業はすべてオンラインで履修することになったという学生も、少なからず存在する。そのため、「通学費」は大幅に減少した。また、感染を避けるため大学授業終了後は、寄り道することなく、直ちに帰宅することが奨励された。のみならず、大学からの要請を超えて、きわめて多くの学生は自主的に課外活動などを自粛した。このため、学生はサークル活動を行うことが、ほとんどなくなった。同様に、交友を深めるために、帰宅途中に友人とどこかに立ち寄ることも、激減した。また、外出自粛の一環として、自宅生のみならず自宅外生も、外食を避ける学生が増加した。このため、「娯楽嗜好費」、「課外活動費」、「食費」も大幅に減少した。

それらの費用のみならず、2018年度と比較して2020年度には、「授業料」、「その他の学校納付金」も減少している。授業料についていえば、その減少は授業料減免の拡大によるものであることは、図3から明らかである。「高等教育無償化」制度では、日本学生支援機構の給付奨学金、授業料減免、入学金減免をセットにする形での経済的支援策が実施された。「授業料」の減少は、「高等教育無償化」政策の効果によるものだといえる。さらに、文部科学省が令和2(2020)年度補正予算により大学に対して財政的支援を行う形で、各大学独自の取り組みとして、新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し、授業料等の支払いが困難となった学生等に対する、授業料等減免が行われた効果も無視できない。

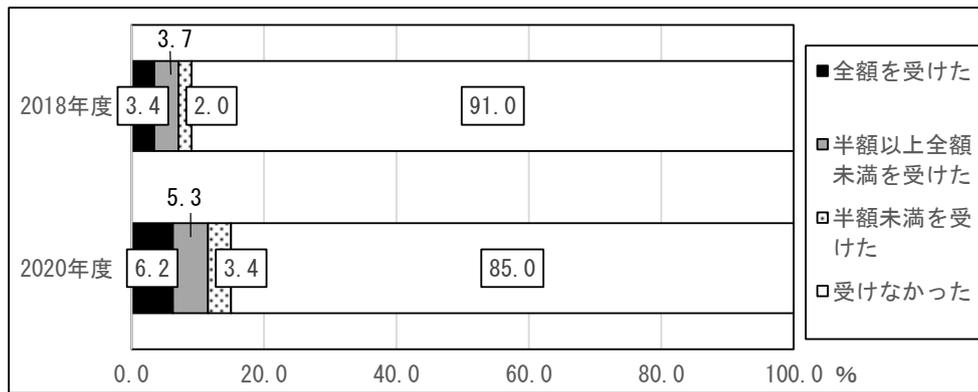


図3. 授業料減免を受けた学生の比率

図注) 2018年度・2020年度とも個票データより算出。

また、「その他の学校納付金」の減少は主に、コロナ禍での影響で、実習が取りやめになったことによる、実験実習費の削減のためと推測される。

こうしてみると、学生生活費収入総額が減少したから、学生生活費支出を抑えたというより、学生生活費支出がコロナ禍の影響で縮小したから、その縮小分だけ、家庭からの給付を減額した、というのが実状であったとみなせる。

以上でみてきたように、2018年度から2020年度にかけては、コロナ禍による自粛の影響を受け、学生生活費支出は大々的に減少した。さらに、これまでの分析結果をもとにすれば、低所得層の家庭では、「高等教育無償化」制度などの恩恵を受け、授業料を中心とする学費を含めて、学生生活費支出はより大きく減少した可能性が高い。その結果、家庭からの給付が縮小したにもかかわらず、経済的事情によるアルバイトの必要度はむしろ低下した。

図4では、家庭からの給付の十分さとの関係でみた場合に、どのような経済状況にある学生のなかで、アルバイトが増加したのかをみたものである。この図は、全学生を母数とした比率で表示している。よって、各年度の棒グラフの最上端は、学生全体のなかでのアルバイト従事率を示している。

「家庭からの給付なし」であるがためにアルバイトをしている学生の比率は、2018年度から2020年度にかけて幾分増加している。しかし、「家庭からの給付のみでは修学継続困難」であるがためにアルバイトをしている学生の比率、および「家庭からの給付のみでは修学不自由」なためにアルバイトをしている学生の比率は、2018年度から2020年度にかけて減少している。「家庭からの給付なし」+「家庭からの給付のみでは修学継続困難」+「家庭からの給付のみでは修学不自由」なためのアルバイトを、「経済的事情によるアルバイト」とみなせば、そのようなアルバイト学生の比率は、コロナ禍の影響によって悪化、つまり増加するどころか、むしろ減少さえしているのである。

第1の要因として、低所得層の家庭では、「高等教育無償化」制度などの恩恵を受け、授業料を中心とする学費を含めて、学生生活費支出はより大きく減少した可能性が高い。のみならず、給付奨学金の受給によって、家計の負担は大きく低減した。その効果で、「経済的事情によるアルバイト」が減少したものと推測される。

第2の要因として、コロナ禍の影響で、どの家庭でも学生生活費支出は大きく縮小した。これも、「経済的事情によるアルバイト」を減少させたと推測される。

一方、「家庭からの給付のみで修学可能」なアルバイト学生の比率も、減少している。しかし、「経済的事情によるアルバイト」に増加がみられないことから、コロナ禍前までは、「家庭からの給付のみで修学可能」なアルバイト学生であった人が、コロナ禍の影響で「経済的事情によるアルバイト」を行わなければならないような境涯に陥ることは、ほとんどなかったとみなせる。

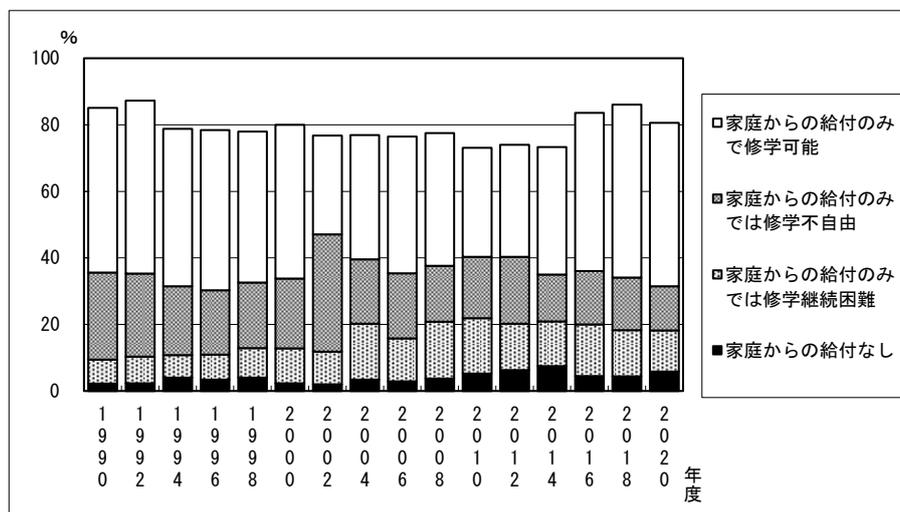


図4. アルバイトの必要度

景気が悪化すれば、①「経済的事情によるアルバイト」は増加する。のみならず、②雇用の縮小により、アルバイト従事率も低下する。その結果として、③「家庭からの給付のみで修学可能」なアルバイトは減少する。一方、景気が好転すれば、その逆の現象が進行する。

2020年度については、②と③の現象はみられるものの、①の現象は認められない。こうしてみると、コロナ禍が主にマイナスの影響を与えたのは、経済的には必ずしもアルバイトを行う必要のない学生（「家庭からの給付のみで修学可能」なアルバイト学生）であり、経済的事情によってアルバイトを行っている学生、とくに「家庭からの給付のみでは修学継続困難」、もしくは「家庭からの給付のみでは修学不自由」ためにアルバイトをしている学生には、低所得層の家庭に対する「高等教育無償化」制度などの恩恵効果が存在したことから、その影響が緩和されたことが示唆される。

ただし、「経済的事情によるアルバイト」は、2018年度から2020年度にかけて減少しているとはいえ、いまだ全学生の31.5%を占めている。「家庭からの給付なし+家庭からの給付のみでは修学継続困難」な学生に限っても、全学生の18.2%を占めている。それら学生にとって、コロナ禍の影響によるアルバイト収入の減少は、深刻な問題を引き起こしている可能性は少なくない。その点が忘れられてはならないのである。なお、この問題については、他の調査等も参照しながら、さらなる分析により実態を把握することが期待される。

(数値の一部には分析者による集計値が含まれる。)

¹ ただし、①アルバイト職種構成については、2018年度と2020年度のあいだで、飲食業の比率がきわだって減少するなどの、大きな変化はみられなかった。それは、大学所在地を、関東圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）、関西圏（大阪府・京都府・兵庫県）、その他の道県、の3つに区分して地域別にみても、同様であった。

②また、職種別に集計した場合の、「授業期間中の典型的な1週間（7日間）の生活時間」（2018年度に関しては、調査時点である11月の「最近1週間（7日間）の生活時間」）について、2020年度と2018年度を比較した場合、全ての職種でアルバイト時間は減少していた。しかし、飲食業におけるアルバイト時間の減少は、全職種平均における減少とほぼ同じであった。つまり、とくに飲食業で、アルバイト時間が減少している傾向は観察されなかった。

なぜ、飲食業の構成比率やアルバイト時間に、コロナ禍の影響が現れないのかについては、今回の調査からは確かめることはできなかった。

² 詳しくは、以下の文献参照。

岩田弘三「アルバイト状況」、日本学生支援機構『平成30年度 学生生活調査結果』2020年、P.32。

³ 本文中の数字の差と数値が一致しないのは、小数点1位のまるめ誤差の影響である。

⁴ アルバイト時間は、1＝「0時間」、2＝「1-5時間」、3＝「6-10時間」、4＝「11-15時間」、5＝「16-20時間」、6＝「21-25時間」、7＝「26-30時間」、8＝「31時間以上」の8つの選択肢を用いた質問になっている。そこで、2～7の選択者については、その範囲の中間値、8については33時間の数値を与えて、平均を算出。

⁵ 後に示す、表1の数字と一致しないのは、2020年度の消費者物価指数をもとに、最近の円価格に換算した数字だからである。

「大学生の不安や悩み」について

望月 由起（日本大学）

本稿では「大学生（昼間部）」を分析対象とし、大学生の不安や悩みの傾向を概観する。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大の中で大学生活をスタートした大学1年生（令和2年度入学生）に着目して、その不安や悩みの特質を明らかにしていく。

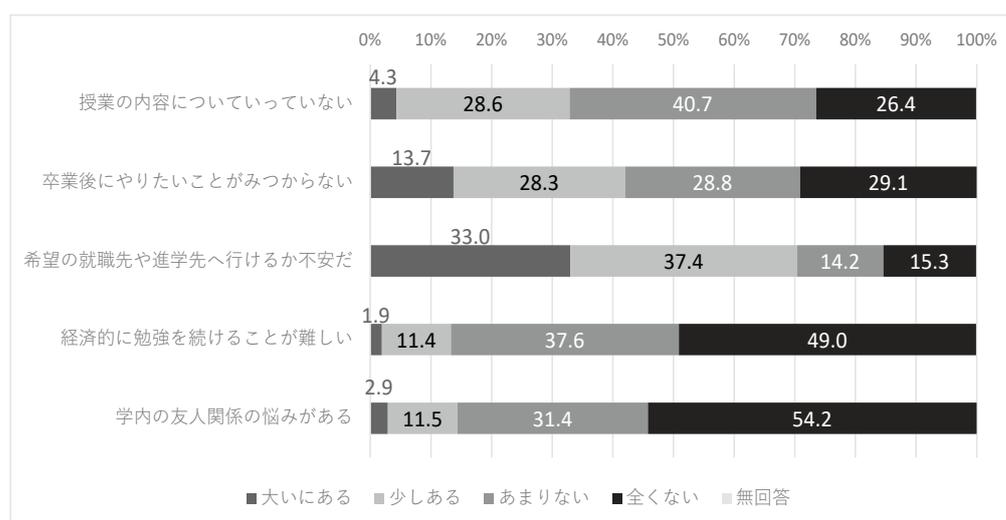
1. 大学生全体の不安や悩みの傾向

（1）令和2年度調査からみた「現状」

まずは令和2年度調査（以降、「本調査」とする）に基づき、大学生全体の不安や悩みの現状について概観していく。

図1は、大学生の不安や悩みとして設定した5項目について、それぞれ「大いにある」「少しある」「あまりない」「全くない」の4件法で尋ねた集計結果を図示したものである。

図1. 大学生の不安や悩みの現状



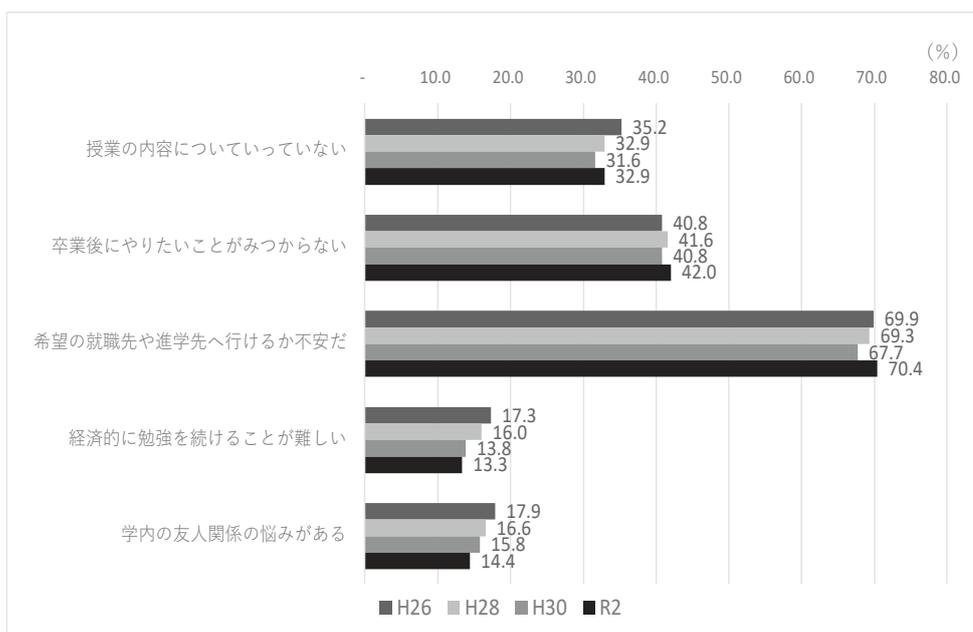
「大いにある」と「少しある」の回答率の合算（以降、「該当率」とする）に目を向けると、現状よりも卒業後に関して不安や悩みを抱える大学生が多いことがわかる。「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」の該当率は70.4%と最も高く、それに次ぐ「卒業後にやりたいことがみつからない」の該当率も42.0%に達している。

（2）令和2年度・平成30年度・平成28年度・平成26年度調査からみた「変容」

では、大学生の不安や悩みはどのように変容しているのだろうか。大学生の不安や悩みに関して、本調査と同様の5項目を設定した平成26年度調査以降の結果との比較を通して、その変容をみていく。

図2は、令和2年度・平成30年度・平成28年度・平成26年度調査の集計結果に基づき、各項目の該当率を図示したものである。

図 2. 大学生の不安や悩みの変容



いずれの調査においても、その該当率は、「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」が7割程度でもっとも高く、次いで「卒業後にやりたいことがみつからない」が4割程度、「授業の内容についていけない」が3割程度であり、この間での大きな変容はみられない。

その一方で「経済的に勉強を続けることが難しい」「学内の友人関係の悩みがある」の該当率は、いずれの調査においても1~2割であるが、徐々に低くなっていることがわかる。

2. 大学生の「性別」「学年別」にみた不安や悩みの傾向

本節では、大学生の不安や悩みの傾向をより具体的に捉えるために、本調査の結果を「性別」「学年別」に分析した結果を示していく。

(1) 性別による傾向

表1は、大学生の不安や悩みとして設定した5項目の回答率について、男性・女性別に示したものである¹。

先に「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」「卒業後にやりたいことがみつからない」の該当率が高いことを示したが（図1参照）、前者は女性の方が高く（4.2ポイント差）、後者は男性の方が高い（3.8ポイント差）ことがわかる。特に前者について、女性の「大いにある」の回答率が5.8ポイントも男性より高いという結果は、特筆すべきであろう。こうした傾向は、前回の平成30年度調査（以降、「前回調査」とする）でも同様に示されている。

表 1. 性別にみた大学生の不安や悩み

(単位：%)

		大いにある	少しある	あまりない	全くない
授業の内容についていけない	男性 (N=8, 588)	4.3	27.3	39.7	28.7
	女性 (N=9, 374)	4.0	29.3	41.4	25.4
卒業後にやりたいことがみつからない	男性 (N=8, 588)	14.2	29.6	28.4	27.9
	女性 (N=9, 376)	12.8	27.2	29.8	30.1
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	男性 (N=8, 586)	29.2	38.4	15.8	16.6
	女性 (N=9, 373)	35.0	36.8	13.2	15.0
経済的に勉強を続けることが難しい	男性 (N=8, 581)	2.0	12.1	37.3	48.6
	女性 (N=9, 377)	1.5	9.6	36.8	52.1
学内の友人関係の悩みがある	男性 (N=8, 586)	3.1	10.3	31.2	55.3
	女性 (N=9, 379)	2.5	12.7	32.9	51.9

(2) 学年別による傾向

表 2 は、先と同様の 5 項目の回答率について、大学 1 年生から 4 年生の学年別に示したものであるⁱⁱ。

先に「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」の該当率が最も高いことを示したが（図 1 参照）、すでに就職先や進学先が決定した学生が多くいる 4 年生とその他の学年で 40 ポイント以上の差が示されている。該当率が最も高いのは 3 年生であり、85.3%にも及んでいる。「大いにある」の回答率に目を向けると、1 年生 30.6%、2 年生 37.7%、3 年生 47.2%と学年が上がるほど顕著に高く、その不安や悩みの程度の大きさも明らかである。

その一方で、先の分析では次いで該当率が高い結果となった「卒業後にやりたいことがみつからない」は、2 年生が 49.4%と最も高い。3 年生になると就職に関するガイダンスが本格的に始まったり、インターンシップを経験したり、専門科目の履修も増えると思われるが、こうした経験が少ない 2 年生では、卒業後に対する漠然とした不安や悩みを抱える学生も多くみられるのではなかろうか。

これらの卒業後に関する不安や悩みに加え、「授業の内容についていけない」でも、学年による該当率の差が大きく示されている。最も該当率が高いのは 1 年生の 46.1%であり、およそ半数の学生が該当する結果となった。高等学校での授業内容より難易度が高くなるだけでなく、高等学校までの授業とはスタイルの異なる授業が大学では多いこともその要因として考えられる。

同様の傾向は前回調査でもみられたが、1 年生の「学内の友人関係の悩みがある」の該当率が他の学年より明らかに高く、およそ 1/4 もの学生が該当している点は、本調査の結果として特筆すべきであろう。学年別の該当率の最大と最小の差が 20 ポイント以上は開いていないものの、次いで該当率が高い 2 年生と 9.3 ポイントもの差が示されている。また「全くない」の回答率が 2 年生より 11.7 ポイント低く、4 割程度にとどまっている点も看過できない。先に「学内の友人関係の悩みがある」の該当率は、平成 26 年度調査以降、徐々に低くなっていることを示したが（図 2 参照）、新型コロナウイルスの感染拡大の中で大学生活をスタートした 1 年生は、対面で学内の友人を作る機会に乏しかったことが大いに予想され、友人関係の間で生じている不安や悩みというよりも、「そもそも学内に友人がいない」といった不安や悩みを抱える学生が多いのではなかろうか。

表 2. 学年別にみた大学生の不安や悩み

(単位：%)

		大いにある	少しある	あまりない	全くない
授業の内容についていっていない	1年生 (N=4,754)	5.8	40.3	40.1	13.8
	2年生 (N=4,409)	5.5	35.1	42.8	16.6
	3年生 (N=4,310)	3.8	24.7	46.0	25.5
	4年生 (N=4,176)	1.5	12.2	33.7	52.7
卒業後にやりたいことがみつからない	1年生 (N=4,753)	14.4	31.8	30.5	23.3
	2年生 (N=4,411)	16.9	32.5	29.0	21.6
	3年生 (N=4,309)	15.9	31.4	29.2	23.5
	4年生 (N=4,178)	7.2	17.9	27.8	47.1
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	1年生 (N=4,753)	30.6	46.3	16.3	6.8
	2年生 (N=4,406)	37.7	43.8	12.3	6.2
	3年生 (N=4,310)	47.2	38.1	9.5	5.2
	4年生 (N=4,177)	14.5	21.4	19.1	45.0
経済的に勉強を続けることが難しい	1年生 (N=4,753)	1.3	9.8	41.6	47.2
	2年生 (N=4,410)	1.7	11.4	40.7	46.2
	3年生 (N=4,306)	2.3	12.4	37.7	47.7
	4年生 (N=4,176)	1.8	9.9	28.0	60.2
学内の友人関係の悩みがある	1年生 (N=4,754)	5.3	17.7	36.4	40.6
	2年生 (N=4,411)	2.3	11.4	33.9	52.3
	3年生 (N=4,310)	2.2	9.4	32.7	55.7
	4年生 (N=4,177)	1.3	7.2	25.1	66.5

※網掛けは、学年別の該当率の最大と最小の差が 20.0 ポイント以上

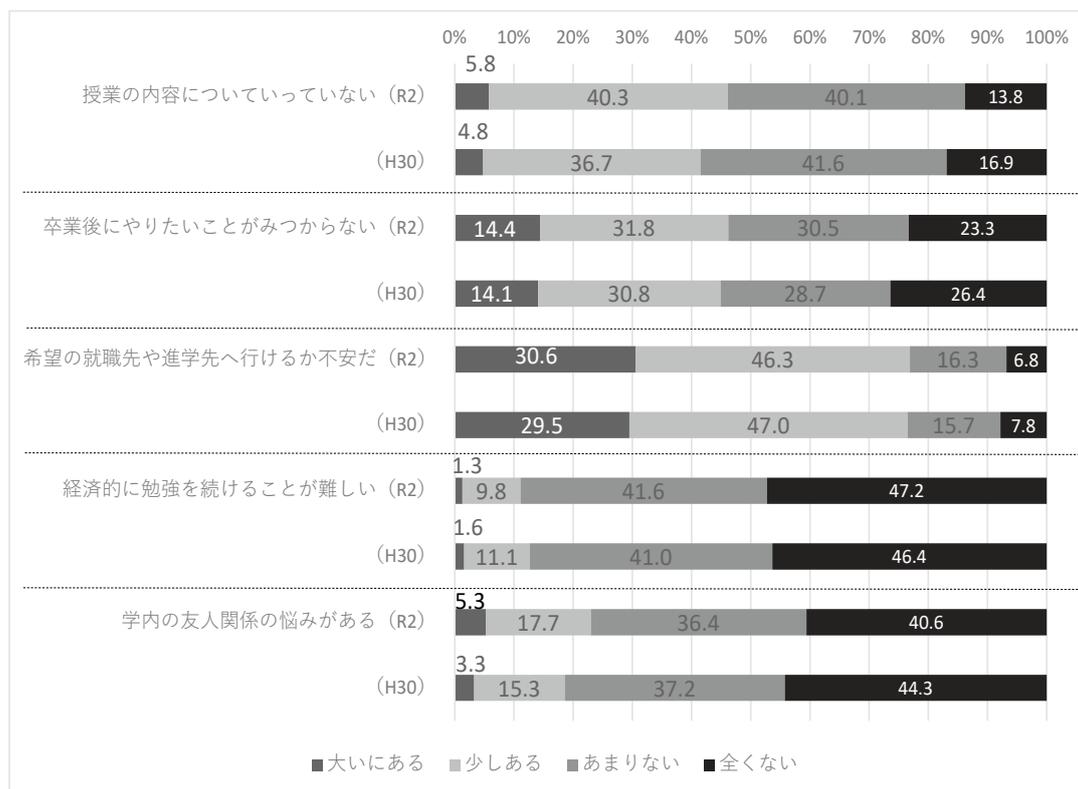
3. 大学1年生（令和2年度入学生）の不安や悩み

最後に、新型コロナウイルスの感染拡大の中で大学生活がスタートした大学1年生（令和2年度入学生）の不安や悩みの特質について、前回調査の1年生（平成30年度入学生）の結果との比較をとおしてみたい。本調査の1年生（令和2年度入学生）の特徴的な不安や悩みに関しては、「性別」「学科系統別」の傾向についても具体的に示すこととする。

（1）前回調査の大学1年生（平成30年度入学生）との比較

図3は、本調査および前回調査において、大学生の不安や悩みとして設定した5項目について、1年生に「大いにある」「少しある」「あまりない」「全くない」の4件法で尋ねた結果を図示したものであるⁱⁱⁱ。

図 3. 大学 1 年生の不安や悩みの比較



両者の該当率に大きな差がみられなかったのは、「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」(0.4ポイント増)、「卒業後にやりたいことがみつからない」(1.3ポイント増)、「経済的に勉強を続けることが難しい」(1.6ポイント減)である。

その一方で、「授業の内容についていけない」(4.6ポイント増)、「学内の友人関係の悩みがある」(4.4ポイント増)の該当率は、本調査の1年生(令和2年度入学生)の方がいずれも4ポイント以上高い結果となった。後者に関しては、先に本調査の1年生の「学内の友人関係の悩みがある」の該当率が他の学年より明らかに高いことを示したが(表2参照)、前回調査の1年生(平成30年度入学生)と比べても該当率が高いことがわかる。また前者の背景には、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、高校までとは異なるスタイルの授業がこれまで以上に大学で増えた上に、授業内容について共有したり、質問や相談を気軽にできるような学内の友人を作ることが難しい状況であったことが考えられる。

(2) 特徴的な不安や悩みに関する「性別」「学科系統別」の傾向

続いて、先の分析の結果に基づき(図3参照)、本調査の1年生(令和2年度入学生)の特徴的な不安や悩みである「授業の内容についていけない」「学内の友人関係の悩みがある」について、「性別」「学科系統別」に具体的にみていく。

1) 性別による傾向

表3は、「授業の内容についていけない」「学内の友人関係の悩みがある」の本調査の1年生の回答率について、男性・女性別に示したものである^{iv}。

表 3. 性別にみた大学 1 年生の不安や悩み

(単位：%)

		大いにある	少しある	あまりない	全くない
授業の内容についていけない	男性 (N=2, 227)	5.6	38.4	40.2	15.8
	女性 (N=2, 513)	6.0	41.9	40.2	12.0
学内の友人関係の悩みがある	男性 (N=2, 226)	6.6	16.5	35.0	41.9
	女性 (N=2, 514)	4.2	18.8	37.5	39.5

「授業の内容についていけない」の該当率は、女性の方が高い（3.9ポイント差）。本調査では実際の単位取得状況や成績については分からないが、女性の方が不安や悩みを抱える割合が高いといえるだろう。

その一方で、「学内の友人関係の悩みがある」は、性別による該当率の差がほぼ示されなかった（男性 23.1%、女性 23.0%）。しかし「大いにある」の回答率は、男性の方が 2.4ポイント高く、不安や悩みの大きな学生の割合は高いことが示されている。

2) 学科系統別による傾向

表 4 は、「授業の内容についていけない」の本調査の 1 年生の回答率について、「文・外国語・国際・文化系」「法・政・経・商・社系」「理・工系」「農系」「薬系」「医・歯系」「看護・保健系」「教育・教員養成系」「福祉系」「家政・生活系」「芸術系」「スポーツ系」の学科系統別に示したものである。

該当率が 50% を超えている学科系統が 4 つも示された点は、特筆すべき結果であろう。最も高いのは「薬系」の 59.2% であり、次いで「家政・生活系」56.1%、「看護・保健系」55.7% と女子の割合が高いと思われる学科系統が続いている。しかしこれらの学科系統に、男子の割合が高いことが予想される「理・工系」が 52.0% と続くことから、性別による問題とは必ずしも言い切れない。「理・工系」では「大いにある」の回答率も 7.9% に及んでおり、漠然とした不安や悩みを抱えているだけでなく、実際の単位取得状況や成績に対する影響も懸念される。

表 4. 学科系統別にみた大学 1 年生の「授業の内容についていけない」ことの不安や悩み

(単位：%)

	大いにある	少しある	あまりない	全くない
文・外国語・国際・文化系 (N=742)	4.7	35.3	45.1	14.8
法・政・経・商・社系 (N=1, 049)	5.3	39.4	39.8	15.4
理・工系 (N=919)	7.9	44.1	36.0	12.0
農系 (N=163)	6.7	38.7	41.7	12.9
薬系 (N=93)	6.5	52.7	35.5	5.4
医・歯系 (N=121)	6.6	38.0	40.5	14.9
看護・保健系 (N=506)	6.7	49.0	35.8	8.5
教育・教員養成系 (N=349)	3.4	31.8	45.6	19.2
福祉系 (N=122)	4.1	38.5	49.2	8.2
家政・生活系 (N=164)	9.8	46.3	37.2	6.7
芸術系 (N=177)	4.5	39.0	40.1	16.4
スポーツ系 (N=130)	2.3	32.3	43.1	22.3

※網掛けは、該当率が 50% を超えている学科系統

続いて表5は、「学内の友人関係の悩みがある」の本調査の1年生の回答率について、先の分析と同様に学科系統別に示したものである^{vi}。

表5. 学科系統別にみた大学1年生の「学内の友人関係の悩みがある」ことの不安や悩み

(単位：%)

	大いにある	少しある	あまりない	全くない
文・外国語・国際・文化系(N=743)	5.4	17.8	35.4	41.5
法・政・経・商・社系(N=1,049)	6.2	18.8	35.5	39.6
理・工系(N=919)	6.4	18.4	36.3	38.8
農系(N=163)	6.1	13.5	38.7	41.7
薬系(N=93)	6.5	15.1	44.1	34.4
医・歯系(N=121)	3.3	23.1	29.8	43.8
看護・保健系(N=506)	2.4	19.0	36.6	42.1
教育・教員養成系(N=349)	3.4	16.6	40.7	39.3
福祉系(N=122)	5.7	16.4	37.7	40.2
家政・生活系(N=164)	4.3	16.5	40.9	38.4
芸術系(N=177)	7.3	16.9	40.7	35.0
スポーツ系(N=130)	3.1	10.0	29.2	57.7

※網掛けは、該当率が20%を超えている学科系統

該当率が最も高いのは「医・歯系」の26.4%であるが、それに続く「法・政・経・商・社系」が25.0%、「理・工系」が24.8%など、多くの学科系統が20%を超える該当率であることが示されている。「農系」の該当率も19.6%であることから、「学内の友人関係の悩みがある」は、学科系統を問わず、広く本調査の1年生（令和2年度入学生）にみられる傾向といえるだろう。

唯一、「スポーツ系」の該当率は13.1%にとどまり、逆に「全くない」の回答率が57.7%に及ぶなど、他の学科系統の状況とは異なる傾向がみられた。「スポーツ系」にはスポーツ推薦等により入学した学生も多いことが予想され、新型コロナウイルスの感染拡大による制限がかかる中でも、同じ部活動への入部や、同じ学生寮への入寮によって、友人を作ることができた学生が他の学科系統より多かったのではなかろうか。

<参考資料>

- ・日本学生支援機構（2016）平成26年度学生生活調査報告
https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/__icsFiles/afieldfile/2021/03/10/houkoku14.pdf（最終閲覧日2021年12月4日）
- ・日本学生支援機構（2018）平成28年度学生生活調査報告
https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/__icsFiles/afieldfile/2021/03/17/houkoku16_all_1.pdf（最終閲覧日2021年12月4日）
- ・日本学生支援機構（2020）平成30年度学生生活調査報告
https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/__icsFiles/afieldfile/2021/03/09/houkoku18_all.pdf（最終閲覧2021年12月4日）

-
- i 「無回答」は、分析対象外とした。
 - ii 「無回答」は、分析対象外とした。また、「大学5年生」「大学6年生」は他の学年より対象者が明らかに少ないため、分析対象外とした。
 - iii 「無回答」は、分析対象外とした。
 - iv 「無回答」は、分析対象外とした。
 - v 「無回答」は、分析対象外とした。また、学科系統の回答「その他」も、分析対象外とした。
 - vi 「無回答」は、分析対象外とした。

IV. 集計表

1-1表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学昼間部）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	589,000	518,400	1,020,400	955,200	659,800	767,600	1,414,100	1,279,300	1,164,800	981,300	1,637,100	1,444,200	927,900	772,000	1,219,100	1,144,700
	奨学金	181,400	252,500	356,800	334,300	444,700	470,400	483,100	476,700	317,400	436,600	464,900	419,500	276,700	357,300	395,800	373,200
	アルバイト	354,000	360,500	415,900	407,200	258,300	220,200	164,400	180,500	320,800	367,000	334,600	333,300	328,800	359,300	375,400	366,500
	定職収入・その他	29,600	28,600	36,100	35,000	77,400	32,200	46,000	50,500	50,000	40,500	60,400	55,700	44,400	35,100	43,500	43,200
	計	1,154,000	1,160,000	1,829,200	1,731,700	1,440,200	1,490,400	2,107,600	1,987,000	1,853,000	1,825,400	2,497,000	2,252,700	1,577,800	1,523,700	2,033,800	1,927,600
支 出	授業料	490,000	489,400	1,033,200	954,700	368,900	458,100	992,900	881,400	487,700	486,500	1,073,500	853,100	481,200	486,800	1,041,500	914,900
	その他の 学校納付金	10,300	19,000	151,300	131,300	13,800	48,300	148,500	124,900	8,900	17,500	162,500	105,400	9,700	19,200	154,200	122,000
	修学費	50,100	54,400	45,900	46,700	55,200	48,600	51,100	51,700	47,000	46,500	45,700	46,100	48,600	50,000	46,200	46,800
	課外活動費	20,700	11,000	16,200	16,500	31,300	13,500	39,600	37,600	26,900	13,100	23,300	23,500	25,000	12,200	19,800	20,300
	通学費	61,800	69,000	66,200	65,800	8,400	8,100	13,900	12,900	8,500	12,100	17,700	14,500	27,500	36,800	49,000	44,700
	小計（学費）	632,900	642,800	1,312,800	1,215,000	477,600	576,600	1,246,000	1,108,500	579,000	575,700	1,322,700	1,042,600	592,000	605,000	1,310,700	1,148,700
	食費	80,300	72,600	86,700	85,500	264,000	190,900	230,100	234,400	288,400	265,600	267,400	273,400	212,600	178,800	146,900	160,000
	住居・光熱費	227,000	277,400	315,800	300,900	530,400	493,000	483,000	497,700	322,200	270,600	156,200	190,900
	保健衛生費	36,600	41,300	41,400	40,900	36,100	30,300	38,100	37,600	40,200	43,900	43,100	42,300	38,600	42,300	41,700	41,200
	娯楽・嗜好費	113,500	111,300	131,100	128,500	116,300	99,500	116,500	116,100	136,900	137,400	135,700	136,200	127,300	124,800	131,300	130,300
その他の日常費	123,800	125,000	132,800	131,600	153,900	146,600	144,100	145,700	146,900	173,400	162,400	158,800	139,100	151,400	141,800	141,900	
小計（生活費）	354,200	350,200	392,000	386,500	797,300	744,700	844,600	834,700	1,142,800	1,113,300	1,091,600	1,108,400	839,800	767,900	617,900	664,300	
計	987,100	993,000	1,704,800	1,601,500	1,274,900	1,321,300	2,090,600	1,943,200	1,721,800	1,689,000	2,414,300	2,151,000	1,431,800	1,372,900	1,928,600	1,813,000	

（参考）n=16,446

1-2表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学夜間部）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	189,700	273,800	521,100	425,000	484,100	-	860,000	803,900	525,100	575,800	822,700	687,000	346,200	431,400	636,900	541,800
	奨学金	195,100	279,700	300,500	271,900	483,600	-	564,500	552,500	381,200	492,300	476,700	439,500	287,500	390,600	375,600	349,900
	アルバイト	442,800	424,300	458,200	453,000	369,700	-	64,800	110,400	419,500	497,600	450,700	441,300	429,600	462,600	411,900	419,300
	定職収入・その他	512,000	366,000	257,200	328,500	69,300	-	103,700	98,600	260,500	36,000	375,100	306,600	384,800	193,800	270,200	301,300
	計	1,339,600	1,343,800	1,537,000	1,478,400	1,406,700	-	1,593,000	1,565,400	1,586,300	1,601,700	2,125,200	1,874,400	1,448,100	1,478,400	1,694,600	1,612,300
支 出	授業料	226,700	301,900	632,600	514,000	206,800	-	533,200	484,400	226,200	327,900	558,400	410,000	225,600	315,400	602,300	478,200
	その他の 学校納付金	8,000	10,600	57,900	43,100	11,300	-	14,200	13,700	10,000	300	65,800	39,100	9,000	5,200	55,000	39,200
	修学費	50,600	76,500	41,400	45,000	43,500	-	36,300	37,400	34,300	41,800	39,200	37,400	43,300	58,400	40,300	41,900
	課外活動費	8,600	4,200	13,600	12,000	4,900	-	94,500	81,100	7,700	5,300	41,000	25,300	8,100	4,800	29,800	22,300
	通学費	67,000	84,600	49,500	55,300	4,300	-	8,600	8,000	14,300	17,400	21,800	18,500	41,700	49,600	37,700	39,400
	小計（学費）	360,900	477,800	795,000	669,400	270,800	-	686,800	624,600	292,500	392,700	726,200	530,300	327,700	433,400	765,100	621,000
	食費	115,100	73,100	107,500	108,400	253,000	-	268,700	266,300	271,500	285,800	280,200	277,100	188,100	184,100	170,100	176,100
	住居・光熱費	288,600	-	324,500	319,200	479,800	425,700	574,400	526,600	218,200	222,100	184,400	196,000
	保健衛生費	52,600	34,200	40,800	43,700	28,000	-	39,100	37,500	43,100	28,600	37,200	39,000	47,400	31,300	39,700	41,600
	娯楽・嗜好費	154,900	124,800	119,600	129,100	168,100	-	120,700	127,800	164,700	127,900	126,900	142,100	159,600	126,400	121,600	133,100
その他の日常費	306,100	241,600	165,100	205,000	206,000	-	142,500	152,000	195,500	141,200	231,500	211,000	254,300	189,200	179,600	202,300	
小計（生活費）	628,700	473,700	433,000	486,200	943,700	-	895,500	902,800	1,154,600	1,009,200	1,250,200	1,195,800	867,600	753,100	695,400	749,100	
計	989,600	951,500	1,228,000	1,155,600	1,214,500	-	1,582,300	1,527,400	1,447,100	1,401,900	1,976,400	1,726,100	1,195,300	1,186,500	1,460,500	1,370,100	

（参考）n=1,070

1-3表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（短期大学昼間部）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	...	427,000	772,300	760,800	...	538,200	1,107,200	1,067,600	...	726,100	1,213,400	1,154,500	...	560,600	861,300	846,000
	奨学金	...	234,000	407,500	401,700	...	464,600	541,300	536,000	...	492,000	559,800	551,600	...	358,700	439,100	435,000
	アルバイト	...	263,100	327,800	325,700	...	176,700	139,100	141,700	...	199,100	239,200	234,300	...	230,200	303,800	300,100
	定職収入・その他	...	34,500	70,900	69,700	...	36,400	105,000	100,200	...	56,500	90,900	86,700	...	43,900	75,800	74,200
	計	...	958,600	1,578,500	1,557,900	...	1,215,900	1,892,600	1,845,500	...	1,473,700	2,103,300	2,027,100	...	1,193,400	1,680,000	1,655,300
支 出	授業料	...	361,300	789,100	774,800	...	326,200	733,500	705,200	...	351,100	770,200	719,500	...	354,500	783,200	761,400
	その他の 学校納付金	...	37,200	185,100	180,200	...	47,200	201,800	191,000	...	42,400	169,000	153,700	...	40,100	183,300	176,000
	修学費	...	43,600	52,800	52,500	...	36,000	65,200	63,200	...	44,000	59,400	57,600	...	43,200	54,500	53,900
	課外活動費	...	3,100	4,100	4,100	...	6,600	3,500	3,700	...	2,500	6,400	5,900	...	3,100	4,400	4,400
	通学費	...	77,700	80,400	80,300	...	6,500	12,400	11,900	...	8,000	20,800	19,300	...	43,400	67,200	66,000
	小計（学費）	...	522,900	1,111,500	1,091,900	...	422,500	1,016,400	975,000	...	448,000	1,025,800	956,000	...	484,300	1,092,600	1,061,700
	食費	...	54,900	68,600	68,200	...	210,800	198,600	199,400	...	214,400	224,100	222,900	...	132,900	100,600	102,200
	住居・光熱費	179,800	327,900	317,700	...	440,000	446,400	445,600	...	197,700	89,400	94,900
	保健衛生費	...	40,100	41,800	41,700	...	27,600	38,500	37,700	...	36,400	46,600	45,400	...	37,700	42,400	42,200
	娯楽・嗜好費	...	101,700	107,700	107,500	...	106,300	106,500	106,500	...	102,200	121,200	118,900	...	102,200	109,900	109,500
その他の日常費	...	128,300	142,800	142,300	...	146,200	155,200	154,500	...	141,100	158,200	156,200	...	134,900	146,000	145,400	
小計（生活費）	...	325,000	360,900	359,700	...	670,700	826,700	815,800	...	934,100	996,500	989,000	...	605,400	488,300	494,200	
計	...	847,900	1,472,400	1,451,600	...	1,093,200	1,843,100	1,790,800	...	1,382,100	2,022,300	1,945,000	...	1,089,700	1,580,900	1,555,900	

（参考）n=4, 137

1-4表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（短期大学夜間部）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	…	137,600	422,000	364,500	…	-	851,400	851,400	…	412,400	854,200	708,100	…	255,400	549,000	479,000
	奨学金	…	170,800	267,400	247,900	…	-	162,800	162,800	…	512,600	477,600	489,200	…	317,200	322,200	321,000
	アルバイト	…	474,600	473,600	473,800	…	-	8,600	8,600	…	346,600	387,200	373,800	…	419,700	439,800	435,000
	定職収入・その他	…	160,300	51,400	73,400	…	-	-	-	…	135,100	165,900	155,700	…	149,500	81,300	97,600
	計	…	943,300	1,214,400	1,159,600	…	-	1,022,800	1,022,800	…	1,406,700	1,884,900	1,726,800	…	1,141,800	1,392,300	1,332,600
支 出	授業料	…	161,700	543,400	466,200	…	-	510,300	510,300	…	115,100	523,700	388,600	…	141,800	537,300	443,000
	その他の 学校納付金	…	15,400	76,000	63,800	…	-	72,700	72,700	…	27,300	82,600	64,300	…	20,500	77,700	64,100
	修学費	…	33,700	34,900	34,700	…	-	53,600	53,600	…	36,900	31,600	33,400	…	35,100	34,500	34,600
	課外活動費	…	3,400	5,900	5,400	…	-	20,400	20,400	…	1,200	8,100	5,900	…	2,500	6,800	5,800
	通学費	…	68,300	46,100	50,500	…	-	21,700	21,700	…	5,800	7,700	7,100	…	41,500	35,100	36,600
	小計（学費）	…	282,500	706,300	620,600	…	-	678,700	678,700	…	186,300	653,700	499,300	…	241,400	691,400	584,100
	食費	…	81,700	68,500	71,100	…	-	243,100	243,100	…	251,000	245,000	247,000	…	154,300	120,300	128,400
	住居・光熱費	…	…	…	…	…	-	234,000	234,000	…	362,000	426,900	405,500	…	155,100	121,200	129,300
	保健衛生費	…	40,300	32,900	34,400	…	-	29,600	29,600	…	31,500	37,300	35,400	…	36,600	34,000	34,600
	娯楽・嗜好費	…	128,400	111,200	114,600	…	-	37,100	37,100	…	89,600	125,400	113,600	…	111,800	113,400	113,000
その他の日常費	…	142,500	144,400	144,100	…	-	97,700	97,700	…	238,000	182,800	201,000	…	183,400	153,800	160,900	
小計（生活費）	…	392,900	357,000	364,200	…	-	641,500	641,500	…	972,100	1,017,400	1,002,500	…	641,200	542,700	566,200	
計	…	675,400	1,063,300	984,800	…	-	1,320,200	1,320,200	…	1,158,400	1,671,100	1,501,800	…	882,600	1,234,100	1,150,300	

（参考） n=411

1-5表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学院修士課程）

(単位：円)

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	527,800	384,600	698,500	598,600	643,400	713,000	1,272,800	805,400	1,118,500	909,400	1,395,900	1,169,700	916,200	683,400	989,300	925,300
	奨学金	328,200	393,900	394,500	363,700	594,200	644,800	364,700	540,600	440,600	484,600	442,800	443,900	412,300	453,800	412,700	415,100
	アルバイト	344,000	325,800	349,500	345,400	251,100	282,200	454,700	304,200	332,600	357,500	346,200	337,300	332,700	341,200	351,200	339,300
	定職収入・その他	225,800	477,300	551,400	395,500	110,900	50,000	207,800	130,600	127,300	262,200	343,800	186,000	157,100	342,400	459,900	268,600
	計	1,425,800	1,581,600	1,993,900	1,703,200	1,599,600	1,690,000	2,300,000	1,780,800	2,019,000	2,013,700	2,528,700	2,136,900	1,818,300	1,820,800	2,213,100	1,948,300
支 出	授業料	498,600	503,600	879,900	678,200	436,300	455,200	822,600	534,000	478,300	485,600	873,500	570,400	482,800	491,800	875,800	612,600
	その他の 学校納付金	13,100	11,700	74,000	41,600	11,000	2,400	52,900	20,800	12,800	14,200	75,800	27,500	12,800	12,700	74,100	33,000
	修学費	40,300	55,000	62,600	51,800	53,300	79,200	43,000	52,600	41,000	48,400	51,500	43,900	41,300	52,500	57,700	47,400
	課外活動費	7,700	7,800	8,200	8,000	6,700	20,600	5,000	7,300	11,500	9,400	8,200	10,600	10,100	9,200	8,100	9,400
	通学費	82,900	97,800	81,100	83,000	12,700	19,900	15,100	13,800	15,600	23,500	26,800	18,700	36,200	54,100	57,900	44,500
	小計（学費）	642,600	675,900	1,105,800	862,600	520,000	577,300	938,600	628,500	559,200	581,100	1,035,800	671,100	583,200	620,300	1,073,600	746,900
	食費	146,200	141,100	138,700	142,400	351,900	308,300	359,300	350,600	355,500	330,500	354,800	353,800	290,700	251,000	230,000	268,200
	住居・光熱費	258,300	262,500	486,200	315,500	591,400	549,400	590,700	588,600	394,800	309,400	246,300	340,500
	保健衛生費	48,500	44,800	51,800	49,800	46,400	39,800	44,700	45,500	45,500	43,100	47,500	45,800	46,500	43,700	49,900	47,400
	娯楽・嗜好費	139,800	135,600	142,700	140,900	148,200	115,500	131,200	141,600	156,200	143,700	145,300	152,900	150,800	139,100	143,400	147,600
	その他の日常費	188,300	268,800	251,000	223,100	180,800	208,900	208,700	189,800	180,800	189,900	192,200	184,000	183,100	223,400	226,700	200,000
小計（生活費）	522,800	590,300	584,200	556,200	985,600	935,000	1,230,100	1,043,000	1,329,400	1,256,600	1,330,500	1,325,100	1,065,900	966,600	896,300	1,003,700	
計	1,165,400	1,266,200	1,690,000	1,418,800	1,505,600	1,512,300	2,168,700	1,671,500	1,888,600	1,837,700	2,366,300	1,996,200	1,649,100	1,586,900	1,969,900	1,750,600	

(参考) n=4,986

(注) 「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含む。

1-6表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学院博士課程）

(単位：円)

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	196,900	135,700	272,400	218,300	249,600	240,000	361,600	268,000	432,500	409,800	717,500	487,400	351,600	297,100	488,200	382,100
	奨学金	689,700	467,700	456,800	595,500	1,222,600	760,000	551,300	1,103,800	903,800	830,100	589,800	837,400	851,300	682,700	522,900	759,700
	アルバイト	793,900	617,600	908,300	820,700	400,800	-	1,422,300	562,700	821,100	946,200	826,900	829,600	794,500	803,500	881,800	816,700
	定職収入・その他	1,486,400	2,672,100	1,972,200	1,732,500	268,400	2,873,300	553,100	359,900	898,200	1,454,300	1,184,100	987,700	1,053,100	1,961,600	1,559,500	1,234,000
	計	3,166,900	3,893,100	3,609,700	3,367,000	2,141,400	3,873,300	2,888,300	2,294,400	3,055,600	3,640,400	3,318,300	3,142,100	3,050,500	3,744,900	3,452,400	3,192,500
支 出	授業料	425,400	483,700	615,600	493,900	309,700	720,000	492,100	346,800	371,000	446,400	602,200	421,100	385,200	464,300	606,100	444,700
	その他の 学校納付金	11,200	33,200	42,300	23,300	8,000	-	55,500	15,700	9,500	6,900	53,100	18,000	10,000	17,500	47,800	19,800
	修学費	118,400	147,600	110,100	117,600	112,100	20,000	52,100	100,600	97,600	85,200	102,000	97,800	104,700	109,800	104,800	105,000
	課外活動費	12,600	26,200	11,400	13,100	13,700	-	22,100	14,900	10,800	17,700	14,000	11,800	11,500	20,900	12,900	12,400
	通学費	91,800	95,400	89,500	91,200	18,200	6,700	19,200	18,200	30,100	51,700	46,900	34,700	48,700	68,900	67,300	54,500
	小計（学費）	659,400	786,100	868,900	739,100	461,700	746,700	641,000	496,200	519,000	607,900	818,200	583,400	560,100	681,400	838,900	636,400
	食費	324,800	330,600	311,700	320,700	447,000	386,700	420,700	441,600	457,700	451,500	471,600	460,100	416,100	401,900	391,100	409,000
	住居・光熱費	267,300	310,000	398,600	289,700	724,500	718,100	731,000	725,400	480,500	423,300	360,400	447,300
	保健衛生費	81,800	97,700	99,600	88,900	60,500	19,300	60,100	59,700	77,800	84,500	78,100	78,300	78,300	89,200	88,300	81,400
	娯楽・嗜好費	261,900	279,100	257,300	261,500	214,400	56,700	186,500	207,100	200,700	335,900	207,900	210,100	220,200	310,100	231,900	228,600
その他の日常費	535,100	842,600	609,400	581,400	307,600	163,300	327,000	308,300	374,000	621,200	341,600	382,300	421,000	706,100	474,000	451,600	
小計（生活費）	1,203,600	1,550,000	1,278,000	1,252,500	1,296,800	936,000	1,392,900	1,306,400	1,834,700	2,211,200	1,830,200	1,856,200	1,616,100	1,930,600	1,545,700	1,617,900	
計	1,863,000	2,336,100	2,146,900	1,991,600	1,758,500	1,682,700	2,033,900	1,802,600	2,353,700	2,819,100	2,648,400	2,439,600	2,176,200	2,612,000	2,384,600	2,254,300	

(参考) n=3, 128

(注) 「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含む。

1-7表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学院専門職学位課程）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	451,000	328,700	579,600	520,000	658,000	806,300	950,800	746,200	1,039,500	192,000	1,181,100	1,079,300	752,900	411,300	801,300	764,100
	奨学金	192,000	402,500	415,000	326,500	288,700	150,000	1,017,200	453,700	421,100	178,900	554,000	470,000	311,200	287,100	487,300	394,600
	アルバイト	282,500	95,800	98,000	170,900	242,300	78,300	81,100	184,900	240,500	19,900	192,500	216,400	258,300	73,100	129,800	190,400
	定職収入・その他	1,079,400	2,628,900	2,505,800	1,946,500	571,300	800,000	216,300	508,200	564,800	2,985,700	1,357,800	937,300	781,300	2,272,000	2,018,400	1,424,900
	計	2,004,900	3,455,900	3,598,400	2,963,900	1,760,300	1,834,600	2,265,400	1,893,000	2,265,900	3,376,500	3,285,400	2,703,000	2,103,700	3,043,500	3,436,800	2,774,000
支 出	授業料	555,300	586,400	1,107,700	871,300	385,100	517,600	913,000	529,700	515,900	550,600	1,009,800	717,100	518,800	561,000	1,066,200	782,000
	その他の 学校納付金	13,000	25,200	74,300	48,400	12,500	27,500	65,300	27,100	17,400	300	83,000	43,600	15,000	19,700	76,900	44,800
	修学費	70,900	107,900	85,400	80,400	51,100	34,000	99,700	61,200	76,900	74,300	89,600	82,000	71,700	81,800	87,400	79,600
	課外活動費	7,800	28,200	16,400	13,400	10,700	6,400	-	7,600	10,600	6,300	8,300	9,600	9,400	17,600	12,900	11,400
	通学費	60,200	41,500	59,800	59,300	21,900	-	8,900	16,400	24,300	83,000	28,500	27,200	39,100	41,500	46,900	42,900
	小計（学費）	707,200	789,200	1,343,600	1,072,800	481,300	585,500	1,086,900	642,000	645,100	714,500	1,219,200	879,500	654,000	721,600	1,290,300	960,700
	食費	168,400	263,900	287,300	239,500	346,500	209,900	318,500	324,900	342,700	580,000	395,200	369,000	270,100	327,400	325,600	298,600
	住居・光熱費	205,900	111,500	321,900	224,400	594,700	690,500	671,400	627,800	304,800	194,400	243,700	271,700
	保健衛生費	50,900	128,300	64,200	61,200	43,100	77,000	46,300	47,500	49,600	90,100	64,000	56,300	49,500	106,600	63,400	58,100
	娯楽・嗜好費	160,700	268,400	230,800	204,400	156,500	173,800	110,800	147,100	157,000	308,800	162,000	162,200	158,500	255,200	202,300	182,800
その他の日常費	363,600	1,104,400	581,600	513,600	322,500	124,000	174,800	264,800	247,600	427,400	330,800	285,100	304,100	702,600	478,900	401,600	
小計（生活費）	743,600	1,765,000	1,163,900	1,018,700	1,074,500	696,200	972,300	1,008,700	1,391,600	2,096,800	1,623,400	1,500,400	1,087,000	1,586,200	1,313,900	1,212,800	
計	1,450,800	2,554,200	2,507,500	2,091,500	1,555,800	1,281,700	2,059,200	1,650,700	2,036,700	2,811,300	2,842,600	2,379,900	1,741,000	2,307,800	2,604,200	2,173,500	

（参考）n=1,138

（注）「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含む。

2表 居住形態別・地域別学生生活費の内訳

(単位：円)

区分		自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
		国立	公立	私立	平均	国立	公立	私立	平均	国立	公立	私立	平均	国立	公立	私立	平均	
大学	昼間部	東京圏	1,029,600	1,026,500	1,752,500	1,717,400	1,488,100	1,590,000	2,070,800	2,044,500	1,892,200	1,907,000	2,526,500	2,476,800	1,328,000	1,567,500	1,967,300	1,933,800
		京阪神	995,800	989,500	1,752,100	1,662,500	1,848,200	1,152,300	1,865,000	1,854,700	1,817,300	1,783,100	2,451,500	2,290,600	1,420,400	1,314,100	1,937,300	1,853,800
		その他	974,700	991,900	1,619,300	1,460,200	1,201,700	1,331,000	2,218,100	1,880,000	1,699,600	1,662,800	2,306,600	1,979,100	1,446,000	1,368,400	1,882,000	1,710,500
		全 国	987,100	993,000	1,704,800	1,601,500	1,274,900	1,321,300	2,090,600	1,943,200	1,721,800	1,689,000	2,414,300	2,151,000	1,431,800	1,372,900	1,928,600	1,813,000
短期大学	昼間部	東京圏	...	811,600	1,524,300	1,516,400	...	-	2,459,800	2,459,800	...	1,543,400	2,425,500	2,416,200	...	914,300	1,681,200	1,673,200
		京阪神	...	-	1,566,500	1,566,500	...	-	1,673,700	1,673,700	...	-	2,313,800	2,313,800	...	-	1,675,000	1,675,000
		その他	...	850,800	1,425,600	1,396,100	...	1,093,200	1,748,300	1,689,900	...	1,379,900	1,852,000	1,773,300	...	1,097,500	1,521,200	1,488,900
		全 国	...	847,900	1,472,400	1,451,600	...	1,093,200	1,843,100	1,790,800	...	1,382,100	2,022,300	1,945,000	...	1,089,700	1,580,900	1,555,900
大学院	修士課程	東京圏	1,157,800	1,176,800	1,740,600	1,572,400	1,637,800	1,187,500	2,247,900	1,950,700	2,077,700	1,999,000	2,470,800	2,320,100	1,595,100	1,622,600	2,023,200	1,881,900
		京阪神	1,166,300	1,203,400	1,636,800	1,358,100	1,387,900	1,517,900	1,765,300	1,505,300	1,956,300	1,835,500	2,334,400	2,034,700	1,655,600	1,485,500	1,917,300	1,719,700
		その他	1,168,600	1,320,700	1,611,800	1,306,800	1,487,300	1,542,400	2,149,500	1,592,200	1,844,100	1,822,600	2,206,000	1,882,800	1,658,600	1,632,200	1,897,500	1,695,800
		全 国	1,165,400	1,266,200	1,690,000	1,418,800	1,505,600	1,512,300	2,168,700	1,671,500	1,888,600	1,837,700	2,366,300	1,996,200	1,649,100	1,586,900	1,969,900	1,750,600
	博士課程	東京圏	1,613,700	1,795,700	2,105,800	1,888,800	1,406,300	-	2,210,200	1,718,700	2,348,900	2,257,900	2,765,300	2,552,400	1,976,200	2,073,200	2,400,200	2,198,900
		京阪神	1,811,300	1,871,400	1,884,200	1,839,400	1,472,300	1,454,000	1,734,900	1,510,900	2,286,400	2,211,500	2,295,900	2,285,500	2,146,200	2,026,500	2,089,100	2,128,700
		その他	2,010,800	2,470,900	2,534,100	2,148,400	1,857,100	2,140,000	2,009,700	1,878,700	2,385,800	2,954,900	2,701,400	2,468,000	2,250,000	2,759,200	2,595,500	2,339,300
		全 国	1,863,000	2,336,100	2,146,900	1,991,600	1,758,500	1,682,700	2,033,900	1,802,600	2,353,700	2,819,100	2,648,400	2,439,600	2,176,200	2,612,000	2,384,600	2,254,300
専門職学位課程	東京圏	1,194,700	-	2,751,700	2,430,700	1,841,600	-	1,833,200	1,834,700	2,142,800	-	3,011,100	2,802,300	1,558,300	-	2,792,600	2,524,700	
	京阪神	1,466,800	1,163,000	2,155,100	1,903,700	2,301,400	1,281,700	2,866,500	1,778,100	2,272,800	2,746,000	2,384,500	2,333,500	1,924,800	1,416,200	2,257,000	2,083,000	
	その他	1,553,800	2,641,100	1,927,700	1,740,800	1,467,000	-	2,323,200	1,553,000	1,939,800	2,820,300	3,182,000	2,132,600	1,731,700	2,695,700	2,437,000	1,899,400	
	全 国	1,450,800	2,554,200	2,507,500	2,091,500	1,555,800	1,281,700	2,059,200	1,650,700	2,036,700	2,811,300	2,842,600	2,379,900	1,741,000	2,307,800	2,604,200	2,173,500	

(参考) 大学：n=16,446 短期大学：n=4,137 大学院修士課程：n=4,986 大学院博士課程：n=3,128 大学院専門職学位課程：n=1,138

(注) 「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

大学院については、「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

3-1表 家庭の年間収入別学生数の割合（大学昼間部）

（単位：％）

区分		家庭の年間収入															(参考)	
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上	計	年間平均収入額
男	国立	5.4	4.5	5.7	7.3	8.1	9.8	10.1	10.0	8.4	9.0	4.2	4.1	3.2	1.8	8.3	100.0	千円 8,540
	公立	7.6	7.5	6.3	8.7	10.4	9.9	10.4	10.5	7.5	7.2	3.6	3.0	1.9	1.0	4.6	100.0	7,160
	私立	5.4	4.8	6.5	7.8	9.7	12.2	10.9	9.1	7.8	8.0	3.9	2.8	2.2	1.5	7.5	100.0	8,240
女	国立	5.6	5.9	5.9	6.0	9.0	9.5	9.1	11.2	6.6	8.5	5.0	3.5	2.4	2.3	9.7	100.0	8,580
	公立	6.3	5.3	7.1	9.1	11.8	10.4	10.4	10.1	7.2	7.7	4.1	3.2	2.2	1.1	4.0	100.0	7,300
	私立	5.8	4.8	6.4	7.2	8.6	10.2	9.7	10.0	8.5	8.6	4.3	4.0	1.9	1.9	8.2	100.0	8,510
平均	国立		(10.6)	(16.4)	(23.1)	(31.6)	(41.3)	(50.9)	(61.4)	(69.0)	(77.8)	(82.3)	(86.2)	(89.1)	(91.1)	(100.0)		
		5.5	5.1	5.8	6.7	8.5	9.7	9.6	10.5	7.6	8.8	4.5	3.9	2.9	2.0	8.9	100.0	8,560
	公立		(13.0)	(19.8)	(28.8)	(40.1)	(50.3)	(60.7)	(70.9)	(78.2)	(85.7)	(89.6)	(92.7)	(94.8)	(95.8)	(100.0)		
		6.8	6.2	6.8	9.0	11.3	10.2	10.4	10.2	7.3	7.5	3.9	3.1	2.1	1.0	4.2	100.0	7,250
		(10.4)	(16.9)	(24.4)	(33.5)	(44.7)	(54.9)	(64.4)	(72.6)	(80.9)	(85.0)	(88.4)	(90.4)	(92.1)	(100.0)			
	5.6	4.8	6.5	7.5	9.1	11.2	10.2	9.5	8.2	8.3	4.1	3.4	2.0	1.7	7.9	100.0	8,380	
		(10.6)	(17.0)	(24.4)	(33.5)	(44.3)	(54.4)	(64.1)	(72.1)	(80.5)	(84.7)	(88.2)	(90.4)	(92.1)	(100.0)			
	5.7	4.9	6.4	7.4	9.1	10.8	10.1	9.7	8.0	8.4	4.2	3.5	2.2	1.7	7.9	100.0	8,350	

（参考） n=16,490

（注）（ ）は、家庭の年間収入別学生数の割合の累計を示す。

3-2表 家庭の年間収入別学生数の割合（短期大学昼間部）

（単位：％）

区分		家庭の年間収入															(参考)	
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上	計	年間平均収入額
男	国立	千円
	公立	14.3	7.6	19.0	9.5	17.1	7.6	12.4	5.7	1.0	2.9	1.0	1.0	-	1.0	-	100.0	4,900
	私立	9.7	10.4	7.1	10.7	9.1	10.4	8.7	8.4	5.5	6.8	4.5	2.6	1.3	1.0	3.9	100.0	6,770
女	国立	千円
	公立	7.9	7.4	10.2	11.1	12.6	12.3	11.0	10.1	6.5	4.0	2.2	1.1	1.2	0.9	1.5	100.0	6,410
	私立	8.4	7.6	8.9	10.4	14.0	11.9	10.8	8.9	5.8	5.0	2.2	1.9	1.0	0.7	2.5	100.0	6,400
平均	国立	千円
	公立	8.4	(15.8) 7.4	(26.7) 10.9	(37.7) 11.0	(50.6) 12.9	(62.6) 12.0	(73.7) 11.1	(83.4) 9.7	(89.5) 6.1	(93.4) 3.9	(95.5) 2.1	(96.6) 1.1	(97.7) 1.1	(98.6) 0.9	(100.0) 1.4	100.0	6,290
	私立	8.5	(16.4) 7.9	(25.1) 8.7	(35.6) 10.5	(49.0) 13.4	(60.7) 11.7	(71.3) 10.6	(80.2) 8.9	(86.0) 5.8	(91.2) 5.2	(93.7) 2.5	(95.7) 2.0	(96.7) 1.0	(97.4) 0.7	(100.0) 2.6	100.0	6,440
	平均	8.5	(16.4) 7.9	(25.2) 8.8	(35.7) 10.5	(49.1) 13.4	(60.8) 11.7	(71.4) 10.6	(80.3) 8.9	(86.1) 5.8	(91.2) 5.1	(93.7) 2.5	(95.7) 2.0	(96.7) 1.0	(97.4) 0.7	(100.0) 2.6	100.0	6,440

(参考) n=4,195

(注) () は、家庭の年間収入別学生数の割合の累計を示す。

3-3表 家庭の年間収入別学生数の割合（大学院修士課程）

(単位：%)

区分		家庭の年間収入															(参考)	
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上	計	年間平均収入額
男	国立	6.6	4.3	6.2	5.4	7.1	9.5	9.1	11.1	7.7	10.1	4.8	4.8	3.0	2.1	8.2	100.0	千円 8,430
	公立	5.6	5.5	7.8	9.5	8.3	10.0	11.1	10.5	8.1	6.4	4.2	4.2	2.2	1.6	4.9	100.0	7,570
	私立	5.9	3.9	7.5	6.4	7.4	8.3	10.0	9.3	9.5	10.2	4.1	4.1	2.4	1.4	9.5	100.0	8,690
女	国立	8.0	3.3	6.5	6.3	6.2	8.9	8.0	11.3	6.5	9.9	5.3	4.6	3.6	3.6	7.9	100.0	8,550
	公立	9.6	6.5	6.5	9.9	8.3	7.6	7.0	9.1	6.5	9.4	3.1	3.4	2.6	2.9	7.6	100.0	7,890
	私立	9.5	7.0	7.7	9.0	8.3	8.7	9.0	9.2	3.6	8.5	4.3	3.1	2.2	1.4	8.7	100.0	7,570
平均	国立	7.0	(11.1) 4.1	(17.4) 6.3	(23.1) 5.7	(29.9) 6.8	(39.2) 9.3	(48.0) 8.8	(59.2) 11.2	(66.6) 7.4	(76.6) 10.0	(81.5) 4.9	(86.2) 4.7	(89.4) 3.2	(91.9) 2.5	(100.0) 8.1	100.0	8,460
	公立	7.1	(13.0) 5.9	(20.3) 7.3	(30.0) 9.7	(38.3) 8.3	(47.4) 9.1	(57.0) 9.6	(67.0) 10.0	(74.5) 7.5	(82.0) 7.5	(85.8) 3.8	(89.7) 3.9	(92.0) 2.3	(94.1) 2.1	(100.0) 5.9	100.0	7,690
	私立	7.2	(12.2) 5.0	(19.8) 7.6	(27.1) 7.3	(34.8) 7.7	(43.2) 8.4	(52.9) 9.7	(62.2) 9.3	(69.6) 7.4	(79.2) 9.6	(83.4) 4.2	(87.1) 3.7	(89.4) 2.3	(90.8) 1.4	(100.0) 9.2	100.0	8,300
	平均	7.0	(11.5) 4.5	(18.3) 6.8	(24.8) 6.5	(32.0) 7.2	(41.0) 9.0	(50.2) 9.2	(60.7) 10.5	(68.1) 7.4	(77.8) 9.7	(82.4) 4.6	(86.8) 4.4	(89.6) 2.8	(91.7) 2.1	(100.0) 8.3	100.0	8,360

(参考) n=4,946

(注) () は、家庭の年間収入別学生数の割合の累計を示す。
「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

3-4表 家庭の年間収入別学生数の割合（大学院博士課程）

(単位：%)

区分		家庭の年間収入															(参考)	
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上	計	年間平均収入額
男	国立	12.6	14.1	8.7	7.2	5.9	6.6	6.7	6.4	5.1	6.4	3.5	3.2	2.4	2.4	8.8	100.0	千円 7,430
	公立	12.5	8.0	5.7	8.5	9.7	6.8	8.0	9.1	6.3	7.4	2.3	2.3	1.1	3.4	9.1	100.0	7,480
	私立	8.6	8.8	7.7	8.6	8.6	6.6	5.7	8.8	4.2	10.4	2.0	3.2	1.9	0.9	13.9	100.0	9,290
女	国立	14.9	10.1	10.9	7.4	7.2	7.9	6.8	8.1	5.7	3.5	2.4	2.8	2.6	2.6	7.0	100.0	7,240
	公立	12.1	7.3	7.3	14.5	9.7	12.1	6.5	6.5	1.6	5.6	1.6	4.0	0.8	0.8	9.7	100.0	9,190
	私立	13.1	10.4	8.0	8.9	8.9	9.1	5.5	5.5	4.4	6.6	1.5	2.7	1.5	0.2	13.7	100.0	9,500
平均	国立		(26.2)	(35.5)	(42.7)	(49.0)	(55.9)	(62.6)	(69.5)	(74.8)	(80.4)	(83.6)	(86.7)	(89.2)	(91.7)	(100.0)		
	公立	13.2	13.0	9.3	7.2	6.3	6.9	6.7	6.9	5.3	5.6	3.2	3.1	2.5	2.5	8.3	100.0	7,370
	私立		(20.0)	(26.4)	(37.4)	(47.1)	(56.1)	(63.4)	(71.4)	(75.7)	(82.4)	(84.4)	(87.4)	(88.4)	(90.7)	(100.0)		
	平均	12.3	7.7	6.4	11.0	9.7	9.0	7.3	8.0	4.3	6.7	2.0	3.0	1.0	2.3	9.3	100.0	8,190
平均	国立		(19.9)	(27.8)	(36.6)	(45.3)	(52.9)	(58.5)	(66.0)	(70.3)	(79.1)	(80.9)	(83.9)	(85.6)	(86.2)	(100.0)		
	公立	10.5	9.4	7.9	8.8	8.7	7.6	5.6	7.5	4.3	8.8	1.8	3.0	1.7	0.6	13.8	100.0	9,370
	私立		(24.3)	(33.1)	(40.9)	(48.0)	(55.2)	(61.7)	(68.8)	(73.8)	(80.2)	(83.0)	(86.1)	(88.3)	(90.3)	(100.0)		
	平均	12.5	11.8	8.8	7.8	7.1	7.2	6.5	7.1	5.0	6.4	2.8	3.1	2.2	2.0	9.7	100.0	7,910

(参考) n=3,084

(注) () は、家庭の年間収入別学生数の割合の累計を示す。

「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

3-5表 家庭の年間収入別学生数の割合（大学院専門職学位課程）

（単位：％）

区分		家庭の年間収入															(参考)	
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上	計	年間平均収入額
男	国立	12.1	4.4	7.4	8.0	8.8	11.5	7.1	6.3	6.3	6.9	4.7	2.7	3.0	2.2	8.5	100.0	千円 7,900
	公立	21.4	7.1	-	21.4	14.3	7.1	7.1	-	-	7.1	-	-	-	7.1	7.1	100.0	5,860
	私立	13.5	5.1	6.7	7.7	8.4	11.1	8.4	7.4	5.1	7.1	2.0	4.4	1.7	1.7	9.8	100.0	7,760
女	国立	7.5	5.4	5.0	6.2	12.9	8.7	8.7	7.9	7.1	7.9	7.1	2.1	2.1	2.1	9.5	100.0	8,080
	公立	5.0	5.0	5.0	20.0	15.0	10.0	5.0	5.0	10.0	10.0	5.0	-	-	-	5.0	100.0	7,080
	私立	9.1	4.8	7.2	7.7	10.6	9.1	7.7	6.7	3.8	7.7	3.8	3.8	2.4	1.4	13.9	100.0	8,920
平均	国立		(15.1)	(21.5)	(28.8)	(39.2)	(49.6)	(57.4)	(64.3)	(70.9)	(78.2)	(83.8)	(86.3)	(88.9)	(91.1)	(100.0)		
	公立	10.3	4.8	6.4	7.3	10.4	10.4	7.8	6.9	6.6	7.3	5.6	2.5	2.6	2.2	8.9	100.0	7,980
	私立	11.8	5.9	3.0	20.6	14.7	8.8	5.9	2.9	5.9	8.8	2.9	-	-	2.9	5.9	100.0	6,580
	平均	11.7	4.9	6.9	7.7	9.3	10.3	8.1	7.1	4.6	7.3	2.8	4.2	2.0	1.6	11.5	100.0	8,240
	平均	11.0	4.9	6.6	8.0	10.0	10.3	7.9	6.9	5.6	7.3	4.1	3.2	2.2	1.9	10.1	100.0	8,050

（参考） n=1,144

（注）（ ）は、家庭の年間収入別学生数の割合の累計を示す。

「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

4-1表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（大学昼間部）

（単位：％）

区分		家庭からの給付のみで修学可能	家庭からの給付のみでは修学に不自由	家庭からの給付のみでは修学継続困難	家庭からの給付なし	計	アルバイト非従事者	合計
国立	男	51.3	12.8	8.5	5.5	78.1	21.9	100.0
	女	54.5	14.2	11.3	5.8	85.8	14.2	100.0
	平均	52.6	13.4	9.7	5.6	81.3	18.7	100.0
公立	男	42.6	15.7	12.7	7.0	78.0	22.0	100.0
	女	51.2	14.5	13.3	7.5	86.6	13.4	100.0
	平均	48.0	15.0	13.0	7.3	83.3	16.7	100.0
私立	男	44.7	12.9	13.3	6.2	77.0	23.0	100.0
	女	51.8	13.4	12.8	5.4	83.3	16.7	100.0
	平均	48.5	13.2	13.0	5.8	80.4	19.6	100.0
平均	男	45.9	13.0	12.3	6.1	77.2	22.8	100.0
	女	52.1	13.6	12.6	5.6	83.9	16.1	100.0
	平均	49.1	13.3	12.4	5.8	80.7	19.3	100.0

（参考） n=17,491

4-2表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（短期大学昼間部）

（単位：％）

区分		家庭からの給付のみで修学可能	家庭からの給付のみでは修学に不自由	家庭からの給付のみでは修学継続困難	家庭からの給付なし	計	アルバイト非従事者	合計
国立	男
	女
	平均
公立	男	23.4	10.2	14.0	14.0	61.7	38.3	100.0
	女	42.3	13.0	9.5	7.9	72.7	27.3	100.0
	平均	40.9	12.8	9.9	8.4	71.9	28.1	100.0
私立	男	40.6	10.2	11.7	7.0	69.5	30.5	100.0
	女	43.1	14.4	13.0	8.5	79.0	21.0	100.0
	平均	42.9	13.9	12.9	8.3	78.0	22.0	100.0
平均	男	40.0	10.2	11.8	7.2	69.2	30.8	100.0
	女	43.1	14.3	12.9	8.4	78.7	21.3	100.0
	平均	42.8	13.9	12.8	8.3	77.7	22.3	100.0

（参考） n=4,453

4-3表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（大学院修士課程）

(単位：%)

区分		家庭からの給付のみで修学可能	家庭からの給付のみでは修学に不自由	家庭からの給付のみでは修学継続困難	家庭からの給付なし	計	アルバイト非従事者	合計
国立	男	45.6	17.2	13.3	8.1	84.2	15.8	100.0
	女	47.8	17.0	9.1	10.6	84.5	15.5	100.0
	平均	46.2	17.2	12.2	8.8	84.3	15.7	100.0
公立	男	39.6	18.6	14.0	10.8	82.9	17.1	100.0
	女	37.8	16.6	11.4	12.6	78.3	21.7	100.0
	平均	38.9	17.8	13.0	11.5	81.2	18.8	100.0
私立	男	44.8	16.7	12.8	8.2	82.4	17.6	100.0
	女	38.9	15.6	9.0	11.0	74.4	25.6	100.0
	平均	42.7	16.3	11.4	9.2	79.6	20.4	100.0
平均	男	45.0	17.1	13.2	8.3	83.6	16.4	100.0
	女	43.5	16.4	9.2	10.9	80.1	19.9	100.0
	平均	44.5	16.9	12.0	9.1	82.5	17.5	100.0

(参考) n=5, 111

(注) 「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含む。

4-4表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（大学院博士課程）

(単位：%)

区分		家庭からの給付のみで修学可能	家庭からの給付のみでは修学に不自由	家庭からの給付のみでは修学継続困難	家庭からの給付なし	計	アルバイト非従事者	合計
国立	男	20.9	10.6	10.2	31.4	73.2	26.8	100.0
	女	19.4	9.1	7.4	33.0	68.9	31.1	100.0
	平均	20.5	10.2	9.4	31.9	71.9	28.1	100.0
公立	男	20.3	7.2	10.4	26.9	64.8	35.2	100.0
	女	11.3	12.1	8.1	25.0	56.4	43.6	100.0
	平均	16.7	9.2	9.5	26.1	61.4	38.6	100.0
私立	男	24.4	11.6	11.3	27.9	75.1	24.9	100.0
	女	21.4	9.9	6.7	27.6	65.5	34.5	100.0
	平均	23.2	10.9	9.4	27.8	71.2	28.8	100.0
平均	男	21.6	10.6	10.5	30.4	73.1	26.9	100.0
	女	19.4	9.6	7.2	30.7	66.9	33.1	100.0
	平均	20.9	10.3	9.4	30.5	71.1	28.9	100.0

(参考) n=3, 191

(注) 「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含む。

4-5表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（大学院専門職学位課程）

（単位：％）

区 分		家庭からの給付のみで修学可能	家庭からの給付のみでは修学に不自由	家庭からの給付のみでは修学継続困難	家庭からの給付なし	計	アルバイト非従事者	合 計
国 立	男	34.7	8.4	8.9	8.4	60.3	39.7	100.0
	女	38.2	9.2	5.6	9.2	62.2	37.8	100.0
	平均	36.1	8.7	7.6	8.7	61.0	39.0	100.0
公 立	男	20.1	6.5	6.5	6.5	39.6	60.4	100.0
	女	30.1	-	4.9	15.0	50.0	50.0	100.0
	平均	25.8	2.8	5.6	11.4	45.6	54.4	100.0
私 立	男	13.2	6.4	5.7	5.1	30.4	69.6	100.0
	女	22.9	4.6	8.2	6.4	42.2	57.8	100.0
	平均	17.3	5.6	6.8	5.6	35.4	64.6	100.0
平 均	男	24.2	7.4	7.3	6.7	45.6	54.4	100.0
	女	30.3	6.5	6.8	8.1	51.8	48.2	100.0
	平均	26.7	7.0	7.1	7.3	48.2	51.8	100.0

（参考） n=1,183

（注） 「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含む。

5-1表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合（大学昼間部）

（単位：％）

区 分			家庭教師	事 務	販 売	飲食業	販売・飲食業を除く 軽労働	重労働・ 危険作業	特殊技能	その他	計	従事日数別 割合
国立	授業 期間中	不定期的にした	25.1	7.2	14.0	24.8	10.7	2.4	2.0	13.7	100.0	16.0
		週に1～2日した	35.5	3.8	15.2	35.2	4.0	0.5	1.2	4.6	100.0	43.2
		週に3日以上した	23.0	2.5	22.5	42.6	4.5	0.9	0.7	3.3	100.0	40.9
		平均	28.7	3.8	18.0	36.5	5.3	0.9	1.2	5.5	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	26.1	6.3	13.5	26.6	12.3	2.6	1.4	11.3	100.0	18.6
		週に1～2日した	40.6	4.1	14.4	30.9	3.9	0.5	1.6	4.0	100.0	26.0
		週に3日以上した	24.6	2.9	21.5	41.5	4.1	0.7	0.9	3.6	100.0	55.4
		平均	29.1	3.8	18.2	36.0	5.6	1.0	1.2	5.1	100.0	100.0
公立	授業 期間中	不定期的にした	12.6	6.9	13.5	37.4	9.0	4.5	2.7	13.5	100.0	13.0
		週に1～2日した	22.4	1.9	22.6	39.6	6.0	0.3	0.6	6.6	100.0	38.7
		週に3日以上した	14.9	2.7	28.4	44.8	4.7	0.6	0.4	3.6	100.0	48.3
		平均	17.5	2.9	24.2	41.8	5.8	1.0	0.8	6.1	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	15.0	3.2	19.7	36.5	9.7	2.9	1.8	11.3	100.0	15.8
		週に1～2日した	27.6	3.4	19.5	35.9	6.5	0.8	0.8	5.5	100.0	21.1
		週に3日以上した	15.1	2.6	27.3	44.5	4.9	0.7	0.4	4.5	100.0	63.1
		平均	17.7	2.9	24.4	41.4	6.0	1.0	0.7	5.8	100.0	100.0
私立	授業 期間中	不定期的にした	7.2	4.3	16.6	38.6	12.8	4.5	0.9	15.0	100.0	13.6
		週に1～2日した	13.1	3.2	25.4	43.9	5.5	0.9	1.2	6.7	100.0	38.9
		週に3日以上した	8.2	1.4	31.3	47.2	5.3	0.8	0.8	5.0	100.0	47.4
		平均	10.0	2.5	27.0	44.7	6.4	1.4	1.0	7.1	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	8.2	4.9	16.4	39.1	12.5	3.9	1.0	13.9	100.0	15.0
		週に1～2日した	13.4	2.7	24.7	43.7	5.9	0.9	1.7	7.0	100.0	20.4
		週に3日以上した	9.1	1.6	30.4	46.0	5.6	0.9	0.8	5.6	100.0	64.6
		平均	9.8	2.4	27.1	44.5	6.7	1.4	1.0	7.1	100.0	100.0
平均	授業 期間中	不定期的にした	10.9	5.0	15.9	35.9	12.2	4.1	1.2	14.7	100.0	14.0
		週に1～2日した	17.7	3.3	23.4	42.0	5.2	0.8	1.2	6.3	100.0	39.6
		週に3日以上した	10.8	1.6	29.8	46.4	5.2	0.8	0.7	4.7	100.0	46.4
		平均	13.6	2.7	25.3	43.2	6.2	1.3	1.0	6.7	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	12.1	5.1	16.0	36.5	12.3	3.6	1.1	13.2	100.0	15.7
		週に1～2日した	19.6	3.0	22.3	40.7	5.6	0.8	1.6	6.3	100.0	21.4
		週に3日以上した	11.7	1.9	28.9	45.3	5.3	0.9	0.8	5.2	100.0	63.0
		平均	13.4	2.6	25.5	42.9	6.5	1.3	1.0	6.7	100.0	100.0

（参考）授業期間中n=13,580、長期休暇中n=12,830

5-2表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合（短期大学昼間部）

（単位：％）

区 分			家庭教師	事 務	販 売	飲食業	販売・飲食業を除く 軽労働	重労働・ 危険作業	特殊技能	その他	計	従事日数別 割合
国立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た
		週 に 1 ～ 2 日 し た
		週 に 3 日 以 上 し た
		平 均
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た
		週 に 1 ～ 2 日 し た
週 に 3 日 以 上 し た		
平 均	
公立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	4.1	3.1	15.3	60.5	6.7	-	0.5	9.7	100.0	16.4
		週 に 1 ～ 2 日 し た	5.5	2.7	27.5	54.0	5.0	-	0.4	4.8	100.0	39.9
		週 に 3 日 以 上 し た	1.6	0.7	32.8	56.1	6.0	-	0.2	2.5	100.0	43.6
		平 均	3.6	1.9	27.8	56.0	5.7	-	0.4	4.6	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	5.1	2.3	17.7	52.2	9.3	-	0.5	12.9	100.0	20.7
		週 に 1 ～ 2 日 し た	3.8	1.1	32.2	53.9	5.1	-	0.5	3.4	100.0	20.7
週 に 3 日 以 上 し た		2.5	1.6	29.8	57.3	5.3	-	0.3	3.1	100.0	58.6	
平 均	3.3	1.6	27.8	55.5	6.1	-	0.4	5.2	100.0	100.0		
私立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	2.2	1.3	19.4	49.3	6.1	2.2	0.6	18.8	100.0	13.6
		週 に 1 ～ 2 日 し た	1.8	1.5	30.4	55.1	4.9	0.6	0.2	5.5	100.0	38.3
		週 に 3 日 以 上 し た	1.4	0.6	33.3	55.8	3.2	0.9	0.1	4.7	100.0	48.0
		平 均	1.7	1.0	30.3	54.6	4.2	1.0	0.2	6.9	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	1.7	0.9	18.9	52.9	8.1	2.0	1.2	14.2	100.0	15.8
		週 に 1 ～ 2 日 し た	1.8	1.8	31.4	51.9	4.6	0.5	0.3	7.8	100.0	18.1
週 に 3 日 以 上 し た		1.7	0.6	32.6	55.8	3.4	1.1	0.1	4.6	100.0	66.1	
平 均	1.7	0.9	30.2	54.6	4.4	1.1	0.3	6.7	100.0	100.0		
平均	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	2.3	1.4	19.2	49.9	6.1	2.1	0.6	18.3	100.0	13.7
		週 に 1 ～ 2 日 し た	2.0	1.5	30.3	55.0	4.9	0.5	0.2	5.5	100.0	38.4
		週 に 3 日 以 上 し た	1.5	0.6	33.3	55.8	3.3	0.9	0.1	4.6	100.0	47.8
		平 均	1.8	1.1	30.2	54.7	4.3	0.9	0.2	6.8	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	1.9	1.0	18.8	52.9	8.2	1.9	1.1	14.2	100.0	16.0
		週 に 1 ～ 2 日 し た	1.9	1.7	31.4	52.0	4.6	0.5	0.3	7.6	100.0	18.2
週 に 3 日 以 上 し た		1.8	0.7	32.5	55.9	3.5	1.1	0.1	4.5	100.0	65.8	
平 均	1.8	0.9	30.1	54.7	4.4	1.1	0.3	6.6	100.0	100.0		

（参考）授業期間中n=3,300、長期休暇中n=3,052

5-3表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合（大学院修士課程）

(単位：%)

区 分			家庭教師	事 務	販 売	飲食業	販売・飲食業を除く 軽労働	重労働・危険作業	特殊技能	その他	計	従事日数別割合
国立	授業 期間中	不定期的にした	20.1	9.5	10.9	19.8	10.1	1.4	8.2	20.1	100.0	22.9
		週に1～2日した	30.9	5.4	16.4	28.4	5.4	0.8	3.7	8.9	100.0	52.5
		週に3日以上した	19.6	5.3	18.6	33.8	6.0	0.8	4.5	11.3	100.0	24.7
		平均	25.7	6.3	15.7	27.8	6.6	0.9	4.9	12.1	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	22.0	8.3	8.3	20.2	11.0	1.5	8.3	20.5	100.0	22.4
		週に1～2日した	29.5	6.2	17.0	28.7	5.7	0.6	4.4	7.9	100.0	42.0
		週に3日以上した	23.0	4.9	19.4	33.1	5.2	1.3	3.6	9.5	100.0	35.6
		平均	25.5	6.2	15.9	28.3	6.7	1.1	5.0	11.3	100.0	100.0
公立	授業 期間中	不定期的にした	16.4	7.9	6.7	19.3	12.7	2.4	8.5	26.0	100.0	22.0
		週に1～2日した	26.8	4.5	21.2	27.3	7.2	0.8	3.7	8.5	100.0	50.2
		週に3日以上した	22.0	1.5	27.7	26.3	7.2	0.5	5.3	9.5	100.0	27.8
		平均	23.2	4.4	19.8	25.3	8.4	1.1	5.2	12.6	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	15.8	7.3	9.2	18.4	14.5	1.3	10.5	23.0	100.0	22.2
		週に1～2日した	28.2	4.7	20.1	27.9	8.1	0.4	3.5	7.0	100.0	37.7
		週に3日以上した	20.7	1.8	27.6	29.0	6.2	1.1	4.7	8.8	100.0	40.1
		平均	22.5	4.1	20.7	26.2	8.8	0.9	5.6	11.3	100.0	100.0
私立	授業 期間中	不定期的にした	14.3	9.0	7.4	22.5	9.0	1.6	9.4	26.6	100.0	22.4
		週に1～2日した	22.3	8.5	19.0	19.2	5.8	0.9	6.5	17.9	100.0	54.1
		週に3日以上した	22.0	11.8	20.0	18.8	5.1	0.4	5.1	16.9	100.0	23.5
		平均	20.4	9.4	16.7	19.9	6.3	0.9	6.8	19.6	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	17.4	9.3	8.0	19.1	10.6	3.0	7.2	25.4	100.0	23.8
		週に1～2日した	22.1	8.9	19.8	19.8	4.8	0.5	6.3	17.8	100.0	39.7
		週に3日以上した	19.8	9.4	20.9	22.6	5.8	0.8	6.6	14.1	100.0	36.6
		平均	20.1	9.2	17.4	20.6	6.5	1.2	6.6	18.2	100.0	100.0
平均	授業 期間中	不定期的にした	18.1	9.3	9.5	20.6	9.9	1.5	8.6	22.5	100.0	22.7
		週に1～2日した	28.0	6.3	17.5	25.5	5.7	0.8	4.6	11.7	100.0	52.8
		週に3日以上した	20.5	6.9	19.7	28.8	5.9	0.6	4.8	12.8	100.0	24.5
		平均	23.9	7.1	16.2	25.2	6.7	0.9	5.5	14.4	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	20.1	8.6	8.3	19.7	11.1	1.9	8.1	22.2	100.0	22.8
		週に1～2日した	27.2	6.9	18.0	26.0	5.6	0.6	4.9	10.7	100.0	41.0
		週に3日以上した	21.9	6.0	20.5	29.6	5.5	1.1	4.6	10.9	100.0	36.2
		平均	23.7	6.9	16.7	25.9	6.8	1.1	5.5	13.4	100.0	100.0

(参考) 授業期間中n=3,447、長期休暇中n=3,181

(注) 「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含まない。

5-4表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合（大学院博士課程）

(単位：%)

区 分			家庭教師	事 務	販 売	飲食業	販売・飲食業を除く 軽労働	重労働・ 危険作業	特殊技能	その他	計	従事日数別 割合
国立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	23.7	8.8	2.7	6.8	7.4	1.3	16.2	33.1	100.0	21.1
		週 に 1 ～ 2 日 し た	20.4	7.9	4.5	5.6	2.1	-	18.2	41.3	100.0	53.9
		週 に 3 日 以 上 し た	13.1	10.3	5.1	6.3	4.0	1.7	18.3	41.1	100.0	25.0
		平 均	19.3	8.7	4.3	6.0	3.7	0.7	17.8	39.5	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	25.5	7.8	2.1	6.4	7.8	1.4	16.3	32.6	100.0	23.1
		週 に 1 ～ 2 日 し た	18.6	9.5	5.6	5.2	2.6	-	19.6	38.9	100.0	50.1
		週 に 3 日 以 上 し た	13.4	9.8	4.3	7.3	4.3	1.2	18.3	41.5	100.0	26.8
		平 均	18.8	9.2	4.4	6.0	4.3	0.7	18.5	38.1	100.0	100.0
公立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	8.7	8.4	5.6	-	5.6	2.8	28.7	40.2	100.0	26.2
		週 に 1 ～ 2 日 し た	9.8	6.6	-	10.0	1.6	1.6	13.2	57.3	100.0	46.0
		週 に 3 日 以 上 し た	13.5	2.6	19.1	5.3	5.3	2.6	24.4	27.1	100.0	27.8
		平 均	10.5	6.0	6.8	6.1	3.7	2.2	20.4	44.4	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	11.6	8.4	5.6	-	5.6	-	31.6	37.2	100.0	29.1
		週 に 1 ～ 2 日 し た	13.3	6.6	-	6.6	2.2	-	11.2	60.2	100.0	37.5
		週 に 3 日 以 上 し た	12.5	2.4	17.7	12.5	4.9	7.3	20.1	22.6	100.0	33.5
		平 均	12.5	5.7	7.5	6.6	4.1	2.5	20.1	40.9	100.0	100.0
私立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	9.3	8.6	2.4	3.9	1.5	0.8	19.5	54.0	100.0	20.5
		週 に 1 ～ 2 日 し た	12.0	7.5	3.6	2.1	-	-	21.6	53.1	100.0	53.3
		週 に 3 日 以 上 し た	16.4	11.6	5.5	3.7	0.6	2.5	12.8	47.0	100.0	26.3
		平 均	12.6	8.8	3.8	2.9	0.5	0.8	18.9	51.7	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	9.8	8.3	1.5	3.8	1.5	0.7	18.8	55.7	100.0	24.3
		週 に 1 ～ 2 日 し た	7.9	5.2	4.7	1.2	0.8	-	22.6	57.7	100.0	46.3
		週 に 3 日 以 上 し た	17.5	12.5	6.9	3.8	0.6	2.5	13.7	42.5	100.0	29.3
		平 均	11.2	8.1	4.6	2.6	0.9	0.9	19.1	52.8	100.0	100.0
平均	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	18.6	8.7	2.8	5.5	5.7	1.3	18.1	39.4	100.0	21.2
		週 に 1 ～ 2 日 し た	17.4	7.7	4.0	4.8	1.5	0.1	19.0	45.5	100.0	53.3
		週 に 3 日 以 上 し た	14.1	10.2	6.2	5.5	3.1	2.0	17.1	41.9	100.0	25.5
		平 均	16.8	8.6	4.3	5.1	2.8	0.8	18.3	43.3	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	19.8	8.0	2.2	5.1	5.8	1.1	18.2	39.8	100.0	23.8
		週 に 1 ～ 2 日 し た	15.4	8.1	5.1	4.2	2.1	-	20.0	45.1	100.0	48.2
		週 に 3 日 以 上 し た	14.6	10.0	6.1	6.6	3.2	2.1	17.1	40.4	100.0	28.0
		平 均	16.2	8.6	4.7	5.1	3.3	0.8	18.8	42.5	100.0	100.0

(参考) 授業期間中n=1,459、長期休暇中n=1,277

(注) 「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含まない。

5-5表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合（大学院専門職学位課程）

(単位：%)

区 分			家庭教師	事 務	販 売	飲食業	販売・飲食業を除く 軽労働	重労働・ 危険作業	特殊技能	その他	計	従事日数別 割合
国立	授業 期間中	不定期的にした	32.3	10.3	10.3	13.1	9.1	2.7	5.3	16.8	100.0	22.2
		週に1～2日した	36.2	9.0	14.0	18.4	3.9	-	3.2	15.3	100.0	45.1
		週に3日以上した	27.1	5.2	17.6	17.6	8.8	0.9	4.4	18.4	100.0	32.8
		平均	32.4	8.0	14.4	17.0	6.7	0.9	4.1	16.6	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	27.1	13.7	12.5	14.7	10.2	2.4	6.9	12.5	100.0	26.7
		週に1～2日した	41.8	9.0	14.1	15.0	2.0	-	4.1	14.1	100.0	30.2
		週に3日以上した	27.3	4.9	15.4	20.9	9.1	0.7	3.5	18.1	100.0	43.1
		平均	31.6	8.5	14.2	17.5	7.3	1.0	4.6	15.4	100.0	100.0
公立	授業 期間中	不定期的にした	22.8	-	10.9	10.9	-	10.9	-	44.6	100.0	64.7
		週に1～2日した	-	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	7.1
		週に3日以上した	50.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	100.0	28.2
		平均	28.8	-	14.1	7.1	-	7.1	-	42.9	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	14.1	-	-	14.1	-	14.1	-	57.7	100.0	54.2
		週に1～2日した	-	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	7.6
		週に3日以上した	40.0	-	40.0	-	-	-	-	20.0	100.0	38.2
		平均	22.9	-	15.3	7.6	-	7.6	-	46.5	100.0	100.0
私立	授業 期間中	不定期的にした	16.3	12.8	10.9	9.1	14.5	1.8	7.4	27.3	100.0	35.0
		週に1～2日した	19.8	22.6	18.3	14.1	8.4	-	1.4	15.4	100.0	45.2
		週に3日以上した	6.5	25.8	9.6	19.3	6.5	-	-	32.3	100.0	19.7
		平均	15.9	19.8	14.0	13.4	10.2	0.6	3.2	22.9	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	20.7	11.1	7.9	7.9	14.3	1.5	7.9	28.5	100.0	37.7
		週に1～2日した	15.6	24.2	18.9	15.4	7.0	-	-	18.9	100.0	34.7
		週に3日以上した	10.8	24.0	17.5	19.6	6.5	-	-	21.7	100.0	27.6
		平均	16.2	19.2	14.4	13.7	9.6	0.6	3.0	23.3	100.0	100.0
平均	授業 期間中	不定期的にした	24.7	10.6	10.6	11.2	10.7	2.9	5.8	23.4	100.0	28.0
		週に1～2日した	30.2	13.7	15.5	16.8	5.5	-	2.5	15.8	100.0	43.9
		週に3日以上した	22.9	10.0	15.9	17.4	8.0	0.7	3.2	21.9	100.0	28.2
		平均	26.6	11.8	14.2	15.4	7.6	1.0	3.6	19.7	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	23.6	11.8	9.8	11.7	11.5	2.6	7.0	21.9	100.0	31.6
		週に1～2日した	30.7	15.2	15.9	15.1	4.0	-	2.4	16.7	100.0	31.2
		週に3日以上した	23.2	10.0	16.7	19.9	8.1	0.5	2.5	19.2	100.0	37.2
		平均	25.7	12.2	14.3	15.8	7.9	1.0	3.9	19.3	100.0	100.0

(参考) 授業期間中n=519、長期休暇中n=511

(注) 「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含まない。

6-1表 設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況（大学昼間部）

(単位：%)

区分	希望及び受給の状況	家庭の年間収入															計	
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上		
国立	受給者	100.0	(20.7)	(30.7)	(41.1)	(51.7)	(63.1)	(73.3)	(82.9)	(89.2)	(93.9)	(96.0)	(97.0)	(97.9)	(98.4)	(100.0)		
	申請したが不採用	42.3	10.9	9.8	10.0	10.4	10.6	11.4	10.2	9.6	6.3	4.7	2.1	1.0	0.9	0.5	1.6	100.0
	希望するが申請しなかった	2.3	5.1	7.1	4.1	12.2	12.2	8.2	7.1	10.2	7.1	5.1	4.1	3.1	3.1	5.1	6.1	100.0
	必要ない	7.7	3.8	4.4	5.6	8.4	11.6	10.9	10.6	11.9	8.8	7.5	5.9	2.5	1.6	2.2	4.4	100.0
公立	受給者	100.0	(20.7)	(30.0)	(42.0)	(55.1)	(66.4)	(76.8)	(85.9)	(90.9)	(95.2)	(97.3)	(98.3)	(99.1)	(99.5)	(100.0)		
	申請したが不採用	55.0	10.9	9.8	9.3	12.0	13.1	11.3	10.4	9.1	5.0	4.3	2.1	1.0	0.8	0.4	0.5	100.0
	希望するが申請しなかった	2.0	3.3	4.9	3.3	9.8	13.1	9.8	3.3	19.7	8.2	9.8	1.6	1.6	3.3	3.3	4.9	100.0
	必要ない	5.7	3.5	5.8	7.0	8.1	12.2	9.9	11.0	11.6	10.5	2.9	5.2	4.7	4.1	0.6	2.9	100.0
私立	受給者	100.0	(17.3)	(27.1)	(37.5)	(49.3)	(62.3)	(73.6)	(82.7)	(89.5)	(93.8)	(96.2)	(97.7)	(98.5)	(98.9)	(100.0)		
	申請したが不採用	50.8	9.2	8.1	9.8	10.4	11.8	13.0	11.3	9.1	6.8	4.3	2.4	1.5	0.8	0.4	1.1	100.0
	希望するが申請しなかった	2.2	4.6	4.1	6.6	7.1	6.1	6.1	9.6	10.7	6.6	10.7	5.1	5.6	4.6	2.5	10.2	100.0
	必要ない	5.6	4.5	3.9	5.1	6.1	8.9	11.0	10.3	10.7	10.5	9.5	3.2	4.5	2.2	2.4	7.3	100.0
平均	受給者	100.0	(18.1)	(27.9)	(38.4)	(50.1)	(62.8)	(73.9)	(83.0)	(89.6)	(93.9)	(96.3)	(97.7)	(98.5)	(98.9)	(100.0)		
	申請したが不採用	49.6	9.6	8.5	9.8	10.5	11.7	12.7	11.1	9.1	6.6	4.3	2.4	1.4	0.8	0.4	1.1	100.0
	希望するが申請しなかった	2.2	4.6	4.7	6.0	8.2	7.6	6.7	8.9	11.0	6.8	9.6	4.7	4.9	4.2	3.1	9.1	100.0
	必要ない	6.0	4.3	4.1	5.3	6.7	9.6	11.0	10.4	11.0	10.1	8.7	3.9	4.1	2.1	2.2	6.4	100.0
必要ない	42.3	1.4	1.0	2.6	3.8	6.2	9.1	9.1	10.2	9.4	12.8	6.4	5.8	3.7	3.0	15.5	100.0	

(参考) n=16,221

(注) () は、奨学金受給者の割合の累計を示す。

上記区分「希望するが申請しなかった」は、日本学生支援機構奨学金では「希望したが申請しなかった」、かつ、他の奨学金では「申請しなかった」と回答した者とした。

上記区分「必要ない」は、日本学生支援機構奨学金では「そもそも奨学金は必要なかった」、かつ、他の奨学金では「申請しなかった」と回答した者とした。

6-2表 設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況（短期大学昼間部）

(単位：%)

区分	希望及び受給の状況	家庭の年間収入															計	
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上		
国立	受給者	
	申請したが不採用	
	希望するが申請しなかった	
	必要ない	
公立	受給者	100.0	(24.0)	(38.7)	(50.9)	(65.2)	(75.6)	(83.8)	(90.1)	(94.8)	(97.0)	(98.4)	(99.0)	(99.4)	(99.6)	(100.0)		
	申請したが不採用	59.7	12.7	11.3	14.7	12.2	14.3	10.4	8.2	6.3	4.7	2.2	1.4	0.6	0.4	0.2	0.4	100.0
	希望するが申請しなかった	2.3	6.5	3.2	6.5	16.1	16.1	12.9	6.5	16.1	6.5	6.5	-	-	-	-	3.2	100.0
	必要ない	4.4	3.4	5.1	8.5	8.5	11.9	23.7	10.2	6.8	5.1	6.8	1.7	1.7	-	-	6.8	100.0
私立	受給者	100.0	(24.0)	(35.2)	(48.3)	(62.3)	(73.6)	(83.1)	(90.2)	(94.6)	(97.1)	(97.9)	(98.6)	(98.9)	(99.0)	(100.0)		
	申請したが不採用	56.7	12.6	11.4	11.2	13.1	14.0	11.3	9.5	7.1	4.4	2.5	0.8	0.7	0.3	0.1	1.0	100.0
	希望するが申請しなかった	2.6	4.2	9.9	11.3	8.5	16.9	5.6	8.5	11.3	2.8	5.6	8.5	1.4	1.4	1.4	2.8	100.0
	必要ない	5.1	5.7	7.9	7.1	11.4	12.9	14.3	11.4	10.0	5.7	5.0	2.1	1.4	1.4	-	3.6	100.0
平均	受給者	100.0	(24.0)	(35.4)	(48.4)	(62.4)	(73.6)	(83.1)	(90.2)	(94.6)	(97.1)	(98.0)	(98.7)	(99.0)	(99.1)	(100.0)		
	申請したが不採用	56.9	12.6	11.4	11.4	13.0	14.0	11.2	9.5	7.1	4.4	2.5	0.9	0.7	0.3	0.1	0.9	100.0
	希望するが申請しなかった	2.5	4.3	9.6	11.0	8.8	16.9	6.0	8.4	11.5	3.0	5.7	8.1	1.3	1.3	1.3	2.8	100.0
	必要ない	5.0	5.6	7.7	7.2	11.3	12.8	14.7	11.4	9.9	5.7	5.1	2.1	1.4	1.4	-	3.7	100.0
必要ない	35.5	2.8	2.1	4.9	6.7	12.4	12.5	12.7	11.4	8.2	9.1	4.6	3.8	2.1	1.7	4.9	100.0	

(参考) n=4,121

(注) () は、奨学金受給者の割合の累計を示す。

上記区分「希望するが申請しなかった」は、日本学生支援機構奨学金では「希望したが申請しなかった」、かつ、他の奨学金では「申請しなかった」と回答した者とした。

上記区分「必要ない」は、日本学生支援機構奨学金では「そもそも奨学金は必要なかった」、かつ、他の奨学金では「申請しなかった」と回答した者とした。

6-3表 設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況（大学院修士課程）

(単位：%)

区 分		希望及び受給の状況	家 庭 の 年 間 収 入														計	
			200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500		1,500万円以上
国 立	受給者	100.0		(14.4)	(22.9)	(30.2)	(38.8)	(47.8)	(57.7)	(69.1)	(76.8)	(84.8)	(88.6)	(93.0)	(95.1)	(96.7)	(100.0)	
	申請したが不採用	48.3	8.7	5.7	8.5	7.3	8.6	9.0	9.9	11.4	7.7	8.0	3.8	4.4	2.1	1.6	3.3	100.0
	希望するが申請しなかった	1.7	18.9	-	2.7	8.1	2.7	2.7	5.4	13.5	5.4	13.5	8.1	2.7	5.4	2.7	8.1	100.0
	必要ない	8.0	11.9	5.6	6.2	5.1	7.9	14.7	8.5	5.6	6.8	10.2	4.0	2.3	4.5	1.7	5.1	100.0
公 立	受給者	42.1	3.5	2.0	4.0	3.7	4.9	8.8	7.9	11.9	7.2	12.0	6.3	5.8	4.1	3.7	14.2	100.0
	申請したが不採用	100.0		(15.4)	(24.2)	(34.9)	(43.9)	(55.0)	(64.9)	(75.0)	(81.7)	(87.3)	(90.1)	(92.5)	(94.0)	(95.5)	(100.0)	
	希望するが申請しなかった	53.0	7.7	7.7	8.8	10.7	9.0	11.1	9.9	10.1	6.7	5.6	2.8	2.4	1.5	1.5	4.5	100.0
	必要ない	1.9	36.8	15.8	10.5	-	10.5	10.5	-	-	-	-	-	-	5.3	5.3	5.3	100.0
私 立	受給者	5.7	10.5	5.3	10.5	8.8	10.5	5.3	10.5	7.0	7.0	7.0	7.0	3.5	3.5	-	3.5	100.0
	申請したが不採用	39.4	4.8	3.0	5.3	9.3	6.5	6.8	9.1	10.3	9.3	10.1	5.0	6.3	3.3	3.0	7.8	100.0
	希望するが申請しなかった	100.0		(14.7)	(22.9)	(31.0)	(38.8)	(46.9)	(56.4)	(67.1)	(76.2)	(84.4)	(87.5)	(91.4)	(93.0)	(94.1)	(100.0)	
	必要ない	51.1	8.5	6.2	8.2	8.1	7.8	8.1	9.5	10.7	9.1	8.2	3.1	3.9	1.6	1.1	5.9	100.0
平 均	受給者	3.3	9.1	7.3	7.3	9.1	10.9	7.3	12.7	9.1	3.6	7.3	3.6	7.3	1.8	-	3.6	100.0
	申請したが不採用	7.6	9.5	11.9	7.9	4.8	9.5	10.3	11.1	7.1	4.8	7.9	4.8	1.6	0.8	0.8	7.1	100.0
	希望するが申請しなかった	38.0	4.7	1.9	6.6	6.6	6.6	8.4	9.5	7.9	6.3	12.2	5.5	3.3	3.6	2.1	14.7	100.0
	必要ない	100.0		(14.5)	(22.9)	(30.7)	(39.0)	(47.9)	(57.7)	(68.8)	(76.9)	(84.8)	(88.3)	(92.4)	(94.3)	(95.7)	(100.0)	
平 均	受給者	49.5	8.5	6.0	8.4	7.8	8.3	8.9	9.8	11.1	8.1	7.9	3.5	4.1	1.9	1.4	4.3	100.0
	申請したが不採用	2.2	15.1	4.4	5.4	8.2	7.1	5.4	8.7	10.6	4.2	9.7	5.5	4.8	3.6	1.5	5.8	100.0
	希望するが申請しなかった	7.7	11.0	7.7	7.0	5.2	8.6	12.8	9.4	6.2	6.1	9.3	4.4	2.1	3.3	1.3	5.7	100.0
	必要ない	40.6	4.0	2.1	4.9	5.0	5.5	8.5	8.5	10.6	7.0	11.9	6.0	5.1	3.9	3.2	14.0	100.0

(参考) n=4,894

(注) () は、奨学金受給者の割合の累計を示す。

「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

上記区分「希望するが申請しなかった」は、日本学生支援機構奨学金では「希望したが申請しなかった」、かつ、他の奨学金では「申請しなかった」と回答した者とした。

上記区分「必要ない」は、日本学生支援機構奨学金では「そもそも奨学金は必要なかった」、かつ、他の奨学金では「申請しなかった」と回答した者とした。

6-4表 設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況（大学院博士課程）

(単位：%)

区 分		希望及び受給の状況	家 庭 の 年 間 収 入														計	
			200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500		1,500万円以上
国立	受給者	100.0		(32.3)	(40.6)	(47.8)	(53.8)	(59.4)	(65.7)	(72.2)	(77.4)	(82.2)	(86.0)	(89.1)	(91.7)	(94.4)	(100.0)	
	申請したが不採用	54.9	14.2	18.1	8.3	7.2	6.0	5.6	6.3	6.5	5.2	4.8	3.8	3.1	2.6	2.7	5.6	100.0
	希望するが申請しなかった	3.7	15.0	5.0	16.7	6.7	5.0	5.0	1.7	13.3	3.3	5.0	3.3	3.3	3.3	5.0	8.3	100.0
	必要ない	8.5	21.7	7.2	14.5	8.0	5.1	8.0	6.5	5.8	5.1	4.3	-	2.9	0.7	1.4	8.7	100.0
公立	受給者	32.9	9.4	6.6	8.4	7.5	7.3	9.0	7.7	7.3	6.0	7.1	3.0	3.2	2.6	2.3	12.6	100.0
	受給者	100.0		(24.4)	(32.8)	(41.9)	(52.4)	(60.8)	(68.5)	(74.8)	(78.3)	(83.2)	(83.9)	(86.0)	(87.4)	(90.2)	(100.0)	
	申請したが不採用	48.5	15.3	9.1	8.4	9.1	10.5	8.4	7.7	6.3	3.5	4.9	0.7	2.1	1.4	2.8	9.8	100.0
	希望するが申請しなかった	1.7	40.0	-	-	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	100.0
私立	受給者	8.1	20.8	8.3	8.3	8.3	8.3	12.5	12.5	8.3	4.2	4.2	-	-	-	-	4.2	100.0
	申請したが不採用	41.7	6.5	5.7	4.9	13.8	8.1	9.8	5.7	10.6	4.9	8.1	3.3	4.9	0.8	2.4	10.6	100.0
	希望するが申請しなかった	100.0		(24.6)	(33.7)	(42.2)	(48.6)	(56.3)	(62.7)	(69.3)	(73.8)	(81.2)	(83.3)	(86.4)	(88.9)	(89.7)	(100.0)	
	必要ない	45.5	13.6	11.0	9.1	8.5	6.4	7.7	6.4	6.6	4.5	7.4	2.1	3.1	2.5	0.8	10.3	100.0
平均	受給者	4.2	12.5	14.6	8.3	8.3	14.6	-	-	2.1	10.4	16.7	-	6.3	2.1	-	4.2	100.0
	申請したが不採用	7.9	11.1	14.4	12.2	10.0	12.2	7.8	3.3	5.6	-	10.0	1.1	-	-	-	12.2	100.0
	希望するが申請しなかった	42.3	6.7	6.5	5.2	8.8	10.2	8.4	5.4	9.6	4.4	8.8	1.9	3.1	1.3	0.6	19.2	100.0
	必要ない	100.0		(30.2)	(38.7)	(46.3)	(52.6)	(58.8)	(65.2)	(71.7)	(76.6)	(82.0)	(85.3)	(88.3)	(90.8)	(93.1)	(100.0)	
平均	受給者	52.2	14.1	16.1	8.5	7.6	6.3	6.2	6.4	6.5	4.9	5.4	3.3	3.0	2.5	2.3	6.9	100.0
	申請したが不採用	3.7	15.0	7.5	13.9	7.5	7.5	3.5	1.2	9.9	5.8	8.6	2.3	4.0	2.9	3.5	6.9	100.0
	希望するが申請しなかった	8.4	19.2	9.0	13.6	8.5	6.9	8.2	6.2	5.9	3.9	5.6	0.3	2.1	0.5	1.0	9.2	100.0
	必要ない	35.7	8.4	6.5	7.3	8.3	8.2	8.9	6.9	8.2	5.5	7.7	2.7	3.3	2.1	1.8	14.3	100.0

(参考) n=3,048

(注) () は、奨学金受給者の割合の累計を示す。

「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

上記区分「希望するが申請しなかった」は、日本学生支援機構奨学金では「希望したが申請しなかった」、かつ、他の奨学金では「申請しなかった」と回答した者とした。

上記区分「必要ない」は、日本学生支援機構奨学金では「そもそも奨学金は必要なかった」、かつ、他の奨学金では「申請しなかった」と回答した者とした。

6-5表 設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況（大学院専門職学位課程）

(単位：%)

区分	希望及び受給の状況	家庭の年間収入															計		
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上			
国立	受給者	100.0	(20.6)	(26.8)	(36.6)	(46.4)	(60.3)	(67.5)	(74.7)	(81.4)	(87.1)	(93.3)	(95.4)	(96.9)	(97.9)	(100.0)			
	申請したが不採用	32.4	12.9	7.7	6.2	9.8	9.8	13.9	7.2	7.2	6.7	5.7	6.2	2.1	1.5	1.0	2.1	100.0	
	希望するが申請しなかった	1.8	27.3	9.1	18.2	-	9.1	9.1	18.2	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	必要ない	11.2	13.4	10.4	11.9	9.0	10.4	9.0	6.0	9.0	7.5	6.0	1.5	-	1.5	-	4.5	100.0	
公立	受給者	54.5	7.4	1.5	4.9	5.8	11.0	8.9	8.3	6.4	6.1	8.9	6.4	3.4	3.7	3.4	13.8	100.0	
	申請したが不採用	100.0	(44.5)	(44.5)	(55.6)	(77.8)	(88.9)	(88.9)	(88.9)	(88.9)	(88.9)	(88.9)	(88.9)	(88.9)	(88.9)	(100.0)			
	希望するが申請しなかった	27.3	33.4	11.1	-	11.1	22.2	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	100.0
	必要ない	3.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
私立	受給者	12.1	-	-	-	25.0	-	-	-	-	50.0	25.0	-	-	-	-	-	100.0	
	申請したが不採用	57.6	5.3	-	5.3	21.1	15.8	10.5	10.5	5.3	-	10.5	5.3	-	-	5.3	5.3	100.0	
	希望するが申請しなかった	100.0	(18.2)	(26.9)	(36.5)	(46.6)	(55.3)	(63.5)	(72.2)	(76.5)	(81.8)	(85.6)	(89.0)	(90.9)	(92.8)	(100.0)			
	必要ない	42.4	11.5	6.7	8.7	9.6	10.1	8.7	8.2	8.7	4.3	5.3	3.8	3.4	1.9	1.9	7.2	100.0	
平均	受給者	4.1	30.0	10.0	5.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	15.0	-	-	-	-	-	100.0	
	申請したが不採用	9.0	15.9	6.8	9.1	6.8	6.8	13.6	4.5	9.1	-	4.5	4.5	2.3	2.3	2.3	11.4	100.0	
	希望するが申請しなかった	44.5	10.1	2.3	5.0	6.4	7.8	11.5	9.2	5.5	6.0	8.7	1.8	6.0	2.3	1.4	16.1	100.0	
	必要ない	100.0	(20.0)	(27.4)	(37.1)	(47.4)	(58.3)	(65.9)	(73.7)	(78.9)	(84.2)	(88.9)	(91.6)	(93.3)	(94.8)	(100.0)			
平均	受給者	37.1	12.7	7.3	7.4	9.7	10.3	10.9	7.6	7.8	5.2	5.3	4.7	2.7	1.7	1.5	5.2	100.0	
	申請したが不採用	3.0	28.1	13.0	8.8	6.6	9.4	6.0	8.8	3.3	6.0	10.0	-	-	-	-	-	100.0	
	希望するが申請しなかった	10.2	13.9	8.5	10.2	8.7	8.5	10.6	5.1	8.6	6.1	6.2	2.7	1.0	1.8	1.0	7.2	100.0	
	必要ない	49.8	8.5	1.8	5.0	6.7	9.8	10.1	8.8	6.0	5.8	8.9	4.4	4.4	2.9	2.6	14.4	100.0	

(参考) n=1, 121

(注) () は、奨学金受給者の割合の累計を示す。

「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

上記区分「希望するが申請しなかった」は、日本学生支援機構奨学金では「希望したが申請しなかった」、かつ、他の奨学金では「申請しなかった」と回答した者とした。

上記区分「必要ない」は、日本学生支援機構奨学金では「そもそも奨学金は必要なかった」、かつ、他の奨学金では「申請しなかった」と回答した者とした。

7表 設置者別・奨学金の種類別学生数の割合

(単位：%)

区分			奨 学 金 の 種 類			
			日本学生支援機構	その他の奨学金	両 方	計
大 学	昼 間 部	国 立	84.5	8.1	7.4	100.0
		公 立	84.9	6.9	8.2	100.0
		私 立	84.3	7.1	8.6	100.0
		平 均	84.3	7.2	8.4	100.0
	夜 間 部	国 立	92.0	2.7	5.4	100.0
		公 立	90.3	2.5	7.2	100.0
		私 立	84.7	7.9	7.4	100.0
		平 均	87.1	6.1	6.8	100.0
短 期 大 学	昼 間 部	国 立
		公 立	89.0	5.5	5.4	100.0
		私 立	77.1	12.4	10.5	100.0
		平 均	77.7	12.0	10.3	100.0
	夜 間 部	国 立
		公 立	89.6	5.2	5.2	100.0
		私 立	92.9	5.2	1.9	100.0
		平 均	92.0	5.2	2.8	100.0
大 学 院	修 士 課 程	国 立	80.0	10.8	9.2	100.0
		公 立	80.3	10.5	9.2	100.0
		私 立	51.0	33.9	15.1	100.0
		平 均	69.9	18.8	11.3	100.0
	博 士 課 程	国 立	36.3	50.1	13.6	100.0
		公 立	52.9	33.7	13.4	100.0
		私 立	34.2	52.4	13.4	100.0
		平 均	36.8	49.7	13.5	100.0
	専 門 職 学 位 課 程	国 立	69.7	19.9	10.4	100.0
		公 立	33.5	60.0	6.5	100.0
		私 立	26.3	60.7	13.0	100.0
		平 均	42.1	46.1	11.8	100.0

(参考) 大学昼間部：n=8,004 大学夜間部：n=556 短期大学昼間部：n=2,406 短期大学夜間部：n=211

大学院修士課程：n=2,579 大学院博士課程：n=1,824 大学院専門職学位課程：n=519

(注) 大学院については、「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

8-1表 居住形態別・地域別片道通学時間（大学昼間部）

（単位：％）

区 分			0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上	計
国立	自宅	東京圏	3.2	5.9	5.1	30.4	34.0	16.6	4.7	100.0
		京阪神	1.1	4.9	3.9	27.5	31.3	26.1	5.3	100.0
		その他	3.6	10.3	13.4	32.8	20.5	14.6	4.8	100.0
		全 国	3.1	8.6	10.4	31.4	24.6	17.0	4.9	100.0
	学寮	東京圏	25.8	6.5	16.1	41.9	6.5	3.2	-	100.0
		京阪神	58.8	17.6	5.9	17.6	-	-	-	100.0
		その他	71.0	17.2	8.1	3.2	0.5	-	-	100.0
		全 国	65.1	16.0	8.9	8.6	1.1	0.4	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	45.2	35.7	7.9	7.9	2.4	0.8	-	100.0
		京阪神	41.3	35.2	11.7	8.9	1.8	1.1	-	100.0
		その他	60.1	31.7	6.0	1.8	0.3	0.0	0.0	100.0
		全 国	57.3	32.3	6.7	2.9	0.6	0.2	0.0	100.0
公立	自宅	東京圏	-	3.0	-	26.9	40.3	26.9	3.0	100.0
		京阪神	-	4.8	6.5	22.9	32.5	27.3	6.1	100.0
		その他	5.2	9.8	15.2	28.1	20.8	15.9	5.1	100.0
		全 国	4.1	8.7	13.1	27.2	23.6	18.2	5.1	100.0
	学寮	東京圏	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0
		京阪神	87.5	-	12.5	-	-	-	-	100.0
		その他	65.3	14.9	4.0	12.9	2.0	1.0	-	100.0
		全 国	66.4	13.6	4.5	12.7	1.8	0.9	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	23.6	47.2	19.8	8.5	0.9	-	-	100.0
		京阪神	44.5	36.6	14.6	4.3	-	-	-	100.0
		その他	50.2	35.7	9.8	3.4	0.5	0.2	0.2	100.0
		全 国	48.1	36.4	10.9	3.8	0.5	0.2	0.2	100.0
私立	自宅	東京圏	1.1	2.6	5.5	31.3	32.8	19.9	6.8	100.0
		京阪神	1.6	3.6	8.3	30.4	31.3	18.6	6.2	100.0
		その他	2.4	8.0	12.2	32.8	25.7	14.6	4.4	100.0
		全 国	1.6	4.7	8.5	31.7	29.9	17.7	5.8	100.0
	学寮	東京圏	67.6	14.2	8.1	8.4	0.9	0.6	0.3	100.0
		京阪神	49.6	33.9	10.4	6.1	-	-	-	100.0
		その他	68.7	23.9	5.2	1.9	0.4	-	-	100.0
		全 国	65.2	20.9	7.4	5.6	0.5	0.3	0.1	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	24.0	35.1	18.0	18.4	3.8	0.4	0.3	100.0
		京阪神	38.7	38.9	10.6	7.7	2.6	0.9	0.6	100.0
		その他	43.8	38.4	11.7	4.5	1.2	0.4	0.1	100.0
		全 国	35.6	37.3	13.8	10.2	2.4	0.5	0.2	100.0
平均	自宅	東京圏	1.2	2.7	5.5	31.3	32.9	19.8	6.7	100.0
		京阪神	1.5	3.7	7.9	30.0	31.3	19.5	6.2	100.0
		その他	2.8	8.5	12.6	32.5	24.4	14.7	4.5	100.0
		全 国	1.9	5.2	8.8	31.5	29.2	17.7	5.7	100.0
	学寮	東京圏	65.8	13.8	8.4	9.8	1.1	0.7	0.3	100.0
		京阪神	50.7	32.4	10.2	6.8	-	-	-	100.0
		その他	69.1	21.6	5.9	2.8	0.5	0.1	-	100.0
		全 国	65.2	19.9	7.6	6.2	0.7	0.3	0.1	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	25.1	35.4	17.5	17.7	3.6	0.4	0.3	100.0
		京阪神	39.5	38.0	11.0	7.8	2.3	0.9	0.4	100.0
		その他	51.1	35.4	9.2	3.3	0.8	0.2	0.1	100.0
		全 国	42.8	35.8	11.5	7.6	1.7	0.4	0.2	100.0

（参考）n=17,981

（注）「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

8-2表 居住形態別・地域別片道通学時間（短期大学昼間部）

（単位：％）

区 分			0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上	計
国立	自宅	東京圏
		京阪神
		その他
		全 国
	学寮	東京圏
		京阪神
		その他
		全 国
	下宿、 アパート、 その他	東京圏
		京阪神
		その他
		全 国
公立	自宅	東京圏	5.1	13.6	11.9	30.5	30.5	5.1	3.4	100.0
		京阪神	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	3.4	9.4	13.1	35.3	24.2	12.2	2.4	100.0
		全 国	3.5	9.7	13.0	34.9	24.7	11.7	2.5	100.0
	学寮	東京圏	-	-	-	-	-	-	-	-
		京阪神	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	57.4	25.7	12.9	3.0	1.0	-	-	100.0
		全 国	57.4	25.7	12.9	3.0	1.0	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	33.3	44.4	-	11.1	11.1	-	-	100.0
		京阪神	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	67.7	23.2	5.2	2.9	1.0	-	-	100.0
		全 国	67.2	23.5	5.1	3.0	1.2	-	-	100.0
私立	自宅	東京圏	1.7	4.0	7.9	40.9	29.9	11.9	3.7	100.0
		京阪神	3.1	5.7	9.7	38.2	24.8	14.3	4.2	100.0
		その他	2.7	10.0	16.5	38.5	21.2	8.7	2.4	100.0
		全 国	2.5	7.8	13.2	39.0	23.9	10.4	3.0	100.0
	学寮	東京圏	29.2	20.8	33.3	16.7	-	-	-	100.0
		京阪神	69.2	7.7	15.4	7.7	-	-	-	100.0
		その他	83.3	9.5	4.0	2.4	-	-	0.8	100.0
		全 国	74.2	11.0	9.2	4.9	-	-	0.6	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	15.1	22.6	24.7	30.1	7.5	-	-	100.0
		京阪神	27.3	44.2	15.6	9.1	2.6	1.3	-	100.0
		その他	45.0	34.2	11.1	6.0	3.0	0.3	0.3	100.0
		全 国	36.8	33.6	14.3	10.9	3.8	0.4	0.2	100.0
平均	自宅	東京圏	1.8	4.1	7.9	40.8	29.9	11.8	3.7	100.0
		京阪神	3.1	5.7	9.7	38.2	24.8	14.3	4.2	100.0
		その他	2.7	9.9	16.3	38.4	21.4	8.8	2.4	100.0
		全 国	2.6	7.9	13.2	38.9	23.9	10.5	3.0	100.0
	学寮	東京圏	29.2	20.8	33.3	16.7	-	-	-	100.0
		京阪神	69.2	7.7	15.4	7.7	-	-	-	100.0
		その他	81.2	10.8	4.7	2.4	0.1	-	0.7	100.0
		全 国	73.2	12.0	9.4	4.8	0.1	-	0.6	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	15.2	22.8	24.5	29.9	7.6	-	-	100.0
		京阪神	27.3	44.2	15.6	9.1	2.6	1.3	-	100.0
		その他	48.8	32.4	10.1	5.5	2.7	0.3	0.3	100.0
		全 国	40.3	32.4	13.2	10.0	3.5	0.4	0.2	100.0

（参考）n=4,605

（注）「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

8-3表 居住形態別・地域別片道通学時間（大学院修士課程）

（単位：％）

区 分		0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上	計	
国立	自宅	東京圏	1.6	3.8	7.5	31.2	37.1	11.8	7.0	100.0
		京阪神	3.4	9.8	7.4	25.5	23.5	23.5	6.9	100.0
		その他	3.5	13.6	17.6	31.6	18.4	9.3	6.0	100.0
		全 国	3.1	10.6	13.0	30.1	23.6	13.2	6.4	100.0
	学寮	東京圏	62.5	-	12.5	25.0	-	-	-	100.0
		京阪神	90.0	-	-	10.0	-	-	-	100.0
		その他	74.3	16.2	9.5	-	-	-	-	100.0
		全 国	74.0	12.0	9.0	5.0	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	38.2	27.8	17.4	11.1	2.8	2.1	0.7	100.0
		京阪神	36.6	46.4	9.5	4.2	1.6	1.0	0.7	100.0
		その他	48.3	38.8	8.5	3.8	0.4	0.1	0.2	100.0
		全 国	45.0	39.3	9.5	4.5	0.8	0.5	0.3	100.0
公立	自宅	東京圏	-	2.7	5.4	43.2	35.1	10.8	2.7	100.0
		京阪神	1.0	3.6	7.8	24.9	29.5	22.3	10.9	100.0
		その他	5.5	12.0	14.5	34.4	20.2	9.3	4.1	100.0
		全 国	3.7	8.7	11.7	31.9	24.2	13.6	6.2	100.0
	学寮	東京圏	50.0	-	-	50.0	-	-	-	100.0
		京阪神	96.6	3.4	-	-	-	-	-	100.0
		その他	72.2	16.7	-	11.1	-	-	-	100.0
		全 国	85.7	8.2	-	6.1	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	14.0	37.2	14.0	14.0	14.0	2.3	4.7	100.0
		京阪神	57.8	24.5	4.8	8.2	3.4	0.7	0.7	100.0
		その他	39.5	41.4	12.8	4.0	1.2	0.7	0.5	100.0
		全 国	42.1	37.0	10.9	5.7	2.6	0.8	0.8	100.0
私立	自宅	東京圏	1.4	3.2	8.5	29.2	30.8	19.6	7.3	100.0
		京阪神	-	3.5	9.0	24.3	36.5	22.7	3.9	100.0
		その他	2.6	13.2	12.2	26.7	28.4	12.2	4.6	100.0
		全 国	1.4	5.6	9.5	27.7	31.4	18.5	6.0	100.0
	学寮	東京圏	55.6	7.4	7.4	25.9	3.7	-	-	100.0
		京阪神	50.0	25.0	-	-	-	-	25.0	100.0
		その他	85.0	5.0	10.0	-	-	-	-	100.0
		全 国	66.7	7.8	7.8	13.7	2.0	-	2.0	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	25.3	27.2	18.3	21.5	5.1	2.2	0.5	100.0
		京阪神	29.4	32.2	14.0	18.2	4.2	1.4	0.7	100.0
		その他	33.9	42.2	16.1	5.0	1.8	-	0.9	100.0
		全 国	28.6	32.6	16.8	16.0	4.0	1.4	0.7	100.0
平均	自宅	東京圏	1.4	3.4	8.2	29.9	32.5	17.5	7.2	100.0
		京阪神	1.7	6.5	8.1	24.9	29.6	23.1	6.0	100.0
		その他	3.5	13.3	15.7	30.6	21.4	10.1	5.4	100.0
		全 国	2.3	8.1	11.2	29.0	27.4	15.8	6.2	100.0
	学寮	東京圏	58.6	4.0	9.6	25.8	2.0	-	-	100.0
		京阪神	86.3	4.9	-	5.1	-	-	3.7	100.0
		その他	75.9	14.5	9.1	0.5	-	-	-	100.0
		全 国	73.1	10.7	8.0	7.3	0.5	-	0.5	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	29.4	27.6	17.9	17.8	4.5	2.1	0.7	100.0
		京阪神	36.5	41.4	10.2	7.8	2.4	1.1	0.7	100.0
		その他	46.0	39.4	9.7	3.9	0.6	0.1	0.3	100.0
		全 国	40.9	37.5	11.4	7.3	1.7	0.7	0.4	100.0

（参考） n=5,855

（注）「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

8-4表 居住形態別・地域別片道通学時間（大学院博士課程）

（単位：％）

区 分		0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上	計	
国立	自宅	東京圏	2.3	2.7	8.0	28.9	28.5	14.4	15.2	100.0
		京阪神	8.2	17.9	13.1	23.0	16.2	10.3	11.3	100.0
		その他	11.3	25.1	17.2	19.3	8.8	4.5	13.9	100.0
		全 国	9.0	19.3	14.6	21.9	14.1	7.6	13.6	100.0
	学寮	東京圏	10.0	30.0	10.0	40.0	10.0	-	-	100.0
		京阪神	72.7	18.2	9.1	-	-	-	-	100.0
		その他	66.7	26.7	3.3	1.7	-	-	1.7	100.0
		全 国	60.5	25.9	4.9	6.2	1.2	-	1.2	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	30.1	33.1	14.5	16.9	3.0	1.8	0.6	100.0
		京阪神	32.4	41.7	12.0	10.0	1.9	1.0	1.0	100.0
		その他	37.5	34.7	12.5	7.0	1.5	1.3	5.4	100.0
		全 国	35.3	36.2	12.6	9.0	1.8	1.3	3.7	100.0
公立	自宅	東京圏	7.1	14.3	-	28.6	42.9	7.1	-	100.0
		京阪神	2.5	5.0	12.5	20.0	27.5	20.0	12.5	100.0
		その他	10.0	24.1	15.5	24.7	8.9	5.5	11.3	100.0
		全 国	9.0	21.4	14.5	24.3	12.5	7.2	11.0	100.0
	学寮	東京圏	-	-	-	-	-	-	-	-
		京阪神	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
		その他	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
		全 国	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	11.1	44.4	11.1	22.2	-	11.1	-	100.0
		京阪神	37.9	31.0	10.3	10.3	-	3.4	6.9	100.0
		その他	38.5	28.7	14.4	7.5	4.6	1.7	4.6	100.0
		全 国	37.3	29.7	13.7	8.5	3.8	2.4	4.7	100.0
私立	自宅	東京圏	4.4	9.1	11.2	34.3	23.1	10.9	7.0	100.0
		京阪神	3.2	9.2	15.5	23.5	21.1	11.6	15.9	100.0
		その他	9.2	20.0	17.5	22.5	12.6	4.9	13.2	100.0
		全 国	5.3	11.8	13.6	29.4	20.2	9.6	10.2	100.0
	学寮	東京圏	50.0	21.4	-	14.3	-	7.1	7.1	100.0
		京阪神	-	50.0	-	50.0	-	-	-	100.0
		その他	95.2	-	4.8	-	-	-	-	100.0
		全 国	69.2	12.8	2.6	10.3	-	2.6	2.6	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	22.1	23.5	19.0	22.1	9.1	2.5	1.7	100.0
		京阪神	26.0	32.9	20.5	10.3	4.1	2.7	3.4	100.0
		その他	32.2	30.8	16.8	11.1	1.0	1.9	6.3	100.0
		全 国	25.9	27.6	18.7	16.4	5.7	2.4	3.4	100.0
平均	自宅	東京圏	3.5	6.5	9.8	32.0	25.5	12.3	10.3	100.0
		京阪神	6.5	14.8	13.7	23.0	18.1	11.1	12.7	100.0
		その他	10.9	24.2	17.0	20.4	9.4	4.7	13.4	100.0
		全 国	7.9	17.2	14.3	24.3	15.8	8.2	12.4	100.0
	学寮	東京圏	26.4	26.5	5.9	29.5	5.9	2.9	2.9	100.0
		京阪神	65.6	20.7	6.9	6.8	-	-	-	100.0
		その他	71.3	22.4	3.5	1.4	-	-	1.4	100.0
		全 国	63.1	22.8	4.4	6.8	1.0	0.5	1.5	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	25.8	28.4	16.7	19.6	6.0	2.3	1.1	100.0
		京阪神	31.4	39.7	13.5	10.1	2.3	1.4	1.6	100.0
		その他	37.1	33.8	13.1	7.4	1.8	1.4	5.4	100.0
		全 国	33.5	34.1	13.9	10.5	2.7	1.6	3.7	100.0

（参考） n=5,357

（注）「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

8-5表 居住形態別・地域別片道通学時間（大学院専門職学位課程）

（単位：％）

区 分		0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上	計	
国立	自宅	東京圏	2.5	6.3	10.1	30.4	31.6	15.2	3.8	100.0
		京阪神	-	3.1	8.2	31.6	26.5	22.4	8.2	100.0
		その他	6.8	11.2	13.3	41.2	16.7	4.8	6.1	100.0
		全 国	4.7	8.7	11.7	37.4	21.2	10.2	6.2	100.0
	学寮	東京圏	50.0	-	33.3	16.7	-	-	-	100.0
		京阪神	75.0	25.0	-	-	-	-	-	100.0
		その他	77.4	11.3	8.1	3.2	-	-	-	100.0
		全 国	75.0	11.8	9.2	3.9	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	26.3	31.6	21.1	18.4	-	-	2.6	100.0
		京阪神	38.6	42.9	8.6	1.4	5.7	1.4	1.4	100.0
		その他	47.4	32.9	10.8	5.2	2.3	0.5	0.9	100.0
		全 国	43.0	34.9	11.5	5.9	2.8	0.6	1.2	100.0
公立	自宅	東京圏	-	-	-	-	-	-	-	-
		京阪神	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0
		その他	17.0	14.9	14.9	38.3	10.6	2.1	2.1	100.0
		全 国	16.7	14.6	14.6	37.5	12.5	2.1	2.1	100.0
	学寮	東京圏	-	-	-	-	-	-	-	-
		京阪神	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
		その他	-	-	-	-	-	-	-	-
		全 国	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	-	-	-	-	-	-	-	-
		京阪神	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0
		その他	11.1	44.4	22.2	11.1	11.1	-	-	100.0
		全 国	10.0	40.0	20.0	10.0	20.0	-	-	100.0
私立	自宅	東京圏	1.9	3.2	10.0	46.1	24.5	11.3	3.0	100.0
		京阪神	1.7	6.8	11.4	39.2	28.4	9.1	3.4	100.0
		その他	2.9	13.7	16.7	33.3	16.7	8.8	7.8	100.0
		全 国	2.0	5.3	11.1	43.0	24.4	10.5	3.7	100.0
	学寮	東京圏	50.0	14.3	21.4	14.3	-	-	-	100.0
		京阪神	50.0	-	50.0	-	-	-	-	100.0
		その他	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
		全 国	61.9	9.5	19.0	9.5	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	10.3	16.8	23.4	39.3	8.4	0.9	0.9	100.0
		京阪神	22.2	34.9	19.0	17.5	3.2	3.2	-	100.0
		その他	37.9	27.6	13.8	6.9	10.3	3.4	-	100.0
		全 国	18.1	24.1	20.6	27.6	7.0	2.0	0.5	100.0
平均	自宅	東京圏	2.0	3.5	10.0	44.4	25.3	11.7	3.1	100.0
		京阪神	1.2	5.6	10.3	36.7	28.1	13.2	4.9	100.0
		その他	7.1	12.3	14.4	38.8	15.9	5.5	6.1	100.0
		全 国	3.4	6.8	11.4	41.0	22.9	10.1	4.4	100.0
	学寮	東京圏	50.0	10.6	24.5	14.9	-	-	-	100.0
		京阪神	84.7	9.5	5.8	-	-	-	-	100.0
		その他	79.4	10.3	7.3	2.9	-	-	-	100.0
		全 国	74.4	10.2	10.6	4.8	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	13.9	20.1	22.8	34.6	6.5	0.7	1.3	100.0
		京阪神	29.7	38.4	13.9	9.7	5.2	2.3	0.7	100.0
		その他	44.5	32.7	11.7	5.7	3.8	0.9	0.8	100.0
		全 国	31.7	30.5	15.5	15.2	5.0	1.2	0.9	100.0

（参考） n=1,963

（注）「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

9-1表 設置者別・週間平均生活時間（大学昼間部）

（単位：％）

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学の授業 (オンライン授業の視聴時間を含む)	国立	9.7	18.5	11.7	15.5	21.1	14.0	5.6	3.8	0.2	100.0
	公立	7.4	17.3	11.9	15.7	20.3	15.2	7.4	4.5	0.3	100.0
	私立	2.9	19.6	15.1	17.7	21.0	13.6	5.3	4.3	0.5	100.0
	平均	4.2	19.3	14.3	17.2	21.0	13.8	5.5	4.2	0.4	100.0
大学の授業 の予習・復習、課題など	国立	12.4	33.0	25.4	14.9	6.8	3.4	1.4	2.0	0.6	100.0
	公立	10.6	37.9	26.5	13.4	5.5	2.5	1.3	1.7	0.5	100.0
	私立	6.6	42.6	26.5	11.9	5.6	3.1	1.3	1.8	0.6	100.0
	平均	7.8	40.8	26.3	12.5	5.8	3.1	1.3	1.9	0.6	100.0
卒業論文・ 卒業研究	国立	68.5	7.5	4.5	3.0	3.0	3.0	2.4	7.7	0.4	100.0
	公立	70.4	9.4	5.7	3.9	2.4	2.0	1.6	4.0	0.6	100.0
	私立	74.3	12.6	4.8	2.7	1.7	1.0	0.5	1.5	0.9	100.0
	平均	73.1	11.6	4.8	2.8	2.0	1.4	0.9	2.6	0.8	100.0
大学の授業 以外の学習	国立	37.2	39.4	11.3	4.2	2.4	1.5	0.7	2.3	0.9	100.0
	公立	40.5	37.0	10.5	4.7	2.6	1.4	0.7	2.1	0.5	100.0
	私立	42.4	37.9	10.0	3.7	2.0	1.0	0.4	1.6	0.9	100.0
	平均	41.4	38.1	10.2	3.9	2.1	1.1	0.5	1.8	0.9	100.0
部活動・ サークル活動	国立	52.6	24.2	13.4	5.3	2.4	0.9	0.5	0.4	0.4	100.0
	公立	62.0	23.9	8.5	3.0	0.7	0.5	0.3	0.4	0.7	100.0
	私立	63.5	16.5	6.6	5.2	3.1	2.2	1.0	1.3	0.5	100.0
	平均	61.6	18.2	7.8	5.1	2.9	1.9	0.9	1.1	0.5	100.0
アルバイト・定職	国立	28.9	11.5	19.1	20.5	12.6	4.2	1.5	1.3	0.4	100.0
	公立	25.9	8.8	18.3	21.3	14.8	5.8	2.0	2.2	0.8	100.0
	私立	27.8	9.7	16.9	19.4	15.2	6.2	2.0	2.3	0.5	100.0
	平均	27.9	9.9	17.3	19.7	14.7	5.9	1.9	2.1	0.5	100.0
就職活動	国立	86.2	8.7	2.5	1.1	0.4	0.3	0.1	0.3	0.4	100.0
	公立	82.2	11.7	2.9	1.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.9	100.0
	私立	78.6	13.9	4.1	1.4	0.7	0.2	0.1	0.3	0.7	100.0
	平均	80.1	12.9	3.7	1.3	0.6	0.2	0.1	0.3	0.6	100.0
娯楽・交友	国立	2.4	23.6	26.7	19.6	11.4	5.6	2.7	7.6	0.5	100.0
	公立	2.9	27.2	28.1	18.2	9.3	4.8	2.4	6.3	0.8	100.0
	私立	4.4	29.0	27.0	17.0	9.1	4.6	2.0	6.2	0.7	100.0
	平均	4.0	28.0	27.0	17.5	9.5	4.8	2.1	6.4	0.7	100.0

(参考) n=18,016

9-2表 設置者別・週間平均生活時間（短期大学昼間部）

(単位：%)

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学の授業 (オンライン 授業の視聴時 間を含む)	国立
	公立	2.0	12.9	16.1	15.6	21.1	17.2	7.8	6.8	0.5	100.0
	私立	2.3	8.8	15.9	13.8	16.9	17.2	12.5	11.3	1.4	100.0
	平均	2.3	9.0	15.9	13.9	17.1	17.2	12.2	11.0	1.3	100.0
大学の授業の 予習・復習、 課題など	国立
	公立	2.8	55.2	25.2	8.5	3.9	2.2	0.6	1.1	0.6	100.0
	私立	5.0	57.3	20.8	8.9	4.0	1.8	0.4	1.0	0.7	100.0
	平均	4.9	57.2	21.1	8.9	4.0	1.8	0.4	1.0	0.7	100.0
卒業論文・ 卒業研究	国立
	公立	59.8	25.2	7.6	3.2	1.3	0.8	0.5	0.9	0.5	100.0
	私立	73.5	18.4	3.9	1.4	0.7	0.3	0.2	0.5	1.1	100.0
	平均	72.9	18.7	4.1	1.5	0.7	0.3	0.2	0.5	1.1	100.0
大学の授業 以外の学習	国立
	公立	48.2	36.5	8.5	2.3	1.6	1.1	0.5	0.5	0.9	100.0
	私立	52.7	35.3	6.8	2.2	1.3	0.3	0.3	0.3	0.8	100.0
	平均	52.5	35.3	6.8	2.2	1.3	0.4	0.3	0.4	0.8	100.0
部活動・ サークル活動	国立
	公立	81.5	15.0	2.6	0.5	0.1	-	-	-	0.4	100.0
	私立	83.8	11.9	2.4	0.8	0.2	0.2	0.1	0.0	0.5	100.0
	平均	83.7	12.0	2.4	0.8	0.2	0.2	0.1	0.0	0.5	100.0
アルバイト・ 定職	国立
	公立	38.6	8.4	15.8	17.4	12.1	4.7	1.6	1.2	0.1	100.0
	私立	30.2	10.0	17.4	19.1	13.1	5.7	2.4	1.8	0.3	100.0
	平均	30.6	9.9	17.4	19.0	13.0	5.7	2.4	1.8	0.3	100.0
就職活動	国立
	公立	79.0	16.0	3.4	0.5	0.2	0.1	-	-	0.8	100.0
	私立	70.2	23.4	3.9	0.9	0.3	0.1	-	0.3	0.9	100.0
	平均	70.6	23.1	3.9	0.9	0.2	0.1	-	0.3	0.9	100.0
娯楽・交友	国立
	公立	3.9	32.9	26.0	14.8	8.1	4.7	2.3	6.7	0.5	100.0
	私立	4.1	33.1	27.4	16.1	7.5	4.0	2.3	4.6	1.0	100.0
	平均	4.1	33.1	27.4	16.1	7.5	4.0	2.3	4.7	1.0	100.0

(参考) n=4,655

9-3表 設置者別・週間平均生活時間（大学院修士課程）

(単位：%)

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学内での授業、研究、実習、実験（オンライン授業の視聴時間を含む）	国立	1.7	11.1	11.6	7.8	7.9	6.5	8.1	44.6	0.6	100.0
	公立	1.4	14.7	16.3	8.9	8.1	8.1	6.1	36.0	0.4	100.0
	私立	2.1	15.1	19.1	12.6	9.1	7.8	6.3	27.5	0.4	100.0
	平均	1.8	12.7	14.5	9.6	8.4	7.1	7.4	38.1	0.5	100.0
大学外での学習、研究	国立	23.8	29.1	17.6	8.9	6.5	3.8	2.4	6.7	1.3	100.0
	公立	22.8	29.1	16.8	9.3	8.7	4.0	2.0	5.2	2.1	100.0
	私立	14.8	26.0	18.9	13.1	8.1	6.1	3.2	8.1	1.8	100.0
	平均	20.6	28.0	18.0	10.3	7.2	4.6	2.7	7.1	1.5	100.0
ティーチングアシスタント（TA）	国立	64.4	27.7	5.3	0.8	0.2	0.1	0.0	-	1.5	100.0
	公立	65.4	23.7	5.9	1.0	0.1	0.2	0.1	0.1	3.6	100.0
	私立	55.7	28.6	9.0	1.9	0.8	0.0	0.0	0.1	3.8	100.0
	平均	61.4	27.7	6.6	1.2	0.4	0.1	0.0	0.0	2.4	100.0
リサーチアシスタント（RA）	国立	93.0	2.3	1.0	0.6	0.4	0.2	0.1	0.2	2.3	100.0
	公立	92.2	2.0	0.5	0.3	0.2	0.1	-	0.1	4.7	100.0
	私立	92.6	1.6	0.4	0.3	0.0	0.1	0.0	0.2	4.7	100.0
	平均	92.8	2.0	0.8	0.5	0.3	0.2	0.1	0.2	3.3	100.0
アルバイト・定職（TA・RAを除く）	国立	38.7	13.5	19.3	12.4	6.4	2.7	1.2	4.6	1.2	100.0
	公立	32.4	11.0	17.1	13.0	6.9	3.3	1.7	12.6	2.1	100.0
	私立	37.5	11.0	15.3	9.6	7.5	2.6	1.6	13.4	1.3	100.0
	平均	37.8	12.5	17.7	11.5	6.8	2.7	1.4	8.2	1.3	100.0
就職活動	国立	57.4	23.8	10.1	4.3	1.7	0.4	0.4	0.4	1.7	100.0
	公立	62.7	20.9	7.4	3.6	0.6	0.3	0.2	0.6	3.6	100.0
	私立	61.9	22.1	6.0	3.1	1.5	0.8	0.2	0.9	3.5	100.0
	平均	59.3	23.0	8.5	3.8	1.5	0.5	0.3	0.6	2.4	100.0
娯楽・交友	国立	4.0	26.7	25.1	16.8	9.6	6.0	2.8	7.4	1.6	100.0
	公立	6.3	30.3	27.2	15.6	7.0	3.3	2.6	4.7	2.9	100.0
	私立	6.1	32.1	27.7	13.9	7.4	3.8	2.0	3.8	3.0	100.0
	平均	4.9	28.8	26.1	15.7	8.7	5.1	2.5	6.0	2.2	100.0

(参考) n=5,865

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計を含む。

9-4表 設置者別・週間平均生活時間（大学院博士課程）

(単位：%)

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学内での授業、研究、実習、実験（オンライン授業の視聴時間を含む）	国立	10.4	19.9	9.3	5.0	4.8	4.8	4.7	40.1	1.0	100.0
	公立	10.1	29.7	14.1	6.2	6.4	4.8	3.7	23.9	1.2	100.0
	私立	8.4	31.1	12.8	6.8	5.7	5.1	4.4	24.3	1.3	100.0
	平均	9.9	23.4	10.5	5.6	5.2	4.9	4.5	35.0	1.1	100.0
大学外での学習、研究	国立	25.4	21.7	15.4	9.3	5.7	4.0	3.1	13.3	2.2	100.0
	公立	26.5	21.4	16.6	10.6	5.7	6.0	1.4	9.7	2.1	100.0
	私立	20.8	22.2	16.0	10.0	7.9	5.1	2.8	12.7	2.5	100.0
	平均	24.3	21.8	15.6	9.5	6.3	4.4	2.9	12.9	2.2	100.0
ティーチングアシスタント（TA）	国立	74.7	16.6	3.5	0.7	0.5	0.1	0.0	0.1	3.8	100.0
	公立	77.4	14.5	3.5	0.5	0.4	0.4	-	-	3.4	100.0
	私立	69.2	15.2	6.6	2.2	0.8	0.2	0.2	0.4	5.3	100.0
	平均	73.4	16.1	4.3	1.1	0.6	0.2	0.1	0.2	4.1	100.0
リサーチアシスタント（RA）	国立	70.4	9.4	6.7	4.4	3.0	1.0	0.5	1.3	3.3	100.0
	公立	80.7	6.7	4.8	1.9	0.5	0.4	0.4	0.4	4.2	100.0
	私立	78.2	6.0	3.9	1.7	2.4	0.4	0.3	1.2	5.7	100.0
	平均	73.1	8.4	5.9	3.5	2.7	0.8	0.5	1.2	4.0	100.0
アルバイト・定職（TA・RAを除く）	国立	39.0	6.0	8.8	6.8	6.2	3.6	3.4	24.2	2.2	100.0
	公立	28.1	4.8	7.4	4.4	6.9	3.5	3.5	39.2	2.1	100.0
	私立	26.7	6.3	12.4	7.0	6.9	4.7	2.9	30.3	2.8	100.0
	平均	35.1	6.0	9.6	6.7	6.4	3.9	3.3	26.8	2.3	100.0
就職活動	国立	85.8	7.8	1.9	0.3	0.2	0.1	0.0	0.3	3.6	100.0
	公立	89.8	4.9	0.7	0.5	0.2	-	-	0.2	3.7	100.0
	私立	87.6	4.2	1.3	0.9	0.2	0.2	-	0.3	5.2	100.0
	平均	86.5	6.7	1.7	0.5	0.2	0.1	0.0	0.3	4.0	100.0
娯楽・交友	国立	9.5	30.2	24.5	14.8	7.7	3.6	2.2	4.4	3.2	100.0
	公立	11.5	37.3	24.4	12.2	5.3	3.0	0.9	2.8	2.7	100.0
	私立	11.8	34.5	24.6	12.2	4.9	3.1	1.5	2.5	4.9	100.0
	平均	10.2	31.8	24.5	14.0	6.8	3.4	2.0	3.8	3.6	100.0

(参考) n=5,386

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計を含む。

9-5表 設置者別・週間平均生活時間（大学院専門職学位課程）

（単位：％）

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学内での授業、研究、実習、実験（オンライン授業の視聴時間を含む）	国立	2.8	12.1	19.3	22.9	15.9	7.2	4.9	14.2	0.7	100.0
	公立	-	10.6	36.4	30.3	6.1	4.5	4.5	7.6	-	100.0
	私立	0.9	24.4	30.5	21.4	11.4	3.8	2.0	5.1	0.4	100.0
	平均	1.6	19.0	26.4	22.3	13.0	5.2	3.3	8.8	0.5	100.0
大学外での学習、研究	国立	8.7	16.2	19.2	11.9	11.2	7.8	5.9	16.7	2.4	100.0
	公立	9.1	19.7	19.7	18.2	13.6	3.0	7.6	4.5	4.5	100.0
	私立	7.2	15.2	23.4	17.9	11.5	5.9	3.7	11.9	3.2	100.0
	平均	7.9	15.8	21.6	15.6	11.5	6.5	4.7	13.5	2.9	100.0
ティーチングアシスタント（TA）	国立	82.7	9.3	0.9	0.1	0.1	0.1	-	0.1	6.6	100.0
	公立	86.4	7.6	-	-	-	-	-	-	6.1	100.0
	私立	85.9	2.6	0.3	-	0.2	-	-	-	10.9	100.0
	平均	84.7	5.4	0.5	0.0	0.2	0.0	-	0.0	9.0	100.0
リサーチアシスタント（RA）	国立	91.6	1.2	0.2	-	-	0.1	-	-	6.9	100.0
	公立	87.9	4.5	-	-	-	-	-	-	7.6	100.0
	私立	86.5	1.8	0.3	0.1	0.1	-	-	-	11.1	100.0
	平均	88.6	1.7	0.3	0.1	0.1	0.0	-	-	9.3	100.0
アルバイト・定職（TA・RAを除く）	国立	46.3	8.2	12.0	7.8	4.8	2.6	0.9	12.4	4.9	100.0
	公立	22.7	10.6	3.0	1.5	-	1.5	1.5	57.6	1.5	100.0
	私立	34.4	4.4	5.2	2.2	1.5	1.0	1.2	45.0	5.2	100.0
	平均	38.6	6.1	7.8	4.4	2.7	1.6	1.1	32.7	5.0	100.0
就職活動	国立	84.7	6.2	1.4	0.7	0.1	0.1	-	0.5	6.3	100.0
	公立	86.4	4.5	1.5	1.5	-	-	-	-	6.1	100.0
	私立	79.9	6.6	1.4	0.7	0.3	0.1	-	0.4	10.7	100.0
	平均	82.1	6.4	1.4	0.7	0.2	0.1	-	0.4	8.8	100.0
娯楽・交友	国立	8.2	29.3	25.4	15.9	7.7	3.3	1.5	3.8	4.8	100.0
	公立	9.1	37.9	31.8	1.5	12.1	-	1.5	1.5	4.5	100.0
	私立	8.9	37.5	27.3	9.6	4.7	2.2	0.9	1.4	7.6	100.0
	平均	8.6	34.3	26.8	11.7	6.1	2.6	1.1	2.3	6.4	100.0

（参考）n=1,967

（注）「配偶者あり」と回答した者も集計を含む。

10-1表 設置者別・大学の学生支援体制への満足度（大学昼間部）

(単位：%)

区分		利用したことがある				利用したことがない	無回答	計
		不満	やや不満	やや満足	満足			
図書館・自習室などの学習支援施設	国立	3.6	11.7	41.0	33.0	10.7	0.1	100.0
	公立	2.8	11.5	41.2	32.8	11.8	0.0	100.0
	私立	3.2	8.7	36.7	33.0	18.5	0.0	100.0
	平均	3.2	9.3	37.6	32.9	16.8	0.1	100.0
キャリアセンターなどでの就職・進路への支援	国立	1.8	6.0	17.8	7.3	67.0	-	100.0
	公立	2.0	7.3	20.9	9.9	59.7	0.1	100.0
	私立	2.3	6.5	22.6	14.1	54.4	0.1	100.0
	平均	2.2	6.4	21.7	12.8	56.8	0.1	100.0
学習・生活面でのカウンセリング	国立	1.9	6.0	15.8	7.3	69.0	0.1	100.0
	公立	1.8	6.2	17.4	8.6	66.0	0.1	100.0
	私立	2.4	6.2	19.2	10.6	61.4	0.1	100.0
	平均	2.3	6.2	18.5	10.0	62.9	0.1	100.0
奨学金等の経済的支援に関する情報提供	国立	2.3	10.0	29.0	14.3	44.3	0.1	100.0
	公立	1.8	8.0	33.1	20.1	37.0	0.0	100.0
	私立	2.8	9.3	28.5	17.9	41.3	0.1	100.0
	平均	2.7	9.3	28.8	17.4	41.6	0.1	100.0

(参考) n=18,016

10-2表 設置者別・大学の学生支援体制への満足度（短期大学昼間部）

(単位：%)

区分		利用したことがある				利用したことがない	無回答	計
		不満	やや不満	やや満足	満足			
図書館・自習室などの学習支援施設	国立
	公立	0.9	7.1	35.9	48.0	8.2	-	100.0
	私立	1.5	6.3	31.9	40.6	19.6	0.1	100.0
	平均	1.5	6.3	32.0	41.0	19.0	0.1	100.0
キャリアセンターなどでの就職・進路への支援	国立
	公立	1.8	7.2	31.1	28.2	31.7	-	100.0
	私立	1.4	5.6	25.7	31.2	35.9	0.2	100.0
	平均	1.4	5.7	26.0	31.0	35.7	0.2	100.0
学習・生活面でのカウンセリング	国立
	公立	1.6	6.7	21.9	13.5	56.4	0.1	100.0
	私立	1.3	5.3	23.9	19.8	49.6	0.1	100.0
	平均	1.3	5.4	23.8	19.5	50.0	0.1	100.0
奨学金等の経済的支援に関する情報提供	国立
	公立	1.2	7.2	30.7	28.3	32.5	0.1	100.0
	私立	1.4	6.5	27.6	29.4	34.8	0.3	100.0
	平均	1.3	6.6	27.8	29.4	34.7	0.3	100.0

(参考) n=4,655

10-3表 設置者別・大学の学生支援体制への満足度（大学院修士課程）

(単位：%)

区分		利用したことがある				利用したことがない	無回答	計
		不満	やや不満	やや満足	満足			
図書館・自習室などの学習支援施設	国立	3.3	12.7	40.8	33.5	9.5	0.1	100.0
	公立	4.7	15.4	41.9	30.5	7.2	0.2	100.0
	私立	4.9	12.9	37.5	35.6	9.0	0.0	100.0
	平均	4.0	12.9	39.8	34.1	9.2	0.1	100.0
キャリアセンターなどでの就職・進路への支援	国立	2.4	9.7	24.8	10.5	52.5	0.1	100.0
	公立	3.0	10.4	24.0	14.2	48.4	0.1	100.0
	私立	3.7	10.4	25.3	14.8	45.8	0.0	100.0
	平均	2.9	9.9	24.9	12.3	49.9	0.1	100.0
学習・生活面でのカウンセリング	国立	2.5	6.5	16.7	8.1	66.0	0.1	100.0
	公立	2.1	8.1	17.6	10.4	61.7	0.1	100.0
	私立	3.0	7.1	16.6	12.4	60.7	0.0	100.0
	平均	2.7	6.8	16.7	9.8	63.9	0.1	100.0
奨学金等の経済的支援に関する情報提供	国立	3.7	13.2	29.4	15.3	38.3	0.2	100.0
	公立	2.5	11.6	29.7	19.6	36.6	0.1	100.0
	私立	4.1	12.9	29.8	18.9	34.3	0.1	100.0
	平均	3.8	12.9	29.5	16.8	36.8	0.1	100.0

(参考) n=5,865

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

10-4表 設置者別・大学の学生支援体制への満足度（大学院博士課程）

(単位：%)

区分		利用したことがある				利用したことがない	無回答	計
		不満	やや不満	やや満足	満足			
図書館・自習室などの学習支援施設	国立	3.7	11.5	34.5	29.3	21.0	0.0	100.0
	公立	6.7	18.0	35.2	24.9	15.2	-	100.0
	私立	5.0	13.3	33.3	33.5	14.7	0.1	100.0
	平均	4.2	12.4	34.3	30.0	19.0	0.1	100.0
キャリアセンターなどでの就職・進路への支援	国立	2.8	5.6	12.1	5.1	74.3	-	100.0
	公立	4.8	5.5	11.0	5.3	73.5	-	100.0
	私立	3.8	5.9	11.1	6.8	72.1	0.3	100.0
	平均	3.2	5.7	11.8	5.6	73.7	0.1	100.0
学習・生活面でのカウンセリング	国立	3.4	5.5	12.8	6.5	71.8	-	100.0
	公立	4.6	5.5	11.8	5.7	72.4	-	100.0
	私立	3.6	6.3	14.2	10.1	65.7	0.1	100.0
	平均	3.5	5.7	13.1	7.4	70.3	0.0	100.0
奨学金等の経済的支援に関する情報提供	国立	4.3	13.5	25.5	13.0	43.6	0.0	100.0
	公立	5.7	10.1	24.9	12.0	47.3	-	100.0
	私立	5.7	11.5	23.6	17.7	41.4	0.1	100.0
	平均	4.7	12.8	25.0	14.1	43.3	0.1	100.0

(参考) n=5,386

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

10-5表 設置者別・大学の学生支援体制への満足度 (大学院専門職学位課程)

(単位：%)

区分		利用したことがある				利用したことがない	無回答	計
		不満	やや不満	やや満足	満足			
図書館・自習室などの学習支援施設	国立	3.1	11.9	38.0	33.6	13.5	-	100.0
	公立	9.1	7.6	27.3	27.3	28.8	-	100.0
	私立	4.5	13.7	28.7	33.5	19.7	-	100.0
	平均	4.1	12.7	32.3	33.3	17.6	-	100.0
キャリアセンターなどでの就職・進路への支援	国立	2.3	4.3	14.4	10.7	68.4	-	100.0
	公立	3.0	1.5	4.5	7.6	83.3	-	100.0
	私立	1.6	5.0	10.4	5.9	77.0	-	100.0
	平均	2.0	4.6	11.7	7.9	73.9	-	100.0
学習・生活面でのカウンセリング	国立	2.4	6.1	19.1	10.2	62.0	0.1	100.0
	公立	1.5	3.0	12.1	10.6	72.7	-	100.0
	私立	2.0	5.8	20.7	18.1	53.3	-	100.0
	平均	2.2	5.8	19.8	14.7	57.5	0.0	100.0
奨学金等の経済的支援に関する情報提供	国立	2.6	8.7	20.9	13.3	54.1	0.2	100.0
	公立	1.5	3.0	16.7	22.7	56.1	-	100.0
	私立	2.7	7.8	20.0	27.1	42.2	0.2	100.0
	平均	2.6	8.0	20.2	21.6	47.4	0.2	100.0

(参考) n=1,967

(注) 「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

11-1表 設置者別・学生の不安や悩み（大学昼間部）

(単位：%)

区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
授業の内容についていっていない	国立	4.5	27.9	39.3	28.3	-	100.0
	公立	3.1	27.3	41.4	28.1	0.1	100.0
	私立	4.3	28.8	40.9	25.9	0.1	100.0
	平均	4.3	28.6	40.7	26.4	0.1	100.0
卒業後にやりたいことがみつからない	国立	12.9	28.3	30.0	28.8	-	100.0
	公立	12.5	28.4	30.3	28.7	0.1	100.0
	私立	14.0	28.3	28.4	29.2	0.1	100.0
	平均	13.7	28.3	28.8	29.1	0.0	100.0
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	国立	28.3	38.4	16.2	17.2	-	100.0
	公立	31.6	37.7	14.3	16.4	0.1	100.0
	私立	34.1	37.1	13.8	14.9	0.1	100.0
	平均	33.0	37.4	14.2	15.3	0.1	100.0
経済的に勉強を続けることが難しい	国立	1.4	9.1	34.6	54.8	0.1	100.0
	公立	1.1	9.3	36.3	53.3	0.0	100.0
	私立	2.1	12.0	38.4	47.5	0.1	100.0
	平均	1.9	11.4	37.6	49.0	0.1	100.0
学内の友人関係の悩みがある	国立	3.1	11.7	33.4	51.8	-	100.0
	公立	2.3	11.8	34.4	51.4	0.1	100.0
	私立	2.9	11.4	30.8	54.9	0.0	100.0
	平均	2.9	11.5	31.4	54.2	0.0	100.0

(参考) n=18,016

11-2表 設置者別・学生の不安や悩み（短期大学昼間部）

(単位：%)

区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
授業の内容についていっていない	国立
	公立	1.9	26.2	46.6	25.2	0.1	100.0
	私立	3.0	27.7	44.8	24.5	0.0	100.0
	平均	3.0	27.6	44.9	24.5	0.0	100.0
卒業後にやりたいことがみつからない	国立
	公立	12.0	30.6	31.3	26.0	0.1	100.0
	私立	7.9	20.3	31.2	40.6	-	100.0
	平均	8.1	20.8	31.2	39.9	0.0	100.0
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	国立
	公立	37.2	32.3	13.4	17.1	0.1	100.0
	私立	24.8	36.0	17.0	22.1	0.1	100.0
	平均	25.4	35.8	16.9	21.9	0.1	100.0
経済的に勉強を続けることが難しい	国立
	公立	1.8	10.1	37.3	50.5	0.1	100.0
	私立	1.8	9.4	36.8	51.9	0.1	100.0
	平均	1.8	9.5	36.8	51.8	0.1	100.0
学内の友人関係の悩みがある	国立
	公立	1.7	11.4	33.4	53.3	0.1	100.0
	私立	2.7	10.6	30.7	55.9	0.0	100.0
	平均	2.7	10.7	30.8	55.8	0.0	100.0

(参考) n=4,655

1 1 - 3 表 設置者別・学生の不安や悩み（大学院修士課程）

(単位：%)

区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
授業の内容についていっていない	国立	2.0	15.4	38.5	44.0	0.0	100.0
	公立	2.4	15.3	37.3	44.8	0.2	100.0
	私立	2.3	17.4	37.7	42.6	0.0	100.0
	平均	2.1	16.1	38.2	43.6	0.1	100.0
卒業後にやりたいことがみつからない	国立	6.0	20.3	30.4	43.3	0.0	100.0
	公立	6.3	18.8	28.8	46.0	0.2	100.0
	私立	5.8	19.6	27.7	46.9	-	100.0
	平均	5.9	20.0	29.4	44.7	0.0	100.0
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	国立	23.4	24.7	14.4	37.4	0.1	100.0
	公立	20.3	23.3	15.7	40.4	0.2	100.0
	私立	24.6	26.0	14.4	34.9	0.1	100.0
	平均	23.6	25.1	14.5	36.7	0.1	100.0
経済的に勉強を続けることが難しい	国立	3.3	13.1	28.2	55.4	-	100.0
	公立	3.8	14.1	30.5	51.3	0.3	100.0
	私立	4.2	15.5	32.4	47.7	0.1	100.0
	平均	3.6	14.0	29.9	52.4	0.1	100.0
学内の友人関係の悩みがある	国立	2.3	8.1	25.7	63.9	0.0	100.0
	公立	2.1	6.9	27.0	63.8	0.2	100.0
	私立	2.2	9.4	24.2	64.1	0.0	100.0
	平均	2.2	8.5	25.3	64.0	0.1	100.0

(参考) n=5,865

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

1 1 - 4 表 設置者別・学生の不安や悩み（大学院博士課程）

(単位：%)

区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
授業の内容についていっていない	国立	2.7	10.8	29.1	57.3	0.1	100.0
	公立	2.5	15.2	32.7	49.3	0.4	100.0
	私立	3.0	13.7	29.4	53.7	0.2	100.0
	平均	2.7	11.8	29.4	55.9	0.1	100.0
卒業後にやりたいことがみつからない	国立	3.6	13.1	25.6	57.7	0.0	100.0
	公立	2.8	13.4	25.1	58.5	0.2	100.0
	私立	4.0	11.3	23.8	60.7	0.1	100.0
	平均	3.6	12.7	25.1	58.6	0.1	100.0
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	国立	21.5	22.3	15.5	40.6	0.1	100.0
	公立	13.3	19.1	18.4	49.3	-	100.0
	私立	17.3	20.0	16.5	45.9	0.3	100.0
	平均	19.8	21.5	16.0	42.5	0.1	100.0
経済的に勉強を続けることが難しい	国立	5.7	17.1	28.1	49.0	0.0	100.0
	公立	4.8	15.9	26.1	53.0	0.2	100.0
	私立	6.7	20.0	27.1	46.1	-	100.0
	平均	5.9	17.8	27.7	48.6	0.0	100.0
学内の友人関係の悩みがある	国立	2.0	6.4	23.3	68.3	0.0	100.0
	公立	0.7	3.4	21.9	74.0	-	100.0
	私立	1.8	5.9	22.5	69.7	0.0	100.0
	平均	1.8	6.1	23.0	69.0	0.0	100.0

(参考) n=5,386

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

1 1 - 5 表 設置者別・学生の不安や悩み（大学院専門職学位課程）

(単位：%)

区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
授業の内容についていっていない	国立	3.3	20.7	39.8	36.1	-	100.0
	公立	1.5	34.8	40.9	22.7	-	100.0
	私立	3.5	26.8	40.0	29.7	-	100.0
	平均	3.4	24.8	40.0	31.9	-	100.0
卒業後にやりたいことがみつからない	国立	2.4	8.9	21.4	67.3	-	100.0
	公立	3.0	13.6	25.8	57.6	-	100.0
	私立	3.7	16.8	28.1	51.3	0.2	100.0
	平均	3.2	13.5	25.4	57.8	0.1	100.0
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	国立	17.0	18.5	13.2	51.2	-	100.0
	公立	6.1	15.2	21.2	57.6	-	100.0
	私立	13.8	18.4	18.7	48.9	0.2	100.0
	平均	14.7	18.3	16.7	50.2	0.1	100.0
経済的に勉強を続けることが難しい	国立	2.2	12.1	26.4	59.4	-	100.0
	公立	-	6.1	21.2	72.7	-	100.0
	私立	4.0	11.6	26.5	57.8	0.2	100.0
	平均	3.1	11.6	26.2	59.0	0.1	100.0
学内の友人関係の悩みがある	国立	3.3	9.0	24.4	63.3	-	100.0
	公立	-	6.1	27.3	66.7	-	100.0
	私立	1.8	7.6	24.7	65.9	-	100.0
	平均	2.4	8.1	24.7	64.9	-	100.0

(参考) n=1,967

(注) 「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

V. 參考資料

令和2年度学生生活調査実施要領
 (「令和2年度学生生活調査」実施の手引(学校事務担当者用)より)

I 調査の概要

1. 調査の目的 この調査は、全国の学生を対象として、学生生活状況を把握することにより、学生生活の実状を明らかにし、学生生活支援事業の充実のための基礎資料を得ることを目的としています。

2. 調査の対象 大学学部、短期大学本科及び大学院の学生
 (社会人学生を含む。通信課程、休学者及び外国人留学生は除く。)

! この調査は、奨学金事業に関する調査ではございません。
 奨学金受給の有無にかかわらず、全ての学生を対象としています。

3. 調査の時期 令和2年11月

4. 提出期限 令和2年12月18日(金)
 ※提出方法については3頁「3. 調査後の整理と報告」を参照してください。

5. 調査数 下記の抽出率によって在籍学生(令和2年5月1日現在の「学校基本調査」調査票情報利用)から抽出した数とします。
 (貴校の調査数は、別紙「調査依頼数及び送付内訳」を参照してください。)

【令和2年度 抽出率】

区分		設置者別		
		国立	公立	私立
大学学部	昼間部	$\frac{1}{38}$	$\frac{2}{31}$	$\frac{1}{92}$
	夜間部	$\frac{6}{13}$	(全数調査)	$\frac{9}{43}$
短期大学	昼間部	/	$\frac{38}{77}$	$\frac{4}{91}$
	夜間部	/	(全数調査)	$\frac{77}{87}$
大学院	修士課程	$\frac{3}{62}$	$\frac{7}{23}$	$\frac{1}{12}$
	博士課程	$\frac{4}{31}$	$\frac{25}{47}$	$\frac{11}{40}$
	専門職学位課程	$\frac{38}{99}$	(全数調査)	$\frac{32}{87}$

- ※ 大学学部(昼間部)については、層化多段抽出を行っているため、在籍学生数と調査数が完全には比例しません。また、在籍学生数の少ない一部の大学は、一定の確率で調査依頼から外れています。
- ※ 公立の大学学部(夜間部)・短期大学(夜間部)・大学院専門職学位課程については、母集団である全国の学生数が減少しているため、全数調査となっています。

6. 調査方法 あらかじめ、この調査の対象となる全在籍学生の中から、本機構が依頼した調査数の学生を「無作為抽出方法（4頁「Ⅲ 被調査学生の抽出方法」参照）」によって抽出後、所定の調査票を使用して調査します。
ただし、全数調査の区分は、対象者全員に調査します。
7. 調査ホームページ https://www.jasso.go.jp/about/statistics/gakusei_chosa/2020.html
日本学生支援機構ホームページ》各種調査情報》学生生活調査》令和2年度学生生活調査

Ⅱ 大学における事務

1. 調査開始前の準備

(1) 学生への周知

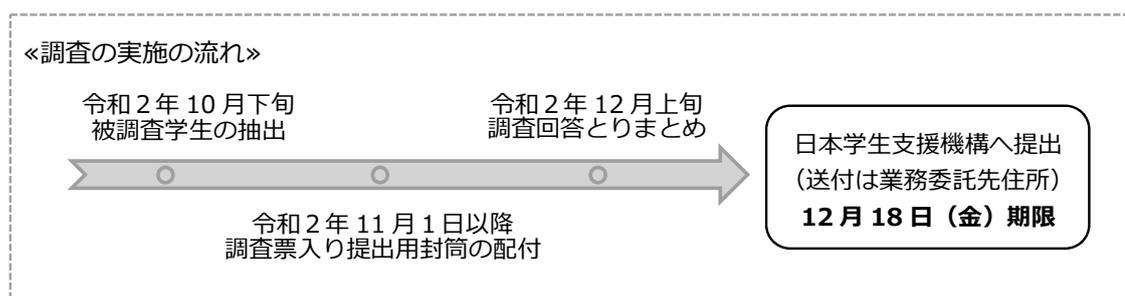
調査票回収まで一連の作業が円滑に行われるよう、被調査学生を抽出する前に、この調査の趣旨及び実施について、学生に可能な限り周知を図ってください。

(2) 被調査学生の決定

本機構から依頼した調査数を、4頁「Ⅲ 被調査学生の抽出方法（全数調査の区分は除く）」によって抽出してください。

なお、全数調査の区分についても、対象者は令和2年5月1日現在の大学学部、短期大学本科及び大学院の在籍者（5月1日現在休学者及び外国人留学生を除く）となります。

2. 調査の実施



- (1) 11月1日以降、被調査学生へ、調査票及び調査票記入要領の入った提出用封筒(※)を配付してください。

※ 大学・短期大学・大学院の別により、調査票が異なりますのでご注意ください。

封筒表側下部のラインで色分けしています。

[水色→【大学 学生用】、オレンジ色→【短期大学 学生用】、緑色→【大学院 学生用】]

(2)以下のとおり、学生への指導のご協力をお願いいたします。

《学生への指導のお願い》

- この調査において、提出された調査票から個人が特定されることはなく、プライバシーは確実に保護される旨、被調査学生にお伝えください。
- 調査票の設問（15）「授業料」「その他の学校納付金」等、各大学で金額が決まっているものは、一覧表等でその額を学生に示し、誤記入がないようご指導ください。
- 調査票の設問（14）「年間収入合計（ア）」と（15）「年間支出合計（イ）」について、金額が同じになるようご指導ください。
- 調査票の設問（21）「家庭の年間所得総額」について、よく家庭と連絡をとって記入するようご指導ください。

(3) 調査についてのご質問は、「よくある質問Q&A」を調査ホームページ（2頁参照）に掲載していますので、ご利用ください。その他、不明な点等ございましたら本機構（5頁参照）までお問い合わせください。

3. 調査後の整理と報告

(1) 被調査学生から回答済み調査票の入った提出用封筒(以下「提出封筒」という。)を回収し、とりまとめ願います。お手数ですが、提出封筒を回収できていない被調査学生には督促をお願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、回収が困難と判断される場合は、当該学生への督促は控えていただいて結構です。

開封しての内容確認は不要です。回収した提出封筒の枚数のみご確認ください。

※ ただし、提出封筒の重さや形状から見て、明らかに異なる内容物が同封されている場合は、学生へご指導ください。

(2) 「調査票回収枚数一覧表」(別紙)に、回収した提出封筒の枚数等を記入してください。

(3) ①調査票回収枚数一覧表、②回収した提出封筒を、12月18日(金)までに本機構（本調査回答受付業務委託先）へ発送してください。

発送の際は、着払い用宅配便伝票（※）（住所等印字済み）をご利用ください。

※ 伝票は、別途郵送した本調査の依頼文書に同封されています。

発送物の表面に「学生生活調査 調査票在中」と朱書してください。

着払い用宅配便伝票が不足する場合は、着払いで以下に送付してください。

〒

《 掲載略 》

※ 被調査学生が休退学になった等により使用しないことが判明している調査票入り提出用封筒がありましたら、併せて本機構（本調査回答受付業務委託先）への発送時にご返却ください。

(4) 本機構への発送後に学生から遅れて提出があった場合、①調査票回収枚数一覧表（追加提出用）（本手引6頁をコピー）、②回収した提出封筒を、本機構（本調査回答受付業務委託先）へ発送してください。

4. 前回調査からの変更点

- (1) 提出封筒を回収できていない被調査学生にはこれまで通り督促をお願いいたしますが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、回収が困難と判断される場合は、当該学生への督促は控えていただいで結構です。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響で、期限までの提出が困難な場合は、本機構までご連絡願います。
- (3) 調査項目は概ね前回調査と同じですが、一部の設問を、削除・追加・変更しています。

Ⅲ 被調査学生の抽出方法 (全数調査の区分は除く)

1. 抽出方法

- (1) 抽選用名簿を作成してください。

令和2年5月1日現在の大学学部、短期大学本科及び大学院の在籍者（5月1日現在休学者及び外国人留学生を除く）が対象となります。なお、令和2年5月1日現在の在籍者であるため、令和2年秋入学者は対象となりません。

大学及び短期大学については、昼間部、夜間部別、大学院については、修士課程、博士課程、専門職学位課程別に在籍者を分類してください。

- (2) 上記(1)で作成した抽選用名簿について、本機構が依頼した調査数(※)を下記(3)の方法により抽出してください。

なお、上記の分類に加え、学部等についても在籍学生数に応じて比例配分し、偏りが生じないようにしてください（割り切れない場合には、四捨五入してください）。

※ 「調査依頼数及び送付内訳」(別紙)をご参照ください。

例) 調査依頼数が20の大学で在籍学生数が、文学部は70人、工学部は130人である場合。

$$\text{文学部の調査数} = \frac{70 \text{ 人 (文学部の在籍学生数)}}{200 \text{ 人 (文学部と工学部の合計在籍学生数)}} \times 20 \text{ 人 (調査依頼数)} = 7 \text{ 人}$$

→ 文学部7人、工学部13人 に配分してください。

- (3) 「被調査学生の抽出について」(Excel ファイル)

(ア) 抽出に当たって、調査ホームページ(2頁参照)に「被調査学生の抽出について」(Excel ファイル)を用意していますので、ダウンロードしてください。

- (イ) ダウンロードしたファイルに学生数と調査数を入力すると、抽出基点番号と抽出間隔が算出されます。

[例]在籍学生数が800名、調査数が160名の場合

学生数	調査数	抽出基点番号	抽出間隔
800	160	4	5

※ 「抽出基点番号」「抽出間隔」の計算には乱数を用いていますので、入力するたびに数値が変わりますが、どの結果を使用しても問題ありません。

- (ウ) あらかじめ作成した抽選用名簿に照らし合わせて、抽出基点番号の学生から抽出間隔ごとに学生を選定し、調査数の学生を抽出してください。

学籍番号	通し番号
ABC0001	1
ABC0002	2
ABC0003	3
ABC0004	4
ABC0005	5
ABC0006	6
ABC0007	7
ABC0008	8
ABC0009	9
ABC0010	10
ABC0011	11
ABC0012	12
ABC0013	13
ABC0014	14

← 【調査対象】 (抽出基点番号4)

← 【調査対象】 (抽出基点番号4+抽出間隔5)

← 【調査対象】 (抽出基点番号4+抽出間隔5+抽出間隔5)

2. 抽出上の注意

- (1) 抽出は必ず1.(3)の方法で行ない、本機構の奨学金受給者のみを対象とするなど、作為的に抽出しないでください。
- (2) 抽出により決定した被調査学生は、変更しないでください。選定された学生が調査を拒否した場合や、本年5月1日現在では在籍していたもののその後に休退学した学生が対象となった場合も、新たな調査対象学生の選定は不要です。
- (3) 上記の抽出方法で正しく実施した結果、学内のみでは偏りがあると思われる対象が選ばれても(例:居住形態が特定の者に偏った場合)、全国的集計によって確率的に調整されますので、抽出結果の修正は不要です。

学校調査番号	※
整理番号	※

※JASSO使用欄(記入不要)

令和2年度学生生活調査 調査票(大学)

(大学生等の学習状況に関する調査を含む)

～回答のお願い～

この調査は学生支援の充実を図ることを目的に実施しており、調査結果は国の教育政策実施のための資料として使用されるほか、学生生活に関する調査研究や報道関係の基礎的資料として活用されています。また、本機構が学生支援の充実のために意義のある調査研究であると判断した場合、回答内容を研究機関等に提供することがあります。いずれの場合にも、ご回答いただいた内容について、あなた個人の情報が特定されることはありません。

回答方法 ※設問は(1)～(33)まであります。

- ① 回答は、あてはまる番号を1つ選び○で囲んでください。都道府県名や金額などは回答欄に記入してください。
- ② 記入する際の筆記具は特に指定いたしません。なるべく黒の鉛筆またはボールペンをお使いください。
- ③ 別紙の調査票記入要領を参照して回答してください。
最後まで全ての回答をお願いしますが、特に回答に躊躇するご事情がありましたらこの限りではありません。
- ④ 記入後は、本調査票のみ封筒に入れて封をしてください。
- ⑤ 回答期限、提出先は学校の事務担当者の指示に従ってください。

I. あなたご自身について

(選択式の設問については、あてはまる番号を1つ選び、その番号を○で囲んでください)

(1) 昼間部・夜間部の在籍状況	1. 昼間部	2. 夜間部											
(2) 性別	1. 男性	2. 女性	3. その他										
(3) 現在の学年	1. 1学年	2. 2学年	3. 3学年	4. 4学年	5. 5学年	6. 6学年							
	※留年や休学などは数えません。例:4年生を留年して現在5年目の場合は、「4学年」を選択してください。												
(4) 年齢	歳												
(5) 学科(専攻)の系統	1. 文・外国語・国際・文化系	2. 法・政・経・商・社系	3. 理・工系	4. 農系	5. 薬系	6. 医・歯系	7. 看護・保健系	8. 教育・教員養成系	9. 福祉系	10. 家政・生活系	11. 芸術系	12. スポーツ系	13. その他
	※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.2(5)を参照してください。												
(6) 現在住んでいるところ	1. 自宅	2. 学生寮(寄宿舎)	3. 下宿・アパート・その他										
	※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.2(6)を参照してください。												
(7) 学校の所在地	1. 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県	2. 大阪府・京都府・兵庫県	3. その他の道、県										
(8) 片道の通学時間	1. 0分～10分	2. 11分～20分	3. 21分～30分	4. 31分～60分	5. 61分～90分	6. 91分～120分	7. 121分以上						
(9) 現在の住所	(都・道・府・県)		(10) 入学前の住所	(都・道・府・県、又は海外)									

Ⅱ. 学生生活の状況について

(11) 授業期間中の典型的な1週間(7日間)の生活時間について(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	授業期間中の典型的な1週間(7日間)の生活時間(単位:時間)							
	0時間	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31時間以上
1. 大学の授業 (オンライン授業の視聴時間を含む)	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 大学の授業の予習・復習、課題など	1	2	3	4	5	6	7	8
3. 卒業論文・卒業研究	1	2	3	4	5	6	7	8
4. 大学の授業以外の学習	1	2	3	4	5	6	7	8
5. 部活動・サークル活動	1	2	3	4	5	6	7	8
6. アルバイト・定職	1	2	3	4	5	6	7	8
7. 就職活動	1	2	3	4	5	6	7	8
8. 娯楽・交友	1	2	3	4	5	6	7	8

(12) 現在通っている大学について次の点で満足していますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	利用したことがある				利用したことがない
	不満	やや不満	やや満足	満足	
1. 図書館・自習室などの学習支援施設	1	2	3	4	5
2. キャリアセンターなどでの就職・進路への支援	1	2	3	4	5
3. 学習・生活面でのカウンセリング	1	2	3	4	5
4. 奨学金等の経済的支援に関する情報提供	1	2	3	4	5

(13) いまあなたには次のような不安や悩みがありますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	大いにある	少しある	あまりない	全くない
1. 授業の内容についていけない	1	2	3	4
2. 卒業後にやりたいことがみつからない	1	2	3	4
3. 希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	1	2	3	4
4. 経済的に勉強を続けることが難しい	1	2	3	4
5. 学内の友人関係の悩みがある	1	2	3	4

Ⅲ. あなたご自身の経済状況について

あなたご自身の1年間の経済状態についてお聞きます。(収入額・支出額を、それぞれ「年額」で記入してください。)
 ※千円未満は四捨五入、収入額・支出額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。
 ※各項目については、調査票記入要領P.2(14)、P.4(15)をそれぞれ参照してください。

(14) 年間収入額(令和元年12月～令和2年11月)

(令和2年度入学者のみ令和2年4月～令和3年3月)

項目	千万	百万	十万	万	千	円
(a) 家庭からの給付 (家庭が支払った授業料を含む)						000 円
(b) 奨学金 の	日本学生支援機構	貸与奨学金 (返済が必要)				000 円
		給付奨学金 (返済不要)				000 円
	日本学生支援機構 以外の	貸与奨学金 (返済が必要)				000 円
		給付奨学金 (返済不要)				000 円
(c) アルバイト						000 円
(d) 定職収入						000 円
(e) その他 (貯蓄などを取り崩した金額や借入金など)						000 円
年間収入合計(ア)						000 円

(15) 年間支出額(令和元年12月～令和2年11月)

(令和2年度入学者のみ令和2年4月～令和3年3月)

項目	千万	百万	十万	万	千	円
(A) 授業料 (家庭が支払った授業料も含む)						000 円
(B) その他の学校納付金 (入学時の特別納付金を除く)						000 円
(C) 修学費 (教科書、図書代、文具購入費等含む)						000 円
(D) 課外活動費 (サークル活動、自治会活動など)						000 円
(E) 通学費						000 円
(F) 食費 (自宅通学者は外食費を記入)						000 円
(G) 住居・光熱費 (自宅通学者は0を記入)						000 円
(H) 保健衛生費 (診療代、薬代、理髪美容代など含む)						000 円
(I) 娯楽・嗜好費						000 円
(J) 通信費 (携帯電話、固定電話代など)						000 円
(K) その他の日常費						000 円
(L) 貯金						000 円
年間支出合計(イ)						000 円

年間収入合計(ア) = 年間支出合計(イ) になるようにしてください

(16) 家庭からの給付のみで修学可能ですか (最近1年間の経験から) (1つに○)	1. 修学可能	2. 修学不自由	3. 修学継続困難	4. 家庭からの給付はない
(17) 授業料減免制度を受けていますか (令和2年度前期分について) (1つに○)	1. 全額を受けた	2. 半額以上全額未満を受けた	3. 半額未満を受けた	4. 申請したが不許可になった
(18) 日本学生支援機構の奨学金を受けていますか (最近1年間) (1つに○)	1. 奨学金を受けた	2. 申請したが不採用になった(どの奨学金も受けられなかった)	3. 希望したが申請しなかった	4. そもそも奨学金は必要なかった

質問(18)で1. と回答した方にお聞きます

(18-1) 受けた奨学金の種類について
(あてはまるもの全てに○)

- 「貸与」第一種奨学金(無利子)
- 「貸与」第二種奨学金(有利子)
- 「給付」奨学金(返済が不要)

質問(18)で3. と回答した方にお聞きます

(18-2) 「申請しなかった」理由について(主な理由1つに○)

- 成績基準が合わなかった
- 収入基準が合わなかった
- 申請手続きが複雑なのでやめた
- 貸与のため卒業後の返還が大変なのでやめた
- 日本学生支援機構以外の奨学金を受けることができたのでやめた
- その他

(19) 日本学生支援機構以外の奨学金を受けていますか (最近1年間) (1つに○)	1. 給付奨学金を受けた	2. 貸与奨学金を受けた	3. 給付・貸与の両方を受けた	4. 申請したが不採用になった (どの奨学金も受けられなかった)	5. 申請しなかった
---	--------------	--------------	-----------------	-------------------------------------	------------

(20)アルバイト(最近1年間) (それぞれの項目について1つに○)	【授業期間中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1～2日した	4. 週に3日以上した
	【長期休暇中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1～2日した	4. 週に3日以上した

↓
質問(20)のいずれかで2.～4.と回答した方にお聞きます

(20-1)アルバイトの従事職種(主なもの1つに○)			
1. 塾講師・家庭教師など	2. 事務	3. 販売	4. 飲食業
5. 販売・飲食業を除く軽労働	6. 重労働・危険作業	7. 特殊技能	8. その他
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.5(20-1)を参照してください。			
(20-2)アルバイト収入の主な使い道(主な使い道1つに○)			
1. 授業料	2. その他の学校納付金	3. 修学費	4. 課外活動費
5. 通学費	6. 食費	7. 住居・光熱費	8. 保健衛生費
9. 娯楽・嗜好費	10. 通信費	11. その他の日常費	12. 貯金

IV. 家庭の状況について

(21)あなたの家庭の最近1年間(12ヶ月)の所得総額(税込額)について	<p>この項目は、この調査で特に重要な意味を持つものです。</p> <p>家族とよく連絡をとって、できるだけ正確な金額を記入してください。</p> <p>1) 所得の総額を、ア)主たる家計支持者 と イ)その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。 ただし、あなたの所得と、あなた以外の家族で学校に在学の方が得た所得は除いてください。</p> <p>2) あなたが結婚などにより独立の家庭を構成している場合は、その独立した家庭の所得総額を、ア)主たる家計支持者 と イ)その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。</p> <p>3) 所得がない場合は「0」を記入してください。</p>																							
	<p>ア)主たる家計支持者</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th>億</th><th>千万</th><th>百万</th><th>十万</th><th>万</th></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>万円</p> <p style="text-align: center;">【万円未満四捨五入】</p>		億	千万	百万	十万	万						<p>イ)その他の方</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><th>億</th><th>千万</th><th>百万</th><th>十万</th><th>万</th></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>万円</p> <p style="text-align: center;">【万円未満四捨五入】</p>			億	千万	百万	十万	万				
億	千万	百万	十万	万																				
億	千万	百万	十万	万																				
※合計する所得の種類については、調査票記入要領P.5(21)を参照してください。																								
(22)主たる家計支持者について(1つに○)	1. 父 2. 母 3. あなた自身 4. 配偶者 5. その他																							
(23)主たる家計支持者の年齢について(1つに○)	1. 44歳以下 2. 45～49歳 3. 50～54歳 4. 55～59歳 5. 60歳以上																							
(24)主たる家計支持者の職業について(1つに○)	1. 勤労者世帯 2. 個人営業世帯 3. 法人経営・自由業世帯																							
4. 農林・水産業世帯 5. その他の世帯																								
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.6(24)を参照してください。																								

V. 大学での授業・学習について

- (25) 今学期および前学期に、どの程度の科目数を履修登録しましたか。
また、それぞれについて、主にオンラインで実施の科目数(授業回の半分以上がオンライン実施のもの)を教えてください。

今学期の履修登録数 (内、オンラインで実施)	科目 (科目)	前学期の履修登録数 (内、オンラインで実施)	科目 (科目)
---------------------------	--------------	---------------------------	--------------

- (26) 卒業に必要な単位数のうち、前学期までにどれぐらいを取得済みですか。
また、これまで受けた授業の形態について、全体が10割になるようお答えください。
(オンラインで受講者数がわからない場合は、おおよその予想で結構です)

前学期までに取得 済みの単位の比率	講義 (100人以上)	講義 (50人以上100人未満)	講義 (50人未満)	演習・ゼミ	実験・実習
	割	割	割	割	割
約 %					

足して10割になるように、おおよその割合をお答えください。

- (27) これまで受けた授業では、A. 次のようなことがどれぐらいありましたか、またB. その頻度は適当だと思いますか。
(それぞれの項目のA. B. について、あてはまる番号1つに○)

項目	A. どれぐらいあったか				B. 頻度は適当か		
	ほとんど なかった	あまり なかった	ある程度 あった	よく あった	減らして ほしい	現状で よい	増やして ほしい
1. 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれる	1	2	3	4	1	2	3
2. 理解がしやすいように教え方が工夫されている	1	2	3	4	1	2	3
3. TA(ティーチングアシスタント)などによる補助的な指導がある	1	2	3	4	1	2	3
4. 小テストやレポートなどの中間課題が出される	1	2	3	4	1	2	3
5. 適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却される	1	2	3	4	1	2	3
6. グループワークなど、学生が参加する機会がある	1	2	3	4	1	2	3
7. 主に英語でおこなわれる授業(語学は除く)	1	2	3	4	1	2	3

- (28) あなた自身は、授業に対してどのように取り組んでいますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項目	まったくあて はまらない	あまりあては まらない	ある程度 あてはまる	よく あてはまる
1. 先生に質問したり、勉強の仕方を相談している	1	2	3	4
2. なるべく良い成績をとるようにしている	1	2	3	4
3. グループワークやディスカッションに積極的に参加している	1	2	3	4
4. 必要な予習や復習をして授業にのぞんでいる	1	2	3	4

- (29) あなたの成績についてお答えください。(不可の割合は除いて、足して10割になるように記入してください)

(大学での評価方法にあわせて、①か②のいずれかに記入してください。)

※素点にて成績評価がなされている場合には、調査票記入要領P.6(29)を参照のうえ、記入してください。

	秀(S,A+)	優(A)	良(B)	可(C)		優(A)	良(B)	可(C)
①5段階 評価	割	割	割	割	②4段階 評価	割	割	割

おおよその割合をお答えください

おおよその割合をお答えください

(30) あなたの大学(学部・学科)では成績評価にGPA制度が導入されていますか。差し支えなければあなたのGPAを記入してください。

GPA制度が (1つに○)	1. 導入されている	あなたのGPA
	2. 導入されていない	

(31) 大学に入ってから次のような経験はありましたか。また、それは有用でしたか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	経験した				経験して いない
	有用でない	どちらとも いえない	有用だった	非常に有用 だった	
1. 授業の履修方法やカリキュラムについての体系的なガイダンス	1	2	3	4	5
2. 大学での勉強の方法(スタディ・スキル)を学ぶ科目	1	2	3	4	5
3. 就職や将来のキャリアをテーマとした科目	1	2	3	4	5
4. インターンシップ(5日以上のもの)	1	2	3	4	5
5. 短期の海外留学(4ヶ月～1年程度)	1	2	3	4	5

(32) 次の点で大学の授業は、A.どのくらい役に立っていると思いますか。またB.自分の実力はどの程度あると思いますか(それぞれの項目のA.B.について、あてはまる番号1つずつ○)

項 目	A. これまでの授業経験は				B. 自分の実力は			
	役に立って いない	←	→	役に立っている	不十分	←	→	十分
1. 専門分野に関する知識・理解	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 文献・資料・データを収集する力	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 論理的に文章を書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 人にわかりやすく話す力	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 外国語の力	1	2	3	4	1	2	3	4
6. ものごとを分析的・批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 問題を見つけ、解決方法を考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
8. 幅広い知識、もののみかた	1	2	3	4	1	2	3	4

(33) 卒業後に最も希望する進路は次のどれですか(A.B.それぞれについて、あてはまる番号1つずつ○)

項 目	1. 民間企業に就職	2. 公務員になる	3. 教師、医師、弁護士 などの専門職につく	4. 自営など1～3以外 の形で就業	5. 進学する (大学院など)	6. その他	7. 決めていない (いなかった)
A.入学時の希望	1	2	3	4	5	6	7
B.現在の希望	1	2	3	4	5	6	7



ご協力ありがとうございました。

学校調査番号	※
整理番号	※

※JASSO使用欄(記入不要)

令和2年度学生生活調査 調査票(短期大学)

(大学生等の学習状況に関する調査を含む)

～回答のお願い～

この調査は学生支援の充実を図ることを目的に実施しており、調査結果は国の教育政策実施のための資料として使用されるほか、学生生活に関する調査研究や報道関係の基礎的資料として活用されています。また、本機構が学生支援の充実のために意義のある調査研究であると判断した場合、回答内容を研究機関等に提供することがあります。いずれの場合にも、ご回答いただいた内容について、あなた個人の情報が特定されることはありません。

回答方法 ※設問は(1)～(33)まであります。

- ① 回答は、あてはまる番号を1つ選び○で囲んでください。都道府県名や金額などは回答欄に記入してください。
- ② 記入する際の筆記具は特に指定いたしません。なるべく黒の鉛筆またはボールペンをお使いください。
- ③ 別紙の調査票記入要領を参照して回答してください。
最後まで全ての回答をお願いしますが、特に回答に躊躇するご事情がありましたらこの限りではありません。
- ④ 記入後は、本調査票のみ封筒に入れて封をしてください。
- ⑤ 回答期限、提出先は学校の事務担当者の指示に従ってください。

(※ 各設問に記載の「大学」は、本調査票では短期大学のことを指します。)

I. あなたご自身について

(選択式の設問については、あてはまる番号を1つ選び、その番号を○で囲んでください)

(1) 昼間部・夜間部の在籍状況	1. 昼間部	2. 夜間部	
(2) 性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
(3) 現在の学年	1. 1学年 2. 2学年 3. 3学年 ※留年や休学などは数えません。例：1年生を留年して現在2年目の場合は、「1学年」を選択してください。		
(4) 年齢	歳		
(5) 学科(専攻)の系統	1. 文・外国語・国際・文化系 2. 法・政・経・商・社系 3. 理・工系 4. 農系 (「5.」「6.」は、短期大学の調査票では使用しません。) 7. 看護・保健系 8. 教育・教員養成系 9. 福祉系 10. 家政・生活系 11. 芸術系 12. スポーツ系 13. その他 ※ 歯科衛生士、医療事務、薬局事務を目指す学科は、7. 看護系・保健系を選択してください。 幼児・保育教育学は、8. 教育・教員養成系を選択してください。 分類が分からない場合は、調査票記入要領P.2(5)を参照してください。		
(6) 現在住んでいるところ	1. 自宅 2. 学生寮(寄宿舎) 3. 下宿・アパート・その他 ※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.2(6)を参照してください。		
(7) 学校の所在地	1. 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県 2. 大阪府・京都府・兵庫県 3. その他の道、県		
(8) 片道の通学時間	1. 0分～10分	2. 11分～20分	3. 21分～30分 4. 31分～60分 5. 61分～90分 6. 91分～120分 7. 121分以上
(9) 現在の住所	(都・道・府・県)	(10) 入学前の住所	(都・道・府・県、又は海外)

Ⅱ. 学生生活の状況について

(11) 授業期間中の典型的な1週間(7日間)の生活時間について(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	授業期間中の典型的な1週間(7日間)の生活時間(単位:時間)							
	0時間	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31時間以上
1. 大学の授業 (オンライン授業の視聴時間を含む)	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 大学の授業の予習・復習、課題など	1	2	3	4	5	6	7	8
3. 卒業論文・卒業研究	1	2	3	4	5	6	7	8
4. 大学の授業以外の学習	1	2	3	4	5	6	7	8
5. 部活動・サークル活動	1	2	3	4	5	6	7	8
6. アルバイト・定職	1	2	3	4	5	6	7	8
7. 就職活動	1	2	3	4	5	6	7	8
8. 娯楽・交友	1	2	3	4	5	6	7	8

(12) 現在通っている大学について次の点で満足していますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	利用したことがある				利用したことがない
	不満	やや不満	やや満足	満足	
1. 図書館・自習室などの学習支援施設	1	2	3	4	5
2. キャリアセンターなどでの就職・進路への支援	1	2	3	4	5
3. 学習・生活面でのカウンセリング	1	2	3	4	5
4. 奨学金等の経済的支援に関する情報提供	1	2	3	4	5

(13) いまあなたには次のような不安や悩みがありますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	大いにある	少しある	あまりない	全くない
1. 授業の内容についていけない	1	2	3	4
2. 卒業後にやりたいことがみつからない	1	2	3	4
3. 希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	1	2	3	4
4. 経済的に勉強を続けることが難しい	1	2	3	4
5. 学内の友人関係の悩みがある	1	2	3	4

Ⅲ. あなたご自身の経済状況について

あなたご自身の1年間の経済状態についてお聞きします。(収入額・支出額を、それぞれ「年額」で記入してください。)
 ※千円未満は四捨五入、収入額・支出額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。
 ※各項目については、調査票記入要領P.2(14)、P.4(15)をそれぞれ参照してください。

(14) 年間収入額(令和元年12月～令和2年11月)
 (令和2年度入学者のみ令和2年4月～令和3年3月)

項目	千	百	十	万	千	円
(a) 家庭からの給付 (家庭が支払った授業料を含む)						000 円
(b) 奨学金 の	日本学生支援機構	貸与奨学金 (返済が必要)				000 円
		給付奨学金 (返済不要)				000 円
	日本学生支援機構 以外の	貸与奨学金 (返済が必要)				000 円
		給付奨学金 (返済不要)				000 円
(c) アルバイト					000 円	
(d) 定職収入					000 円	
(e) その他 (貯蓄などを取り崩した金額や借入金など)					000 円	
年間収入合計(ア)					000 円	

(15) 年間支出額(令和元年12月～令和2年11月)
 (令和2年度入学者のみ令和2年4月～令和3年3月)

項目	千	百	十	万	千	円
(A) 授業料 (家庭が支払った授業料も含む)						000 円
(B) その他の学校納付金 (入学時の特別納付金を除く)						000 円
(C) 修学費 (教科書、図書代、文具購入費等含む)						000 円
(D) 課外活動費 (サークル活動、自治会活動など)						000 円
(E) 通学費						000 円
(F) 食費 (自宅通学者は外食費を記入)						000 円
(G) 住居・光熱費 (自宅通学者は0を記入)						000 円
(H) 保健衛生費 (診療代、薬代、理髪美容代など含む)						000 円
(I) 娯楽・嗜好費						000 円
(J) 通信費 (携帯電話、固定電話代など)						000 円
(K) その他の日常費						000 円
(L) 貯金						000 円
年間支出合計(イ)						000 円

年間収入合計(ア) = 年間支出合計(イ) になるようにしてください

(16) 家庭からの給付のみで修学可能ですか (最近1年間の経験から) (1つに○)	1. 修学可能	2. 修学不自由	3. 修学継続困難	4. 家庭からの給付はない		
(17) 授業料減免制度を受けていますか (令和2年度前期分について) (1つに○)	1. 全額を受けた	2. 半額以上全額未満を受けた	3. 半額未満を受けた	4. 申請したが不許可になった	5. 申請しなかった	6. 減免制度を知らない
(18) 日本学生支援機構の奨学金を受けていますか (最近1年間) (1つに○)	1. 奨学金を受けた 2. 申請したが不採用になった(どの奨学金も受けられなかった) 3. 希望したが申請しなかった 4. そもそも奨学金は必要なかった					
質問(18)で1.と回答した方にお聞きします (18-1) 受けた奨学金の種類について (あてはまるもの全てに○)		質問(18)で3.と回答した方にお聞きします (18-2) 「申請しなかった」理由について(主な理由1つに○)				
1. 「貸与」第一種奨学金(無利子) 2. 「貸与」第二種奨学金(有利子) 3. 「給付」奨学金(返済が不要)		1. 成績基準が合わなかった 2. 収入基準が合わなかった 3. 申請手続きが複雑なのでやめた 4. 貸与のため卒業後の返還が大変なのでやめた 5. 日本学生支援機構以外の奨学金を受けることができたのでやめた 6. その他				
(19) 日本学生支援機構以外の奨学金を受けていますか (最近1年間) (1つに○)	1. 給付奨学金を受けた	2. 貸与奨学金を受けた	3. 給付・貸与の両方を受けた	4. 申請したが不採用になった (どの奨学金も受けられなかった)	5. 申請しなかった	

(20)アルバイト(最近1年間) (それぞれの項目について1つに○)	【授業期間中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1～2日した	4. 週に3日以上した
	【長期休暇中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1～2日した	4. 週に3日以上した

↓
質問(20)のいずれかで2.～4.と回答した方にお聞きします

(20-1)アルバイトの従事職種(主なもの1つに○)			
1. 塾講師・家庭教師など	2. 事務	3. 販売	4. 飲食業
5. 販売・飲食業を除く軽労働	6. 重労働・危険作業	7. 特殊技能	8. その他
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.5(20-1)を参照してください。			
(20-2)アルバイト収入の主な使い道(主な使い道1つに○)			
1. 授業料	2. その他の学校納付金	3. 修学費	4. 課外活動費
5. 通学費	6. 食費	7. 住居・光熱費	8. 保健衛生費
9. 娯楽・嗜好費	10. 通信費	11. その他の日常費	12. 貯金

IV. 家庭の状況について

(21)あなたの家庭の最近1年間(12ヶ月)の所得総額(税込額)について	<p>この項目は、この調査で特に重要な意味を持つものです。</p> <p>家族とよく連絡をとって、できるだけ正確な金額を記入してください。</p> <p>1) 所得の総額を、ア)主たる家計支持者 と イ)その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。ただし、あなたの所得と、あなた以外の家族で学校に在学する方が得た所得は除いてください。</p> <p>2) あなたが結婚などにより独立した家庭を構成している場合は、その独立した家庭の所得総額を、ア)主たる家計支持者 と イ)その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。</p> <p>3) 所得がない場合は「0」を記入してください。</p>																			
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ア)主たる家計支持者</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px;"> <tr> <td style="width: 20px;">億</td> <td style="width: 20px;">千万</td> <td style="width: 20px;">百万</td> <td style="width: 20px;">十万</td> <td style="width: 20px;">万</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>万円</p> <p>【万円未満四捨五入】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>イ)その他の方</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px;"> <tr> <td style="width: 20px;">億</td> <td style="width: 20px;">千万</td> <td style="width: 20px;">百万</td> <td style="width: 20px;">十万</td> <td style="width: 20px;">万</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>万円</p> <p>【万円未満四捨五入】</p> </div> </div> <p>※合計する所得の種類については、調査票記入要領P.5(21)を参照してください。</p>	億	千万	百万	十万	万						億	千万	百万	十万	万				
億	千万	百万	十万	万																
億	千万	百万	十万	万																
(22)主たる家計支持者について(1つに○)	1. 父 2. 母 3. あなた自身 4. 配偶者 5. その他																			
(23)主たる家計支持者の年齢について(1つに○)	1. 44歳以下 2. 45～49歳 3. 50～54歳 4. 55～59歳 5. 60歳以上																			
(24)主たる家計支持者の職業について(1つに○)	1. 勤労者世帯 2. 個人営業世帯 3. 法人経営・自由業世帯																			
	4. 農林・水産業世帯 5. その他の世帯																			
	※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.6(24)を参照してください。																			

V. 大学での授業・学習について

- (25) 今学期および前学期に、どの程度の科目数を履修登録しましたか。
また、それぞれについて、主にオンラインで実施の科目数(授業回の半分以上がオンライン実施のもの)を教えてください。

今学期の履修登録数 (内、オンラインで実施)	科目 (科目)	前学期の履修登録数 (内、オンラインで実施)	科目 (科目)
---------------------------	--------------	---------------------------	--------------

- (26) 卒業に必要な単位数のうち、前学期までにどれぐらいを取得済みですか。
また、これまで受けた授業の形態について、全体が10割になるようお答えください。
(オンラインで受講者数がわからない場合は、おおよその予想で結構です)

前学期までに取得 済みの単位の比率	講義 (100人以上)	講義 (50人以上100人未満)	講義 (50人未満)	演習・ゼミ	実験・実習
	割	割	割	割	割
約 %					

足して10割になるように、おおよその割合をお答えください。

- (27) これまで受けた授業では、A. 次のようなことがどれぐらいありましたか、またB. その頻度は適当だと思いますか。
(それぞれの項目のA. B. について、あてはまる番号1つに○)

項 目	A. どれぐらいあったか				B. 頻度は適当か		
	ほとんど なかった	あまり なかった	ある程度 あった	よく あった	減らして ほしい	現状で よい	増やして ほしい
1. 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれる	1	2	3	4	1	2	3
2. 理解がしやすいように教え方が工夫されている	1	2	3	4	1	2	3
3. TA(ティーチングアシスタント)などによる補助的な指導がある	1	2	3	4	1	2	3
4. 小テストやレポートなどの中間課題が出される	1	2	3	4	1	2	3
5. 適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却される	1	2	3	4	1	2	3
6. グループワークなど、学生が参加する機会がある	1	2	3	4	1	2	3
7. 主に英語でおこなわれる授業(語学は除く)	1	2	3	4	1	2	3

- (28) あなた自身は、授業に対してどのように取り組んでいますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	まったくあて はまらない	あまりあては まらない	ある程度 あてはまる	よく あてはまる
1. 先生に質問したり、勉強の仕方を相談している	1	2	3	4
2. なるべく良い成績をとるようにしている	1	2	3	4
3. グループワークやディスカッションに積極的に参加している	1	2	3	4
4. 必要な予習や復習をして授業にのぞんでいる	1	2	3	4

- (29) あなたの成績についてお答えください。(不可の割合は除いて、足して10割になるように記入してください)

(大学での評価方法にあわせて、①か②のいずれかに記入してください。)

※素点にて成績評価がなされている場合には、調査票記入要領P.6(29)を参照のうえ、記入してください。

	秀(S,A+)	優(A)	良(B)	可(C)		優(A)	良(B)	可(C)
①5段階 評価	割	割	割	割	②4段階 評価	割	割	割

おおよその割合をお答えください

おおよその割合をお答えください

(30) あなたの大学(学部・学科)では成績評価にGPA制度が導入されていますか。差し支えなければあなたのGPAを記入してください。

GPA制度が (1つに○)	1. 導入されている	あなたのGPA .
	2. 導入されていない	

(31) 大学に入ってから次のような経験はありましたか。また、それは有用でしたか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	経験した				経験して いない
	有用でない	どちらとも いえない	有用だった	非常に有用 だった	
1. 授業の履修方法やカリキュラムについての体系的なガイダンス	1	2	3	4	5
2. 大学での勉強の方法(スタディ・スキル)を学ぶ科目	1	2	3	4	5
3. 就職や将来のキャリアをテーマとした科目	1	2	3	4	5
4. インターンシップ(5日以上のもの)	1	2	3	4	5
5. 短期の海外留学(4ヶ月～1年程度)	1	2	3	4	5

(32) 次の点で大学の授業は、A.どのくらい役に立っていると思いますか。またB.自分の実力はどの程度あると思いますか
(それぞれの項目のA.B.について、あてはまる番号1つずつ○)

項 目	A. これまでの授業経験は				B. 自分の実力は			
	役に立って いない	←	→	役に立っている	不十分	←	→	十分
1. 専門分野に関する知識・理解	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 文献・資料・データを収集する力	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 論理的に文章を書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 人にわかりやすく話す力	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 外国語の力	1	2	3	4	1	2	3	4
6. ものごとを分析的・批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 問題を見つけ、解決方法を考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
8. 幅広い知識、もののみかた	1	2	3	4	1	2	3	4

(33) 卒業後に最も希望する進路は次のどれですか(A.B.それぞれについて、あてはまる番号1つずつ○)

項 目	1. 民間企業に就職	2. 公務員になる	3. 教師、看護師、保育士 などの専門職につく	4. 自営など1～3以外 の形で就業	5. 進学する(専攻科、 大学編入など)	6. その他	7. 決めていない (いなかった)
A.入学時の希望	1	2	3	4	5	6	7
B.現在の希望	1	2	3	4	5	6	7



ご協力ありがとうございました。

学校調査番号	※
整理番号	※

※JASSO使用欄(記入不要)

令和2年度学生生活調査 調査票(大学院)

～回答のお願い～

この調査は学生支援の充実を図ることを目的に実施しており、調査結果は国の教育政策実施のための資料として使用されるほか、学生生活に関する調査研究や報道関係の基礎的資料として活用されています。また、本機構が学生支援の充実のために意義のある調査研究であると判断した場合、回答内容を研究機関等に提供することがあります。いずれの場合にも、ご回答いただいた内容について、あなた個人の情報が特定されることはありません。

回答方法 ※設問は(1)～(25)まであります。

- ① 回答は、あてはまる番号を1つ選び○で囲んでください。都道府県名や金額などは回答欄に記入してください。
- ② 記入する際の筆記具は特に指定いたしません。なるべく黒の鉛筆またはボールペンをお使いください。
- ③ 別紙の調査票記入要領を参照して回答してください。
最後まで全ての回答をお願いします。特に回答に躊躇するご事情がありましたらこの限りではありません。
- ④ 記入後は、本調査票のみ封筒に入れて封をしてください。
- ⑤ 回答期限、提出先は学校の事務担当者の指示に従ってください。

I. あなたご自身について

(選択式の設問については、あてはまる番号を1つ選び、その番号を○で囲んでください)

(1) 修士課程・博士課程・専門職学位課程の在籍状況	1. 修士課程 2. 博士課程 3. 専門職学位課程		
	※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.1(1)を参照してください。		
(2) 性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
(3) 現在の学年	1. 1学年	2. 2学年	3. 3学年 4. 4学年
	※留年や休学などは数えません。 ※一貫制博士課程の後期3年生の方は、博士課程の1年生と数えてください。		
(4)(a) 年齢		(4)(b) 配偶者の有無	1. いる 2. いない
		歳	
(5) 学科(専攻)の系統	1. 文・外国語・国際・文化系	2. 法・政・経・商・社系	3. 理・工系 4. 農系
	5. 薬系	6. 医・歯系	7. 看護・保健系 8. 教育・教員養成系
	9. 福祉系	10. 家政・生活系	11. 芸術系 12. スポーツ系
	13. その他		
	※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.2(5)を参照してください。		
(6) 現在住んでいるところ	1. 自宅	2. 学生寮(寄宿舎)	3. 下宿・アパート・その他
	※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.2(6)を参照してください。		
(7) 学校の所在地	1. 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県	2. 大阪府・京都府・兵庫県	3. その他の道、県
(8) 片道の通学時間	1. 0分～10分	2. 11分～20分	3. 21分～30分 4. 31分～60分
	5. 61分～90分	6. 91分～120分	7. 121分以上
(9) 現在の住所		(10) 入学前の住所	
	(都・道・府・県)		(都・道・府・県、又は海外)

Ⅱ. 学生生活の状況について

(11) 授業期間中の典型的な1週間(7日間)の生活時間について(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	授業期間中の典型的な1週間(7日間)の生活時間(単位:時間)							
	0時間	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31時間以上
1. 大学内での授業、研究、実習、実験 (オンライン授業の視聴時間を含む)	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 大学外での学習、研究	1	2	3	4	5	6	7	8
3. ティーチングアシスタント(TA)	1	2	3	4	5	6	7	8
4. リサーチアシスタント(RA)	1	2	3	4	5	6	7	8
5. アルバイト・定職(TA・RAを除く)	1	2	3	4	5	6	7	8
6. 就職活動	1	2	3	4	5	6	7	8
7. 娯楽・交友	1	2	3	4	5	6	7	8

(12) 現在通っている大学について次の点で満足していますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	利用したことがある				利用したことがない
	不満	やや不満	やや満足	満足	
1. 図書館・自習室などの学習支援施設	1	2	3	4	5
2. キャリアセンターなどでの就職・進路への支援	1	2	3	4	5
3. 学習・生活面でのカウンセリング	1	2	3	4	5
4. 奨学金等の経済的支援に関する情報提供	1	2	3	4	5

(13) いまあなたには次のような不安や悩みがありますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	大いにある	少しある	あまりない	全くない
1. 授業の内容についていけない	1	2	3	4
2. 卒業後にやりたいことがみつからない	1	2	3	4
3. 希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	1	2	3	4
4. 経済的に勉強を続けることが難しい	1	2	3	4
5. 学内の友人関係の悩みがある	1	2	3	4

Ⅲ. あなたご自身の経済状況について

あなたご自身の1年間の経済状態についてお聞きます。(収入額・支出額を、それぞれ「年額」で記入してください。)

※千円未満は四捨五入、収入額・支出額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。

※各項目については、調査票記入要領P.2(14)、P.4(15)をそれぞれ参照してください。

(14) 年間収入額(令和元年12月～令和2年11月)

(令和2年度入学者のみ令和2年4月～令和3年3月)

項目	千万	百万	十万	万	千	円
(a) 家庭からの給付 (家庭が支払った授業料を含む)						000 円
(b) 日本学生支援機構の貸与奨学金 (返済が必要)						000 円
奨学金 日本学生支援機構 以外の	貸与奨学金 (返済が必要)					000 円
	給付奨学金 (返済不要)					000 円
(c) 日本学術振興会の研究奨励金 〔博士課程のみ記入〕						000 円
(d) ティーチングアシスタント(TA)						000 円
(e) リサーチアシスタント(RA)						000 円
(f) アルバイト ((d)と(e)を除く)						000 円
(g) 定職収入						000 円
(h) その他 (貯蓄などを取り崩した金額や借入金など)						000 円
年間収入合計(ア)						000 円

(15) 年間支出額(令和元年12月～令和2年11月)

(令和2年度入学者のみ令和2年4月～令和3年3月)

項目	千万	百万	十万	万	千	円
(A) 授業料 (家庭が支払った授業料も含む)						000 円
(B) その他の学校納付金 (入学時の特別納付金を除く)						000 円
(C) 修学費 (教科書、図書代、文具購入費等含む)						000 円
(D) 課外活動費 (サークル活動、自治会活動など)						000 円
(E) 通学費						000 円
(F) 食費 (自宅通学者は外食費を記入)						000 円
(G) 住居・光熱費 (自宅通学者は0を記入)						000 円
(H) 保健衛生費 (診療代、薬代、理髪美容代など含む)						000 円
(I) 娯楽・嗜好費						000 円
(J) 通信費 (携帯電話、固定電話代など)						000 円
(K) その他の日常費						000 円
(L) 貯金						000 円
年間支出合計(イ)						000 円

年間収入合計(ア) = 年間支出合計(イ) になるようにしてください

(16) 家庭からの給付のみで 修学可能ですか (最近1年間の経験から) (1つに○)	1. 修学可能	2. 修学不自由	3. 修学継続困難	4. 家庭からの給付はない
(17) 授業料減免制度を受け ていますか (令和2年度前期分について) (1つに○)	1. 全額を受けた	2. 半額以上全額未満を受けた	3. 半額未満を受けた	4. 申請したが不許可になった
(18) 日本学生支援機構の奨 学金を受けていますか (最近1年間)(1つに○)	1. 奨学金を受けた	2. 申請したが不採用になった(どの奨学金も受けられなかった)	3. 希望したが申請しなかった	4. そもそも奨学金は必要なかった

質問(18)で1. と回答した方にお聞きます

(18-1) 受けた奨学金の種類について
(あてはまるもの全てに○)

- 「貸与」第一種奨学金(無利子)
- 「貸与」第二種奨学金(有利子)

質問(18)で3. と回答した方にお聞きます

(18-2) 「申請しなかった」理由について(主な理由1つに○)

- 成績基準が合わなかった
- 収入基準が合わなかった
- 申請手続きが複雑なのでやめた
- 貸与のため卒業後の返還が大変なのでやめた
- 日本学生支援機構以外の奨学金を受けられることができたのでやめた
- その他

(19) 日本学生支援機構以外 の奨学金を受けていますか (最近1年間)(1つに○)	1. 給付奨学金を受けた	2. 貸与奨学金を受けた	3. 給付・貸与の両方を受けた	4. 申請したが不採用になった (どの奨学金も受けられなかった)	5. 申請しなかった
--	--------------	--------------	-----------------	-------------------------------------	------------

(20) アルバイト(最近1年間) (それぞれの項目について1つに○)	【授業期間中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1～2日した	4. 週に3日以上した
	【長期休暇中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1～2日した	4. 週に3日以上した

↓ 質問(20)のいずれかで2.～4.と回答した方にお聞きます

(20-1) アルバイトの従事職種(主なもの1つに○)			
1. 塾講師・家庭教師など	2. 事務	3. 販売	4. 飲食業
5. 販売・飲食業を除く軽労働	6. 重労働・危険作業	7. 特殊技能	8. その他
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.5(20-1)を参照してください。			
(20-2) アルバイト収入の主な使い道(主な使い道1つに○)			
1. 授業料	2. その他の学校納付金	3. 修学費	4. 課外活動費
5. 通学費	6. 食費	7. 住居・光熱費	8. 保健衛生費
9. 娯楽・嗜好費	10. 通信費	11. その他の日常費	12. 貯金

IV. 家庭の状況について

(21) あなたの家庭の最近1年間(12ヶ月)の所得総額(税込額)について	<p>この項目は、この調査で特に重要な意味を持つものです。</p> <p>家族とよく連絡をとって、できるだけ正確な金額を記入してください。</p> <p>1) 所得の総額を、ア) 主たる家計支持者 と イ) その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。 ただし、あなたの所得と、あなた以外の家族で学校に在学する方が得た所得は除いてください。</p> <p>2) あなたが結婚などにより独立した家庭を構成している場合は、その独立した家庭の所得総額を、 ア) 主たる家計支持者 と イ) その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。</p> <p>3) 所得がない場合は「0」を記入してください。</p>																			
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ア) 主たる家計支持者</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px;"> <tr> <td style="width: 20px;">億</td> <td style="width: 20px;">千万</td> <td style="width: 20px;">百万</td> <td style="width: 20px;">十万</td> <td style="width: 20px;">万</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>万円</p> <p>【万円未満四捨五入】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>イ) その他の方</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px;"> <tr> <td style="width: 20px;">億</td> <td style="width: 20px;">千万</td> <td style="width: 20px;">百万</td> <td style="width: 20px;">十万</td> <td style="width: 20px;">万</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>万円</p> <p>【万円未満四捨五入】</p> </div> </div> <p>※合計する所得の種類については、調査票記入要領P.5(21)を参照してください。</p>	億	千万	百万	十万	万						億	千万	百万	十万	万				
億	千万	百万	十万	万																
億	千万	百万	十万	万																
(22) 主たる家計支持者について(1つに○)	1. 父 2. 母 3. あなた自身 4. 配偶者 5. その他																			
(23) 主たる家計支持者の年齢について(1つに○)	1. 44歳以下 2. 45～49歳 3. 50～54歳 4. 55～59歳 5. 60歳以上																			
(24) 主たる家計支持者の職業について(1つに○)	1. 勤労者世帯 2. 個人営業世帯 3. 法人経営・自由業世帯 4. 農林・水産業世帯 5. その他の世帯																			
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.6(24)を参照してください。																				

(25) あなたは定職を持っていますか(1つに○)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">1. 定職を持っている</div> 2. 定職を持っていない
---------------------------	--

↓ 質問(25)で1.と回答した方にお聞きます

(25-1) あなた自身の職業(1つに○)		
1. 勤労者世帯	2. 個人営業世帯	3. 法人経営・自由業世帯
4. 農林・水産業世帯	5. その他の世帯	
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.6(24)を参照してください。		



ご協力ありがとうございました。

調査票記入要領(大学・短期大学・大学院共通)

調査票は、本記入要領の内容をよく読んで、記入してください。

< はじめに ～学生のみなさまへ～ >

この調査は、全国の学生を対象として、学生生活の状況を把握し学生生活支援事業の充実を図るため、隔年で調査を実施しています。

この度は、新型コロナウイルスにより、みなさまの学生生活へも様々な影響があったこととお察します。大変な時期ではありますが、ご回答により、みなさまの学生生活の現状を社会に届けることができれば何よりです。

みなさま一人ひとりのご回答が本調査、国の学生支援事業を支えています。
ご回答にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、調査は無記名となっていますので、安心してご回答ください。

・この記入要領も見ながら、調査票を記入してください。

ご家庭の年間所得や、学生生活に必要な支出などについて、ご自身で把握できない項目については、ご家族にご確認のうえ、ご記入をお願いいたします。

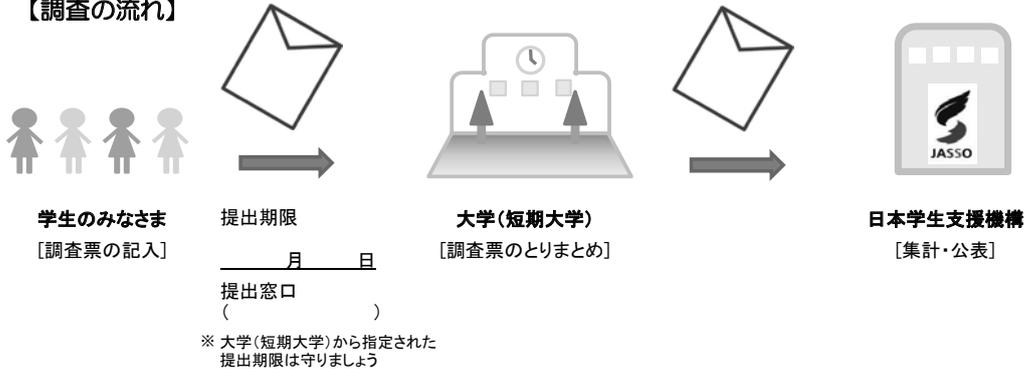
・記入が終わりましたら、調査票が入っていた封筒に戻し、学校窓口へご提出ください。

封(のりづけ等)をして、学校所定の窓口へご提出をお願いいたします。

回答した内容は、どんな風に
使われるの？

ご回答内容は統計的に処理し、集計した調査結果は、国の施策や学術的な研究や報道等の基礎資料として幅広く利用されます。また、本機構が学生支援の充実のために意義ある調査研究であると判断した場合、回答内容を研究機関等に提供することがあります。どちらの場合も、あなた個人の情報が特定されることはありません。

【調査の流れ】



○ 日本学生支援機構は、奨学金事業・留学生支援事業・学生生活支援事業を行う文部科学省所管の独立行政法人です。

本調査結果は、2022年3月ごろホームページにて公表を予定しております。
<https://www.jasso.go.jp>

I. あなたご自身について

(1) 修士課程・博士課程・専門職学位課程の在籍状況【大学院の方のみ】

1. 修士課程	修士課程、博士前期課程、一貫制博士課程の前期2年(医・歯・薬・獣医を除く)
2. 博士課程	博士後期課程、一貫制博士課程の後期3年、一貫制博士課程(医・歯・薬・獣医)
3. 専門職学位課程	法科、教職、会計、技術経営大学院などの専門職学位の取れる大学院課程

(5) 学科(専攻)の系統

1. 文・外国語・国際・文化系	文学、史学、哲学、教養学、外国語学、その他これに分類される学科および専攻
2. 法・政・経・商・社系	法学、政治学、経済学、商学、社会学、その他これに分類される学科および専攻
3. 理・工系	理学、工学、その他これに分類される学科および専攻
4. 農系	農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、林学、林産学、獣医学、畜産学、水産学、その他これに分類される学科および専攻
5. 薬系 ※短大生の方は選択できません。	薬学、その他これに分類される学科および専攻
6. 医・歯系 ※短大生の方は選択できません。	医学、歯学の各学科および専攻
7. 看護・保健系	看護学、上記「薬系」「医・歯系」以外の保健学に分類される学科および専攻
8. 教育・教員養成系	教育学、教員養成を目的とする各学科および専攻
9. 福祉系	社会福祉学、介護福祉学、その他これに分類される学科および専攻
10. 家政・生活系	家政学、食物学、被服学、住居学、児童学、その他これに分類される学科および専攻
11. 芸術系	芸術、デザイン、音楽、その他これに分類される学科および専攻
12. スポーツ系	体育学、その他これに分類される学科および専攻
13. その他	1. ～12. の分類に当てはまらない学科および専攻

(6) 現在住んでいるところ

1. 自宅	家族と同居している場合(持家、借家、社宅等は問いません)。
2. 学生寮(寄宿舎)	大学直営に限らず、大学が借り上げている宿舎や公益法人等が経営している寄宿舎に居住している場合。
3. 下宿・アパート・その他	間借、学生マンション、親戚・知人宅を含み、修学の為に家族と別居している場合。

(7) 学校の所在地

通学しているキャンパスが複数ある場合は、主に通学しているキャンパスの所在地のある地域を選択してください。

(8) 片道の通学時間

通学しているキャンパスが複数ある場合は、主に通学しているキャンパスまでの通学時間を選択してください。

II. 学生生活の状況について

(11) 授業期間中の典型的な1週間(7日間)の生活時間について

「1. 大学の授業」には、オンライン授業の視聴時間やオンデマンド型授業(録画された動画等による授業)の視聴時間を含みます。

「4. 大学の授業以外の学習」(大学・短期大学)「2. 大学外での学習、研究」(大学院)には、ダブルスクール、英会話学校、通信講座や独学での学習などが該当します。

III. あなたご自身の経済状況について

(14) 年間収入額(令和元年12月～令和2年11月)(令和2年度入学者のみ令和2年4月～令和3年3月)

最近1年間の収入について、下記1・2のように算定し、その合計を記入してください。

<p>1. 毎月定例的な収入は、最近1か月の12倍</p> <p>2. 特定時期あるいは臨時的な収入は、最近1年間の実際の収入額</p> <p>例: 「(a) 家庭からの給付」の場合 毎月30,000円ずつ仕送りや小遣いをもらい、 その他に授業料(1年分700,000円)をあなたを経由せず、家庭が支払った場合 (30,000円×12ヶ月) + 700,000円 = 1,060,000円 → (a) に記入</p> <p>ただし、令和2年度に入学された方については、令和2年4月から11月までの収入額は上記1・2のように算定し、令和2年12月から令和3年3月までの収入額は、推定した額とします。その合計額を記入してください。</p>

※千円未満は四捨五入、収入額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。

(14) 年間収入額(続き)

大学・短期大学用

大学院用

大学・短期大学用		大学院用		
(a) 家庭からの給付		(a) 家庭からの給付		あなたが家庭から給付を受けた額(仕送り等)および家庭があなたに代わって直接支払った額(授業料・家賃等)をすべて合計した金額を記入してください。 ※入学時の特別納付金(入学金、入学初年度のみ支払う納付金)のために受けた給付は、除いてください。 ※自宅通学者の場合は、家庭内でとる食事代などや家庭から一般的に支出されるもので、あなたの分として区分することがむずかしい費用にあてたものは除いてください。
(b) 奨学金	日本学生支援機構の貸与奨学金	日本学生支援機構の貸与奨学金		日本学生支援機構から奨学金の貸与を受けている方は、その年額を記入してください。 入学時特別増額は含めないでください。
	日本学生支援機構の給付奨学金			日本学生支援機構から給付される奨学金を受けている方は、その年額を記入してください。
	日本学生支援機構以外の貸与奨学金	日本学生支援機構以外の貸与奨学金		上記「日本学生支援機構の貸与奨学金」以外に、貸与制(返済が必要な)奨学金などを受けている方は、その年額を記入してください。 ※条件付で返還が免除される奨学金は「貸与制」ですので本欄に記入してください。
	日本学生支援機構以外の給付奨学金(右記①②)	日本学生支援機構以外の給付奨学金(右記①②)		上記「日本学生支援機構の給付奨学金」以外に、給付奨学金・奨励金を受けている方(下記①②)は、その年額を記入してください。 ①大学独自の学内奨学金など、大学から給付される奨学金を受けている方 ②地方公共団体、民間の奨学金事業団体などから給付奨学金・奨励金を受けている方、教育訓練給付制度による給付金を受けている方
		(c) 日本学術振興会の研究奨励金		大学院博士課程に在籍する方で、日本学術振興会から特別研究員として研究奨励金を受けている方は、その年額を記入してください。
		(d) ティーチングアシスタント(TA)		大学に雇用され、セミナーの指導、実験・実習の指導、試験の実施、学部学生の講義等を担当し、その対価として支給される給付金のことです。
		(e) リサーチアシスタント(RA)		大学教員の研究補助者として雇用されるもので、学生の研究補助事業業務に対する対価として支給される給付金のことです。
(c) アルバイト		(f) アルバイト		次の「定職収入」にあてはまらないもので、学生生活を送るうえで、学費または生活費を補うために働いて得た報酬のことです。税込額を記入してください。
(d) 定職収入		(g) 定職収入		「定職」とは、社会的に一定の職業を持ち、その収入によってあなたもしくは家族の生活の全部または大部分を継続的に賄っている場合です。あなたの定職収入額(税込)を記入してください。
(e) その他		(h) その他		あなたの貯蓄などを取り崩して支出にあてた額や、あなたの資産から生ずる利子収入・配当収入などのうちあなたの分として充当した額、あなたが奨学金以外で借入れをして今回調査期間中の支出に充当した額など、上記の項目に該当しない全ての収入を記入してください。 新型コロナウイルス関連の給付金等(大学独自の支援金、学生支援緊急給付金、特別定額給付金など)がある場合は、こちら(その他欄)に記入してください。

◎年間収入額の記入例(一人暮らしの大学院生の場合)

①家庭からの仕送り
月額15,000円×12ヶ月=180,000円

②家庭が支払った授業料等
年額550,000円

③家庭が支払った家賃
月額50,000円×12ヶ月=600,000円

①授業期間中のアルバイト代
月額31,600円×12ヶ月=379,200円

②夏休みのアルバイト代
年額93,000円

①379,200円+②93,000円=472,200円
↓
四捨五入 472,000円

項目	千万	百万	十万	万	千	円
(a) 家庭からの給付 (家庭が支払った授業料を含む)		1	3	3	0	000円
(b) 日本学生支援機構の貸与奨学金 (返済が必要)					0	000円
奨学金 以外の	貸与奨学金 (返済が必要)		3	6	0	000円
	給付奨学金 (返済不要)				0	000円
(c) 日本学術振興会の研究奨励金 【博士課程のみ記入】					0	000円
(d) ティーチングアシスタント(TA)					0	000円
(e) リサーチアシスタント(RA)					0	000円
(f) アルバイト (d)と(e)を除く			4	7	2	000円
(g) 定職収入					0	000円
(h) その他 (貯蓄などを取り崩した金額や借入金など)					0	000円
年間収入合計(ア)		2	1	6	2	000円

奨学金
月額30,000円
×12ヶ月
=360,000円

(15) 年間支出額(令和元年12月～令和2年11月)(令和2年度入学者のみ令和2年4月～令和3年3月)

最近1ヵ月の支出を基準として、「(14)年間収入額」で説明した算定方法に準じて、「毎月定例的な支出」及び「特定時期あるいは臨時的な支出」を算定し、年間の支出額ができるだけ正確なものとなるようにしてください。

※千円未満は四捨五入、支出額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。

(A) 授業料	令和2年度分の年額を記入してください。ただし、授業料を減額または免除されている方は、減免後、実際に納入する額を記入してください。また、全額免除された方は「千」の欄に「0」を記入してください。(減免申請中の場合は、所定の授業料の額を記入してください)
(B) その他の学校納付金	授業料以外に学校に納めなければならない費用で、施設整備費、実験実習費、後援会費などのことです。令和2年度分の年額を記入してください。なお、入学時の特別納付金(入学金、入学初年度のみ支払う納付金)は除いてください。
(C) 修学費	上記(A)、(B)以外に学習のために、あなたが支出した経費です。 例)教科書・参考図書・実習材料・文具類の購入費・実習旅行費・実習を受けるために加入した保険料など。
(D) 課外活動費	サークル活動や自治会活動など、正課教育以外のために支出した経費です。サークル会費・合宿費・遠征費・用具購入費・自治会費など、毎年納入するものをまとめて支払った場合も含まれます。ただし、あなたの個人的な趣味、娯楽、レクリエーションなどの費用は(I)に記入してください。
(E) 通学費	定期券代などの通学に要する経費です。自転車、バイクや自動車などのガソリン代、維持費なども含まれます。
(F) 食費	自宅通学者…外食した時の経費だけを記入してください。 自宅外通学者…外食、自炊のための材料費、食事付きの下宿などで下宿に食費として支払う額の合計額を記入してください。ただし、間食代やし好品のなものは除いてください。
(G) 住居・光熱費	自宅通学者…0を記入してください。 自宅外通学者…家主などに支払う部屋代(管理費、共益費など含む)、光熱水費、暖房費などの合計額を記入してください。なお、食事付きの下宿で食費などと一括して支払っている場合でも、住居・光熱水費分を算出し、記入してください。
(H) 保健衛生費	診療代・薬代・理髪美容代・化粧品代・銭湯代などです。
(I) 娯楽・し好費	趣味、レクリエーションなどの費用および酒、タバコ、間食代などです。
(J) 通信費	携帯電話、固定電話代、インターネットにかかる代金などです。
(K) その他の日常費	被服、帰省のための交通費、社会保険料(年金等)など上記(A)～(J)に含まれない日常的な経費を、すべて記入してください。

◎年間支出額の記入例(一人暮らしの大学院生の場合)

①施設費

年額10,000円

②実験・実習費など

年額5,000円

①10,000円+②5,000円=15,000円

①家賃

月額50,000円×12ヶ月=600,000円

②水道・光熱費

月額5,000円×12ヶ月=60,000円

①600,000円+②60,000円=660,000円

年間収入合計(ア) = 年間支出合計(イ) になるようにしてください。

項目	千万	百万	十万	万	千	円
(A) 授業料 (家庭が支払った授業料も含む)			5	3	6	000円
(B) その他の学校納付金 (入学時の特別納付金を除く)				1	5	000円
(C) 修学費 (教科書、図書代、文具購入費等含む)				3	6	000円
(D) 課外活動費 (サークル活動、自治会活動など)					2	000円
(E) 通学費				3	6	000円
(F) 食費 (自宅通学者は外食費を記入)				2	4	000円
(G) 住居・光熱費 (自宅通学者は0を記入)				6	6	000円
(H) 保健衛生費 (診療代、薬代、理髪美容代など含む)				2	3	000円
(I) 娯楽・し好費				1	2	000円
(J) 通信費 (携帯電話、固定電話代など)					8	400円
(K) その他の日常費				4	1	000円
(L) 貯金					0	000円
年間支出合計(イ)			2	1	6	2000円

(18)日本学生支援機構の奨学金を受けていますか(最近1年間)

奨学金を受けたと回答(選択肢1に○)した場合、設問(14)－(b)の該当箇所も記入したことを確認してください。

(19)日本学生支援機構以外の奨学金を受けていますか(最近1年間)

奨学金を受けたと回答(選択肢1～3に○)した場合、設問(14)－(b)の該当箇所も記入したことを確認してください。

(20-1)アルバイトの従事職種

1. 塾講師・家庭教師など	塾・予備校講師、家庭教師、試験監督・採点など
2. 事務	一般事務、データ入力、パソコン入力事務、コールセンターなど
3. 販売	コンビニ・スーパー・デパート・量販店等での販売(レジ係を含む)、営業など
4. 飲食業	調理、接客、デリバリーなど
5. 販売・飲食業を除く軽労働	清掃、警備、包装、配布、新聞配達、製造、調査、イベントスタッフなど
6. 重労働・危険作業	土木工事、重量物運搬、引越スタッフ、倉庫整理、プレス作業、建築の現場作業、高所の屋外作業など
7. 特殊技能	通訳、翻訳、製図、プログラミング、インストラクターなど
8. その他	その他上記の職種にあてはまらない職種

IV. 家庭の状況について

(21)あなたの家庭の最近1年間(12ヶ月)の所得総額(税込額)について

次の①～④所得の種類別に調べた額を合計した金額を記入してください。なお、金額の計算にあたってはすべて税込額で行ってください。

①事業所得	個人が経営する農業・漁業・製造業・卸売業・小売業・サービス業などから生ずる所得でその年中の総収入から事業経営に必要な経費を控除した額。(農業、小売業などで生産品または商品を自家消費した場合は、時価に換算した見積額を所得に加算してください。)
②給与所得	俸給、給料、賃金、歳費、賞与など労務または役務の対価として受けた総額。
③資産所得	利子所得、配当所得、不動産所得など、資産から生ずる所得の総額。
④その他の所得	恩給、年金、家庭の内職収入および世帯員以外の者からの経済的援助などの総額とし、退職金、財産売却、相続などのため、臨時的に得た収入および借入金とは計算しないでください。 (新型コロナウイルス関連で臨時的に得た給付金や助成金等は、計算しないでください。)

(24) 主たる家計支持者の職業について

職業区分	代表例	基準	詳細例
1 勤労者世帯	会社員 公務員	民間の会社、商店、病院、学校、工場などや官公庁または官公立の病院、学校などに勤め、事務的、技術的または管理的な仕事、および肉体・技能労働に従事している者。 ただし、「3」の法人経営者に分類される者は除く。	総務・人事・企画・広報などの一般事務員、営業、外交員、SE、プログラマー、販売店員、調理人、配膳人、清掃員、勤務医、看護師、薬剤師、学校長、教員、研究者、塾講師、図書館司書、保健師、検察官、裁判官、警察官、消防士、自衛官、駅長、電車運転士、車掌、自動車運転手、船員、工場長、新聞記者、機械技術者、電気技術者、配達員、守衛、警備員など
2 個人営業世帯	商人 職人 個人経営者	独立して商品の製造、加工、販売またはサービスを提供する業主、および独立して個人組織で商業、工業、サービス業などを経営してその企画管理に従事する者。 ただし、「3」の法人経営者に分類される者は除く。	商店主、飲食店主、理髪店主、工場主、大工、植木職、アパート等不動産経営者、個人タクシー運転手、個人トラック運転手、行商など
3 法人経営・自由業世帯	会社役員 市町村長 議員	法人組織(株式会社・有限会社など)で、家族でない使用人5人以上を雇用する会社、団体などの役員、国・地方公共団体で役員に相当する者、および議会議員。 なお、「1」の勤労者に分類される者でも、程度の高い企画管理、行政事務または監督事務に従事する者は含める。	社長、会長、会社役員、取締役、監査役、理事、銀行頭取、相談役、政務官、事務次官、局長、裁判所長官、教育委員長、知事、副知事、区長、市町村長、副市長、国務大臣、副大臣、国会議員、地方公共団体議会議員など
	開業医 弁護士 芸術家 スポーツ選手	個人で自分の専門の技能や知識を内容とする仕事に従事する者。 ただし、「1」の勤労者に分類される者は除く。	開業医、弁護士、司法書士、公認会計士、税理士、助産師、マッサージ師、僧侶、神職、作家、漫画家、画家、作曲家、評論家、コンサルタント、芸能人(歌手、俳優など)、モデル、職業スポーツ家(野球選手、競輪選手、力士など)など
4 水産業・農業・林業世帯	農業・林業・水産業従事者	独立して農作物の栽培・収穫、養蚕・家畜・家さん・その他の動物の飼育、林木の育成・伐採・搬出、水産動植物採取・養殖などの仕事に従事している者。	農耕作業、養蚕作業、養畜作業、伐木者、育林業者、漁船要員、漁労業者、海藻・貝採取業者、水産養殖業者など
5 その他の世帯	その他	「1」～「4」のいずれの職業区分にもあてはまらない者。	「1」～「4」のいずれの職業詳細例にもあてはまらない者。
	無職	職業のない者。	年金生活者、失業者、主婦など

V. 大学での授業・学習について 【大学・短期大学の方のみ（大学院の方はこの設問はありません）】

(29) あなたの成績についてお答えください。(不可の割合は除いて、足して10割になるように記入してください)

素点によって成績評価がなされている場合には、

90点以上 = 秀 (S,A+)、90点未満～80点以上 = 優 (A)、80点未満～70点以上 = 良 (B)、70点未満～60点以上 = 可 (C)

とみなして、「①5段階評価」の欄に、おおよその割合を記入してください。

令和2年度 学生生活調査実施検討委員会委員（敬称略・50音順、◎委員長）

沖 清豪 早稲田大学 文学学術院 教授

◎加藤 泰建 埼玉大学 名誉教授（元 埼玉大学理事・副学長）

小林 雅之 桜美林大学 国際学術研究科 教授

濱中 義隆 国立教育政策研究所 高等教育研究部 副部長・総括研究官

望月 由起 日本大学 文理学部 教授

保田 時男 関西大学 社会学部 教授

令和2年度 学生生活調査結果

令和4年（2022年）3月 発行

独立行政法人 日本学生支援機構
学生生活部 学生支援企画課 学生支援調査係
〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1
TEL 03-5520-6169 FAX 03-5520-6048
URL <https://www.jasso.go.jp/>

